



報会師剤薬新大

No.298. 2019(令和元年) 5・6・7月号



沖繩県薬剤師会

／目／次／

第80回定時総会	第80回定時総会会長挨拶…………… 亀谷浩昌 (1)
	新理事・新監事紹介…………… (2)
	第80回定時総会次第・出席者…………… (5)
	第80回定時総会概要報告…………… 大城喜仁 (6)
	第80回定時総会懇親会…………… 長嶺勇作 (20)
第80回定時総会資料	平成30年度事業経過報告および平成30年度決算、その他議題資料…………… (21)
医 薬 分 業	第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会…………… 松本圭吾 (40)
	第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会…………… 松本圭吾 (41)
	第3回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会…………… 松本圭吾 (42)
学 薬 部 会	平成31年度給食センター衛生検査講習会報告…………… 城間千賀子 (45)
	平成31年度学校薬剤師新任研修会開催…………… 高場美保・前盛稚子 (46)
地区だより	平成30年度中部地区薬剤師会総会報告…………… 米倉美帆 (48)
	平成30年度八重山地区薬剤師会総会報告…………… 山城 専 (49)
試験検査センター	令和元年度日本薬剤師会試験検査センター連絡協議会報告…………… 前濱朋子 (50)
月例相談会	第169回健康とおくすり相談会報告 …… 坂口和志 (51)
その他会務報告	沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊…………… 大城喜仁 (52)
D I	薬事情報おきなわNo. 255…………… 薬事情報センター (53)
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報…………… (65)
薬 草 学	身近な薬草を知ろう 第40回 ベニバナ：滑莧：馬齒莧 …… 狩俣イソ (66)
薬連だより	本田あきこ激励会開催…………… 大城喜仁 (68)
	令和元年度沖縄県薬剤師連盟評議員会報告…………… 大城喜仁 (70)
	平成30年度沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム…………… 上原卓朗 (71)
	本田あきこ オレンジ日記 本田あきこ中央後援会総会が開催 …… 本田あきこ (72)
	本田あきこ オレンジ日記 2年間のお礼と私の使命 …… 本田あきこ (73)
	国会レポート ～人生100年時代の社会保障～・～データヘルスの推進～…藤井もとゆき (74)
理 事 会	令和元年度第4回臨時理事会議事概要 …… (75)
転 載 記 事	ジェネリック医薬品 薬効や安全性 国が保証…………… 亀谷浩昌 (76)
	安全なジェネリック医薬品 かかりつけ薬局で相談を…………… 西川 裕 (77)
	いは薬局(浦添) LINE で健康相談 地域密着、高齢者サポート …… (78)
	亡き父しのび 長田さん献花 殉職医療人之碑で祈り …… (79)
	琉球大学に薬学部を…………… (79)
	地域偏在一薬剤師の不足の現状と対策…………… 中村克徳 (80)
	医療を考える おくすりが多過ぎます！…………… 梅窪論子 (84)
会 務 報 告	平成31年4月～令和元年6月分…………… (85)
	沖縄県薬剤師連盟会務報告(平成31年4月～令和元年6月分) …… (89)
一 包 一 話	ユンタク・アリンクリン…………… 橋の下 (90)
	誌上ギャラリー(裏表紙)について…………… (92)
	編集後記…………… (92)
訃 報	小嶺幸徳先生、ご冥福をお祈り申し上げます。…………… (36)
お 知 ら せ	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について…………… (36)
	県薬が会員に販売している印刷物等…………… (89)
	会報原稿募集のご案内…………… (91)

・表紙

「ドイツの薬局」 photo by 成川 玲子 (レオナ薬局)

とよ ひら ほう うん
題字：豊平峰雲

第80回 定時総会 会長挨拶

会長 亀谷 浩昌

平成27年に会長に就任以来、私は2大目標として、薬剤師の職能の向上と医療の中での薬剤師の役割・有用性の周知を図ってきた。もちろん、職能の向上なくして有用性はない。しかし、私が感じるに、薬剤師は世間への発言が弱く存在感が薄いように思えた。たゆまず生涯学習を続けることはプロとして基本中の基本であるが、周知のためには薬剤師職能の魅力を積極的に伝えることが大事である。これらは薬剤師の活動の両輪であり、どちらが先にではなく同時進行で進めていかなければならない。

我々が必要とされる職種として認知されるためには、社会の要請に積極的に応えることが大事である。地域住民の身近な存在として、健康の維持、増進に関する相談や一般用医薬品等を供給し、助言を行う機能を持った健康サポート薬局の取組を促進し、地域におけるチーム医療の一員として地域医療提供体制に貢献することが求められている。

全国的な問題として病院敷地内への薬局誘致がある。これは医と薬が相互に専門性を発揮し、かつ、経済的にも独立して機能することで患者の利益を確保しようとする医薬分業の趣旨に反し、なおかつ、改めて薬剤師の方向性を示した「患者のための薬局ビジョン」にも逆行するものである。誘致の理由の一つに患者の利便性を上げているが、真の利便性とは、安心・安全で効率的な薬物療法の提供

であり、これは、かかりつけ薬剤師・薬局の推進なくして実現できないと考える。

今国会で審議される医薬品医療機器等法の見直しの中に、医薬品の服用期間を通じた薬学的ケアの実施が義務付けられる見込みである。くすりを受け取ってから次の受診まで患者を見守るのは、地域のかかりつけ薬剤師・薬局が最適任である。我々は厳しい中でも頑張っている役割を果たし、薬剤師職能を確固としたものにしようではないか。

沖縄県は全国一の薬剤師不足地域である。県北部や離島は更に厳しい状況だ。薬剤師不足を放置していると、薬剤師職能を発揮する上で大きな足かせとなる。県や関係者と協力して薬剤師不足の解決を図る。短期的には県外薬剤師の県内還流策であり、中長期的には県内への国公立の薬学部創設を目指す。

薬剤師が理想とする職業環境の実現には、自らの努力のほかに薬剤師の考えを理解・応援する者の存在が欠かせない。一般国民や医療者仲間の理解はもちろんであるが、政治的な力の活用が絶対的に必要である。今回の参院選挙に薬剤師の代表として本田あきこ氏が出馬予定である。オール薬剤師の力を結集して本田あきこ氏を国会へ送り、我々の理想実現のために働いてもらおうではないか。是非ご協力をお願いしたい。



新 理 事 紹 介

①生年 ②出身校 ③勤務先 ④担当職務・地区・職種部会

 会 長 カメヤ ヒロマサ 亀谷 浩昌 ①昭和24年生 ②金沢大 ③沖縄県薬剤師会 ④統括	(新)  副会長 ナカムラ カツノリ 中村 克徳 ①昭和44年生 ②北海道大 ③琉球大学医学部 附属病院 ④学術
 副会長 マエハマ トモコ 前濱 朋子 ①昭和38年生 ②名城大 ③つる薬局 ④組織強化・広報	 副会長 カワミツ ナオキ 川満 直紀 ①昭和47年生 ②北陸大 ③ミント薬局 ④財務
(新)  常務理事 キンジョウ ユウイチ 金城 雄一 ①昭和39年 ②熊本大 ③那覇市立病院 ④病院薬剤師部会 代表	 常務理事 ムラタ ミチコ 村田 美智子 ①昭和25年生 ②九州大 ③やすおか薬局 ④女性薬剤師 部会代表
 常務理事 サトウ マサミ 佐藤 雅美 ①昭和38年 ②第一薬科大 ③(株)薬正堂・ すこやか薬局 グループ ④実務実習・ 中部地区代表	(新)  常務理事 ミヤギ ユキエ 宮城 幸枝 ①昭和38年生 ②名城大 ③(株)沖縄健康 企画 ④医療保険
 常務理事 ニシカワ ユタカ 西川 裕 ①昭和56年生 ②摂南大 ③そうごう薬局 ④医薬分業	(新)  理 事 トモヨシ ヤスヒロ 友寄 安彦 ①昭和41年生 ②東日本大 ③まるよし薬局 ④北部地区代表

新 理 事 紹 介

①生年 ②出身校 ③勤務先 ④担当職務・地区・職種部会

(新)



理 事 モリモト ナオヤ
盛本 直也

- ①昭和45年
- ②第一薬科大
- ③ヴァインドラッグ
あがり浜薬局
- ④地域保健・
那覇地区代表



理 事 アラカキ ヒデユキ
新垣 秀幸

- ①昭和39年生
- ②東北薬科大
- ③新垣薬局
- ④南部地区代表



理 事 コウチ ヨシノブ
幸地 良信

- ①昭和36年生
- ②第一薬科大
- ③幸地薬局
- ④八重山地区代表

(新)



理 事 コジヤ マサキ
古謝 真己

- ①昭和45年生
- ②北海道医療大
- ③コジヤ薬局
東店
- ④宮古地区代表



理 事 カサハラ ダイゴ
笠原 大吾

- ①昭和33年生
- ②東京薬科大
- ③福寿薬局
- ④健康サポート薬
局推進



理 事 ヨシダ ヒロフミ
吉田 洋史

- ①昭和48年生
- ②大阪薬科大
- ③吉田薬局
- ④災害対策担当

(新)



理 事 シマブクロ
島袋 さゆり

- ①昭和37年生
- ②北里大
- ③(株)スズケン沖縄
薬品
- ④卸勤務薬剤師
部会代表

(新)



理 事 ナカオ シゲヒサ
中尾 滋久

- ①昭和49年生
- ②東北薬科大
- ③ぴいふる 薬局
経塚店
- ④医療安全対策・
薬事情報センター

(新)



理 事 チナ ヒロキ
知名 博樹

- ①昭和53年生
- ②名城大
- ③サンアイ薬局
- ④学校薬剤師部会
代表・試験検査
センター



理 事 ウエハラ タクロウ
上原 卓朗

- ①昭和57年生
- ②名城大
- ③メイト美里薬局
- ④青年薬剤師部会
代表

新 監 事 紹 介

①生年 ②出身校 ③勤務先



カミヤ アサオ
神谷 朝雄

①昭和23年生
②昭和薬科大

(新)



エナツ キョウコ
江夏 京子

①昭和23年生
②名城大
③あかみち薬局

ご退任されました監事・理事の先生方、お疲れ様でした！

友利 弘一 外間 惟夫 山里 勇 成川 賢一 渡具知 一枝
下地 仁 我喜屋 美香 荒井 千春 吉富 弓江

(順不同、敬称略)



退任理事を代表して挨拶する外間惟夫副会長。

左より、吉富弓江理事、渡具知一枝理事、成川賢一理事、友利弘一監事、
山里勇常務理事、下地仁理事、我喜屋美香理事、荒井千春理事

<第80回定時総会次第>

○物故会員への黙祷

○開会の辞

○議長・副議長登壇挨拶
(点呼・宣告)

○日程説明

○会長あいさつ

○報告 第1号 平成30年度会務並びに事業経過報告

第2号 平成30年度会務並びに会計監査報告

第3号 会営薬局とよみの移転の件について

○議案 第1号 平成30年度決算承認の件

第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会予備代議員の選任について

選挙管理委員会委員長

第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙について

選挙管理委員会委員長

第4号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出承認の件について

会長候補者

○地区薬剤師会代表質問

順番：①南部地区 ②八重山地区 ③北部地区 ④中部地区 ⑤那覇地区 ⑥宮古地区

○一般関連質問

○採 決 (議案第1号～4号の採決)

○閉会の辞

司会 常務理事 西 川 裕

副 会 長 外 間 惟 夫

議 長 名 嘉 紀 勝

副 議 長 新 垣 慶 朗

常務理事 村 田 美智子

会 長 亀 谷 浩 昌

副 会 長 前 濱 朋 子

監 事 友 利 弘 一

会 長 亀 谷 浩 昌

常務理事 山 里 勇

選挙管理委員会委員長 野 崎 真 敏

選挙管理委員会委員長 野 崎 真 敏

会長候補者 亀 谷 浩 昌

副 会 長 江 夏 京 子

[第80回定時総会出席者]

<理事・監事>

敬称略

○亀谷 浩昌 (会長)
○外間 惟夫 (副会長)
○村田美智子 (常務理事)
○成川 賢一 (北部地区代表)
○新垣 秀幸 (南部地区代表)
○我喜屋美香 (実務実習担当)
○吉田 洋史 (災害対策担当)

○江夏 京子 (副会長)
○山里 勇 (常務理事)
○笠原 大吾 (常務理事)
○佐藤 雅美 (中部地区代表)
○下地 仁 (宮古地区代表)
○荒井 千春 (在宅医療担当)
○上原 卓朗 (青年部会)

○前濱 朋子 (副会長)
○川満 直紀 (常務理事)
○西川 裕 (常務理事)
○渡具知一枝 (那覇地区代表)
○幸地 良信 (八重山地区代表)
○吉富 弓江 (医療安全担当)
○友利 弘一 (監事)

<代 議 員>

☆：議長、◎副議長

○浅沼 健一 (名護支部)
○玉城 純 (名護支部)
○屋嘉比康作 (名護支部)
○江夏 恭範 (うるま支部)
○福地 健治 (うるま支部)
○阿嘉 貫哲 (沖縄支部)
○鈴木 直志 (沖縄支部)
○玉城 武範 (沖縄支部)
○長濱 照美 (沖縄支部)
○普久原 隆 (沖縄支部)
○藤原 明人 (嘉手納支部)
◎新垣 慶朗 (宜野湾支部)
○新川 祥平 (宜野湾支部)

○仲座 方利 (宜野湾支部)
○新垣 紀子 (首里支部)
○大塚成一郎 (首里支部)
○岡野 俊秀 (那覇東支部)
○平良 博文 (那覇北支部)
○枡井 亮太 (那覇北支部)
○宮本 直樹 (那覇北支部)
○我喜屋恵美子 (那覇中央支部)
○渡慶次全康 (那覇中央支部)
○國吉 直子 (小禄支部)
○又吉智賀子 (小禄支部)
○大城 博次 (浦添支部)
○杉山 英司 (浦添支部)

○武富 弘記 (浦添支部)
○日高久美子 (浦添支部)
○伊敷松太郎 (糸満支部)
○小湾 勝敏 (糸満支部)
☆名嘉 紀勝 (糸満支部)
○松本 圭五 (糸満支部)
○川上 善久 (南風原支部)
○金城絵理子 (南風原支部)
○楠見 康夫 (南風原支部)
○城間 盛伸 (南風原支部)
○知念 大輔 (南風原支部)
○古謝 真己 (平良支部)

第80回定時総会概要報告

日時：令和元年6月16日（日）13:30～16:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

西川裕常務理事の進行で定時総会を開催する旨の案内が定刻の午後1時30分にアナウンスされ開会した。定時総会は、代議員以外の会員が傍聴できる席も特別に用意した。

開会挨拶の前に、会員物故者6名（金城保景、喜納政利、中村昌義、大城桂子、佐久間長昭、砂川秀樹）の先生方のご冥福を祈るため、起立黙祷した。

外間惟夫副会長が、第80回定時総会開会を告げた。

定款第15条の規定により、議長、副議長を選出。議長は糸満支部の名嘉紀勝代議員、副議長に宜野湾支部の新垣慶朗代議員が選出された。両氏の挨拶の後、議長が事務局に出席人数を確認するよう指示。事務局より報告を受けた副議長が、代議員総数48名に対し出席代議員が38名で過半数以上の出席により、定款第17条の社員総会成立要件を満たしていることを述べ、総会の成立を宣言した。

村田美智子常務理事が、同会の日程及び議題の審議について説明し、亀谷浩昌会長が挨拶した。

議題に入り、報告事項第1号から第3号、議案事項第1号から第4号までの報告と説明を各担当理事、監事が滞りなく行った。

＜報告第1号 平成30年度会務並びに事業経過報告＞

前濱朋子副会長が、(1) 平成30年度会員・薬局等の業態現況報告、(2) 会議等の開催状況、(3) 講演会・研修会等の開催状況、(4) 公的機関等の会議・公的活動、(5) 各種委員会等の開催状況、(6) 会報取材状況、(7) 琉球大学への薬学部（科）創設に関する署名活動、(8) 公的機関への協力、(9) 地区・支部・部会活動について、配付資料に基づき報告した。続けて、本会の平成30年度事業経過報告、「薬と健康の週間」行事、生涯研修の受講状況、試験検査センター事業報告、薬事情報センター事業報告までを資料に沿って報告した。

＜報告第2号 平成30年度会務並びに会計監査報告＞

友利弘一監事が次のとおり報告した。「定款第26条に基づいて、上期監査を平成30年12月17日、下期監査を含め平成30年度監査を令和元年5月10日に本会館にて亀谷浩昌会長、江夏京子副会長、山里勇常務理事（財務担当理事）、関係職員（又吉章元事務局長、大城喜仁課長、前原里江：経理事務、上原美也子：経理事務）同席のもと、予算執行状況等関係書類を基に神谷朝雄監事と、監査を行った。理事会にも必要に応じて出席し、事業内容、財源根拠等の説明を求めた。決算報告書内訳の他、会計事務所の監査報告書、委員会の事業実績、各契約書、時間外勤務状況等の書類提出を求めた。財務及び事業についてはほぼ適正に実施されていると認めた。特に財務関係では、未収入会費徴収の課題があったが、執行部が対策を強化したことにより、多大な改善が認められ評価するところである。他方、職場労働環境においては、職員の時間外勤務状況が労働基準法で定める36協定を超えた勤務状況が散見されており、労働環境の改善について検討の必要性を申し入れた。監査意見について報告書を読み上げて監査報告とする。」

(1) 正味財産増減計算書、貸借対照表等は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認める。(2) 事業報告書の内容は真実であると認める。(3) 理事

の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

＜報告第3号 会営薬局とよみの移転の件について＞

亀谷浩昌会長が、次の通り報告した。

「本会は、昨年6月に開催された第78回定時総会において、豊見城中央病院が豊見城市与根地区に建設する新病院（以下、新病院）の敷地内に設置予定の保険薬局に関連して、本会へ提示された“調剤薬局運営事業における優先交渉権”に応募することを報告した。その後の交渉の中で、同地区で予定されている豊見城市与根西部土地区画整理事業が不確定要素を含む中、その有力メンバーである豊見城中央病院から、次の募集要件が提示された。①敷地500坪以上を条件に募集する2薬局のどちらかに売買したい。より好条件を提示した側と売買契約する。買い取った側が、②200坪以上の建物を建てて他の薬局に賃貸してほしい。売買する敷地の場所は決まっていないが、当初案の新病院に向かって左側の公道側になるよう全力を尽くす。前記の募集要件を本会の移転検討特別委員会で検討した結果、①本会の立場では、条件等が明確でない中、敷地購入の案は提示できない。②本会事業として、病院敷地内での不動産事業を行うことは倫理的にいかがなものか。③敷地売買額は高額となる。加えて、建物建設が必要であるため、費用が過大すぎるのではないか。④逆に、賃貸で入る場合でも会員の建物に入居するのに問題はないか。この4つの懸念する事項があり、同委員会では新病院の敷地内への薬局移転を断念するとの結論を出した。薬局移転を断念する決断は、平成31年3月開催の第13回定例理事会で承認された。」

＜議案第1号 平成30年度決算承認の件について＞

山里勇常務理事より、配付資料に基づき、法人全体の合算で貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の大科目について順次説明し、公益事業にあたる実施事業等会計、共益事業にあたるその他会計（会営薬局うえはら・会営薬局とよみ等）、薬剤師会本体の管理にあたる法人会計に仕訳された合算内訳について、順次述べられた。

＜議案第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会予備代議員の選任について＞

新垣慶朗副議長より、議案第2号については、選挙管理委員長の野崎真敏氏から経緯説明等をさせるため、入室させるよう事務局に指示した。

登壇した野崎真敏選挙管理委員長より、「本会代議員選挙規程の第20条第1項により、去る平成30年12月8日開催の定例理事会にて、予備代議員を選出すること、および予備代議員定数を定めたところ、全選挙区から選出されてきた。同選挙規程第20条第3項により、去る平成31年4月13日開催の定例理事会において、全選挙区から選出されてきた予備代議員について、本日の総会へ提案することが承認された。そこで、同代議員選挙規程第20条第4項により、本定時総会において選任いただきたい。」と述べた。

＜議案第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙について＞

新垣慶朗副議長が、監事立候補者が配付資料に掲載されている立候補一覧表のとおりであることを述べ、野崎真敏選挙管理委員長に経緯説明等をするよう求めた。

野崎真敏選挙管理委員長は次のとおり述べた。「去る平成31年3月4日に会長名で当該選挙の公示をした。これは、本会の「一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則」、「同施行細則」により、本日举行される監事を決定するための選挙である。平成31年3月2日に開催された

本会定例理事会において、同選挙の公示日ならびに選挙期日等を決定し、本会ホームページ等に当該選挙に関する公示およびスケジュールを掲載した。この公示に基づき、令和元年5月31日の午後5時を以て候補者の届け出を締め切り、選挙規則第6条により候補者一覧表を本会事務所に掲示した。立候補者は、神谷朝雄氏、江夏京子氏の2人から届け出があった。届け出に不備はなく、多くの推薦を得てこれを承諾し立候補の届け出をしている。この行われる監事選挙について、立候補者数が員数を超していないので、選挙規則に則って、本日の出席代議員の議決を経て、投票を行わずに、その候補者をもって当選者としていただきたい。」

名嘉紀勝議長より、選挙規則施行細則第9条に、「立候補者、被推薦者または推薦者の1名は、所信表明または推薦演説をすることができる。」とあるので、立候補者は所信表明をするよう伝えた。議長の進行により江夏京子氏が所信表明した。神谷朝雄氏は欠席のため所信表明は無かった。議長より、選出については、後の採決の際に行うことが告げられた。

＜議案第4号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出について＞

亀谷浩昌会長候補者が、新理事候補者名簿を資料として提出しているので承認を頂きたいと述べた。

休憩を挟み、再び議長と副議長が登壇して質疑応答の時間に入った。質疑応答は、前半に地区薬剤師会代表質問、後半に一般関連質問という構成である。地区薬剤師会代表質問の順番は、去る4月の定例理事会にて地区代表理事によるクジ引きにより決定されたこと、1地区あたりの代表質問は質疑応答を含め計7分であること、時間超過で質問できなかった事項に関しては、一般関連質問の際に質疑応答の時間を設けることが議長より説明された。代表質問は、

- ①南部地区薬剤師会（松本 圭五：糸満支部代議員）
- ②八重山地区薬剤師会（山城 専：石垣支部代議員）
- ③北部地区薬剤師会（玉城 純：名護支部代議員）
- ④中部地区薬剤師会（藤原 明人：嘉手納支部代議員）
- ⑤那覇地区薬剤師会（宮本 直樹：那覇北支部代議員）
- ⑥宮古地区薬剤師会（古謝 真己：平良支部代議員）

の順で代表質問が行われ、これらの質問に対し各担当理事が順次答弁した。

地区薬剤師会代表質問

＜南部地区薬剤師会＞

松本 圭五 代議員質問①-1

最近は土日開業の病院、クリニックも増えてきたが、卸の配送の縮小など、面で処方箋を受けるとは、各薬局苦勞している。今回のゴールデンウィークでは、病院は開業しているが、普段、病院前で開局している薬局は休みで、患者が開業中の薬局を探してきていたが、受け付けた薬局は処方箋の医薬品を探すのに大変苦勞したと聞いている。備蓄薬の協力、注文について、見直しが必要と思うが、県薬で対応できる事はないか。

西川 裕 常務理事答弁

「処方箋薬を探すのに大変苦勞した薬局がある」とのことだが、今回の質問の内容から2つの要

因が考えられる。1つ目は、ゴールデンウィーク期間中で処方箋薬を小分け依頼できる薬局が限られており、「どこの薬局が開業して、どの医薬品を備蓄しているか把握できなかった」こと。2つ目は、「処方箋に記載された医薬品を処方応需した薬局と小分け依頼した薬局が備蓄していなかった」という点である。今後、患者のための薬局ビジョンで示されているような、かかりつけ薬剤師が機能を発揮し、地域包括ケアシステムの中で地域医療に貢献できる薬局の増加が予想される。具体的には、地域支援体制加算の要件には1,200品目以上の医薬品を備蓄することとなっている。この地域支援体制を整えている薬局を中心に、地域での備蓄薬に対する協力体制を構築していくことが重要と考える。まとめると、「患者のための薬局ビジョンを推し進め、地域支援体制を整える薬局の増加を目指す。」「地域支援体制を整えた薬局と地域が備蓄医薬品に関して協力体制を作るように図っていくこと」である。今回の対応として、薬剤師会のホームページ上に地域支援体制加算の届出を行っている薬局リストを掲示するので、卸などが利用できない際の医薬品供給体制の構築に活用いただければと思う。

松本 圭五 代議員質問①-2

会営薬局が卸会社と連携して備蓄センター等を整備する案はないか。

西川 裕 常務理事答弁

理事会で検討したい。

松本 圭五 代議員質問②

薬剤師の派遣業務について、昨年度の実績を教えてください。

川満 直紀 常務理事答弁

平成30年度の薬剤師派遣は、無かった。地区からの要請も無かった。平成29年度は、中部地区の一人薬剤師の薬局の薬剤師が入院したため、中部地区薬剤師会の要請で派遣、この1件のみである。平成28年度以前には3件ある。派遣条件は、法人ではない、一人薬剤師の薬局が対象である。本会としては、会営薬局の薬剤師が充足し、体制が整いしだい、利用し易い仕組みの構築に努力していく。現在、会営薬局自体が薬剤師不足であり、派遣業務の執行自体が難しい状況である。

<八重山地区薬剤師会>

山城 専 代議員質問①

運送主要業者の一家が6月より石垣における医薬品・検体の冷蔵輸送を廃止する事になった。残り一社も冷蔵輸送は1日1便までの対応となっており、医療機関、薬局にも支障をきたす可能性がある。空輸に頼る離島医療の現状に、輸送・流通における離島格差に鑑み、共に対策を考えて頂きたい。

笠原 大吾 常務理事答弁

沖縄東邦株式会社、株式会社アトル沖縄営業部ともに、八重山地区の医薬品安定供給を目的に営業所を設置している。石垣市内の営業所には、自家発電、専用保冷ボックス、保冷車等の設置もしており、本島の会社から石垣市内の営業所へ、そして営業所から八重山地区の各薬局へ安心安全に安定供給ができるとのこと。そのようなことから、輸送会社1社の1日1便でも十分に対応

できるとのことなので、ご検討いただきたい。

山城 専 代議員質問②

沖縄県薬剤師奨学金返還助成制度を、小・中・高校を中心として全県的にもっとアピールしていただきたい。将来、薬剤師になりたいという希望を少しでも芽生えさせ、次世代の地域医療を支える地元出身の薬剤師を育てるうえでも必要な取組み。このシステムのさらなる充実とそれに伴う予算の増額を検討して頂きたい。

前濱 朋子 副会長答弁

質問頂いた奨学金返還の助成制度は、沖縄県の事業として平成30年度より実施されている。助成金は月3万で、最大2年受けることができる。薬剤師会では沖縄県より委託され、この事業に関わっている。現在、現役の薬剤師の確保事業として実施されている。5年継続の事業であるため、令和4年で終了する可能性がある。平成30年度の実績は、23名からの申請があり、15名が助成対象者として認定された。新卒者11名、既卒者4名である。8名の不認定理由は、助成対象者の要件となる期日まで県外に住所を有していないことであった。今後、同事業が発展、継続していくよう県に要請し、小中高校生への周知が可能であるか検討していきたい。

山城 専 代議員質問③

昨年に引き続いての案件。沖縄観光コンベンションビューローが作成した観光客への啓発パンフレットの内容では、本島、宮古島、石垣島以外の離島へ行く方々を主に対象としている。特に、長期連休の際には地域に関わらず、開院、開局する機関が減るので、旅行時の常用薬携帯の啓発をより強く、様々なルートに働きかけていただきたい。

江夏 京子 副会長答弁

昨年の総会における旅行時の常用薬携帯の啓発に関する質問により、当会としては、沖縄県と沖縄観光コンベンションビューロー、そしてJTB、富士ツアーリスト等の大手旅行会社にパンフレット等の制作や広報啓発等を依頼してきた。大手旅行会社からは、「検討するが、パンフレット等の作成、広報啓発は予算や大規模な計画になるので難しい」との回答であった。沖縄県と沖縄観光コンベンションビューローにおいては、「沖縄観光安心安全ガイド」ブックがタイミング良く編修時期にあったため、平成31年版には啓発記事を掲載していただくことになった。しかし、この記事が掲載されているページの冒頭に「沖縄本島、宮古島、石垣島以外の島にはコンビニエンスストアやドラッグストアなど、便利なお店はありません」と記載されていることから、今回の質問になったと思う。このページの作成元である沖縄県病院事業局に問い合わせたところ、「沖縄本島、宮古島、石垣島以外の離島にも多くの観光客が訪れるようになり、16離島診療所では対処できなくなったことから、県の大きな課題となっている」とのこと、この文言が掲載されているとのこと。この文言をページの下に掲載してはどうか等の要請をしたが、まだ発行されたばかりで在庫を多く所有していることから、次期編修の際に検討するとの回答であった。

まずは、当会ホームページやSNS上に、この文言を取り除いた同様な内容の記事を掲載し啓発したい。それから、他に啓発できるような手段はないか、様々なルートの可能性を模索したい。

＜北部地区薬剤師会＞

玉城 純 代議員質問①

平成31年4月2日付け厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長通知（薬生総発0402第1号）で示された「調剤業務のあり方」について、沖縄県薬剤師会はどのような対応を予定しているか。それに係る業務手順書の作成及び研修会等は予定しているのか。

西川 裕 常務理事答弁

日本薬剤師会会長会議においてもこの質問があったとのこと。日本薬剤師会では、業務手順書のひな型づくりや、研修会のガイドライン作成について検討するとの回答であった。沖縄県薬剤師会においては、日本薬剤師会の検討結果を待ち、対応していく。日本薬剤師会ができないとの回答であったとしても、沖縄県薬剤師会としては、医薬分業対策委員会において協議し検討する予定である。

玉城 純 代議員質問②

県内国公立大学に薬学部（科）の創設を求める活動について進捗状況を聞かせてほしい。

亀谷 浩昌 会長答弁

先の報告第1号で平成30年度の主な経過報告をしたので、それ以後の経過報告をさせていただく。平成30年9月に「沖縄県内に薬学部を創設する」の公約を掲げた玉城デニー候補が県知事に当選。デニー知事の当選後、沖縄県は知事公約を実現すべく県内薬学部創設に向けて、本会と積極的に協働するようになった。沖縄県から委託されて、本会は、①県内の薬剤師需要、②県内学生の薬学部進学についての課題、③薬学部進学者の県内回帰についての課題、について調査・報告を行った。沖縄県とともに、今期改選された西田睦琉球大学新学長を表敬訪問し、薬学部創設を要請した。

＜中部地区薬剤師会＞

藤原 明人 代議員質問①

沖縄県薬剤師会職員の離職者が多いと以前から思っていたが、実際はどうか。若い職員で給与が安いと結婚や将来設計がみえにくく、転職せざるを得ないこともあると思う。また、平日夜間の委員会や日曜祝祭日の研修会等への参加のため、有給休暇の取得が困難な事になっていないか。職員の待遇改善や今後の対策等があったら教えていただきたい。

亀谷 浩昌 会長答弁

パートの退職者は平成27年度1人、平成28年度5人、平成29年度7人、平成30年度6人、平成31年度（令和元年度）2人となっている。正職員のうち、薬剤師の退職者は平成27年度0人、平成28年度4人、平成29年度1人、平成30年度1人、平成31年度（令和元年度）0人である。次に、正職員のうち、事務職の退職者は平成27年度1人、平成28年度2人、平成29年度0人、平成30年度0人、平成31年度（令和元年度）1人である。

待遇改善について、県内では人手不足による賃金水準の上昇により、特にパート職員において本会の給与水準は相対的に低賃金状態となっていると思われる。パート職員及び正職員の待遇改善については検討していきたい。ただし、将来的な会営薬局の収入の低下が予想される状況の中、

どこまで待遇改善が可能かについては、財務委員会や労務管理事務所の意見などを参考にしていきたい。

年休の取得率の向上については、業務の効率化や業務内容の見直しと併せて考えていく。超過勤務時間の短縮については、代休の取得が十分に活用されていないので取れるようにして、トータルの超過勤務時間の低減を図りたい。

これまで、超過勤務時間を減らすため、土曜日の当番出勤を廃止、水曜日のノー残業デーを改めて設定、経理担当職員2人を理事会担当から免除、職員の薬剤師連盟活動への関与の軽減、空席だった事務局長の配置を実施した。また、職員の月間超過勤務時間の目標限度枠を40時間に設定し、その実現に向けて努力中である。

今後は、職員の労働環境に更に注意を払い、代休取得を含めて対応策を迅速に検討し、働き易く且つ働きがいのある職場の実現に努めたい。

藤原 明人 代議員質問②

決算書によると、正会員費が5,790万円、賛助会員費が5,110万円や会営薬局からの寄付金を含めると1億円以上の収入がある。その中の賛助会員B会費について質問する。

賛助会員B会費の目的は、本来どのようなものだったのか。現在の状況でも、その設立当初の目的は果たされていないのか。

薬局収入が減る中、支出は増えているため所得減少が起き、毎年閉局する個人薬局が増えている。会員あつての薬剤師会だから、この際、賛助会員B会費を数円減らすような議論をするのではなく、撤廃する方向で議論していただきたい。

山里 勇 常務理事答弁

平成30年度決算報告書の正味財産増減計算書によれば、経常収益計1,897,858,139円、経常費用計1,862,928,962円で、当期経常増減額は34,929,177円で対前年比マイナス10,283,034円となっている。法人税等7,012,800円、正味財産合計は26,297,382円となっている。

賛助会員B会費について、以前の社団法人では、医薬分業推進のために応能会費があったが、一般社団法人発足時は医薬分業率が高く安定していたため、医薬分業推進のためだけでなく、薬局や薬剤師全般にわたって質を高めていく必要性から、現在の薬剤師職能の向上に係る事業の経費として賛助会員B会費が平成25年3月24日の臨時総会で承認された。従って、応能会費と賛助会員B会費では目的が違う。

所得減少により個人薬局の閉局が増えているという事に関して、厚生労働省の統計では、処方箋1枚あたりの技術料は平成24年度2,169円、平成29年度2,292円と年々増加して、5年間で処方箋1枚あたり123円増えている。これは日本薬剤師会が中医協や政治力で頑張ってきた成果であることを申し添える。その間、賛助会員B会費は変動していないので、処方箋1枚あたりの薬局収入は増えていると考える。

賛助会員B会費を撤廃した上で、本会業務の現状を維持するためには、会員個人からの会費増額が必要であり、会費額を据え置いた場合には事業を縮小する事となり、縮小した事業は地区薬剤師会への負担になる。

本会の事業は、正会員、賛助会員、特別会員の全ての会員の協力の下、運営していることを理解いただきたい。

＜那覇地区薬剤師会＞

宮本 直樹 代議員質問①

賛助会員B会費を含め、会費の未納状況について、詳細を開示することは可能か。賛助会員B会費を支払わない薬局に対し、薬剤師会はどう対応しているのか。未納分に対してどのような働きを今まで行ってきたのか。

山里 勇 常務理事答弁

賛助会員Bを含め会費の未納状況について詳細を開示することは、個人情報漏洩につながるの
で開示はできないが、各会費の未納状況と対応を述べると、まず正会員会費については、平成30
年12月理事会報告時点で62名の未納者がいた。郵便による文書通知および電話での再請求で、35
名が完納し2,328,000円の納入があった。他の27名は、6名が分割支払い中、再請求による退会者
が2名、故人になったことで支払いができなかった会員が1名、18名が未だ支払っていない状況で
ある。

賛助会員B会費については、平成30年12月理事会報告時点で40の未納薬局があった。同じく郵
便による文書通知および電話での再請求で、20薬局が納入し、1,246,800円の納入があった。残
りの20薬局は個店が6薬局、チェーン薬局が14薬局で、この14のチェーン薬局は3法人からなっ
ている。法人として未納ということを確認している。これらの会費納入の進捗は、今年の4月時点
のものである。

賛助会員B会費未納薬局への対応は、請求書の送付、薬局に出向いて納入義務を説明、薬局に
出向いて会費を徴収、今年3月末に開催した調剤報酬業務講習会などの薬局向け研修会における
受講費の値上げ、本会発行の販売物の停止などを実行した。本会定款第9条2項に会費等の支払い
を怠り、催促を受けた後、1年を経過してもなお支払わない時は、総会の決議により当該会員を
除名することができる。また、本会会員規定第9条2項には、正会員Aが在籍する薬局は、
賛助会員Bとして入会するものとあり、賛助会員B会費の未納薬局の薬剤師は正会員Aの資格を失
うため、薬剤師の開設者または管理薬剤師を退会させることとなる。先程申し上げた請求文書に
この除名の文言を入れ送付したことで、納入薬局が増えた。これらの対応方法は平成30年12月定
例理事会で決定している。

宮本 直樹 代議員質問②

県薬正職員の残業及び職員（パート含む）の有休消化率について、個人が特定されないように、
会営薬局薬剤師、会営薬局事務職員、他職員と分けて、以下開示していただきたい。

下地 仁 理事答弁

開示は可能だが、取扱いに注意を要する書類となるから個別の残業時間をプリントして広く配
布することは適当でないと考える。詳細な数字は個人情報に配慮した上で、本会事務局にて閲覧
できるようにする。

超過勤務時間について、医療事務と関連のある事務職員の超勤が多いのは、医療事務パートを
雇うのに手間取っている間、職員がローテーションで補充に入るシフト制を取っているのが大き
い。管理職の超勤が多いのは、委員会や部会を担当しながら、事務全般の管理や連盟の業務を受
け持ったのが大きな理由と思われる。薬剤師連盟活動では地区薬剤師会の活動への助力に割かれ
た時間も多い。

会営薬局薬剤師については、薬剤師不足が大きな理由である。

有休取得状況については、質問者が例示したように集計した表を配布しているので、見ていただきたい。対応として、有給休暇の取得状況にも目を配り、労働環境の改善を図っていくこととする。

宮本 直樹 代議員質問③

不動産在庫備蓄ネットワーク（MEDDIS）終了に伴い、不動産在庫処理、小分け業務が非常に不便になり、業務に支障が出ている。負担の少ない実用的な新しいシステムの構築を考慮してほしい。

笠原 大吾 常務理事答弁

MEDDIS終了に伴い、平成30年12月27日の医薬分業対策委員会で検討をした。「利用薬局へのアンケート調査結果では、システムは必要だが負担が生じるなら加入・利用しないが半分以上、MEDDISの利用状況では、地区による差が大きく、グループ薬局での利用が少ないなどと、不動産在庫利用に関するニーズは多くなかった。他のシステム等を検討したが、初期費用、月額コストがかかってしまうので薬局負担が出てしまう。「無料のものは、自動でデータのアップロード機能などがなく、高齢の会員には操作が難しい。」などの意見から、一旦、MEDDISサービスを終了後、様子を見て会員のニーズやどのような問題が発生したかなど、一定数集約してから再度検討することとなった。この結果は、平成31年1月の定例理事会で報告している。現時点において、代替サービスとして検討中のものもある。今後も会員の不動産在庫や小分け業務への問題が解決できるようなネットワークが構築できるように考えている。

＜宮古地区薬剤師会＞

古謝 真己 代議員質問①

賛助会員B会費を受け付け診療科別の金額にできないか。

吉田 洋史 理事答弁

現在、診療科の分類方法は病院毎の方針で多種多様になっており、個別に割合を設定することが難しい。質問の意図が、調剤に従事する薬剤師の員数を割り出すため、毎年保健所に報告している眼科、耳鼻咽喉科及び歯科の処方箋枚数は3分の2と数えることによるものなら、それはあくまで薬剤師の作業量・作業時間を考慮した員数規定である。

それよりも、分かり易い処方箋1枚あたりの単価で設定した現在の会費額は妥当だと考える。

古謝 真己 代議員質問②

沖縄県薬剤師会のホームページにある更新情報など、最新情報をスマートフォンへ送ることはできないか。日常の仕事に追われ、ホームページを覗く機会が減ると「重要お知らせ」などを見逃すことがある。登録したスマートフォン等の連絡先へ送ってもらえると情報を見逃さなくて助かる。

外間 惟夫 副会長答弁

現在、週1回『Weekly ニュース』という形で登録者へはスマートフォン、パソコンへメール配信をしている。その中に、更新情報として厚生労働省、日本薬剤師会、沖縄県等の通達文書を掲

載している。同ホームページの中の会員のページにリンクしているので、そこを利用して確認していただきたい。また、スマートフォン、パソコンへメール配信希望の場合は、メールアドレスを事務局に登録していただきたい。

古謝 真己 代議員質問③

沖縄県薬剤師会ホームページの会員のページの中に、「YAH00知恵袋」のような「ふとした疑問、悩みごと」を気軽に質問できるコーナーを設置できないか。「このケースは他の薬剤師はどう対処しているのだろう。」「あの人はどこに勤務しているのだろう。」など、気軽に聞いてみたいことが質問できるコーナーがあれば会員同士の情報交換ができ便利だと思う。

外間 惟夫 副会長答弁

現実的には厳しいと考える。理由としては、匿名での書き込みとなると、誹謗・中傷等が出てくる可能性があるからである。書き込みの全てを管理する事は難しい。「ふとした疑問・対応」などは、薬事情報センターへの電話質問や、ホームページの問い合わせにより対応できていると思う。なお、これらの問い合わせの対応等の内容は、おきなわ薬剤師会報の薬事情報おきなわにも随時掲載しているので見ていただきたい。

一般関連質問

続けて、一般関連質問の時間に入った。同時間は前述の議題及び地区代表質問に関連する質疑応答の時間として設けられている。

最初に、地区代表質問の時間内にできなかった質問、回答を行った。

<那覇地区薬剤師会>

宮本 直樹 代議員質問④

豊見城中央病院の移転に伴う、現存の会営薬局とよみの運営や職員の異動をどのように考えているのか。

川満 直紀 常務理事答弁

豊見城中央病院移転に伴い、会営薬局の運営や職員に関しては、ここ数年、応援薬剤師に頼っていた状況がある。透析患者が残ることも考えると、様子を見ながら適正な人員を把握していくようにしたい。応援薬剤師に関しても把握が必要と考える。会営薬局うえはらと会営薬局医療センター前の人員も考え、異動できる職員には伝えていきたい。

宮本 直樹 代議員質問⑤

会営薬局医療センター前の赤字経営について、解消法は検討されているのか。

川満 直紀 常務理事答弁

一般社団法人沖縄県薬剤師会は、採算を度外視した公益事業も運営していることを理解いただきたい。沖縄県立南部医療センター・こども医療センターから夜間応需薬局設置の要望があり、

本会館建築の際には夜間応需薬局として表通りへ敷地を確保した経緯がある。赤字削減については人件費削減も行ってきた。今後は補助金確保に向け、県、市町村へも働きかけていく。

＜宮古地区薬剤師会＞

古謝 真己 代議員質問④

薬学生の実務実習において「在宅医療」は重要視されてきているが、地域によっては「在宅」の実例が乏しく、十分な体験ができない状況にあると思われる。「在宅」の実習に関して沖縄県薬剤師会で講習会を開くなどの対応はできないか。

我喜屋 美香 理事答弁

日頃の薬学生実習への多大なる協力に感謝する。先に、日本薬剤師会の基本的な考えを述べる。実習は一薬局完結型、つまり、全ての項目を1薬局で行うことを基本としている。在宅医療として、患者の生活の場において提供される医療を見せるのは大切である。しかし、全国的にも在宅訪問を行っている薬局の数と実習生の数は見合っていない。この点から在宅実習は、薬剤師会で連携体制をとり、他の薬局で実習してもよい項目の1つになっている。現状は、薬学生実務実習受入委員会の地区担当委員が在宅訪問を行っている薬局を紹介し実習をサポートしている。それでも不可能な場合は、日本薬剤師会としては、必ずしも患者宅への同行を要求しているのではなく、実習薬局の座学でも問題はないとしている。仮に、座学で在宅実習を終了したとしても、これは、大学の講義室で行っているのではなく、まさに医療現場である薬局で行っている実習なのである。さらに、座学に関しては、実習期間中に行われている各在宅関連研修会への参加の機会も提供している。

地区の事情により、それも難しいとのことであれば、宮古地区担当委員と相談の上、他委員会の協力も得て、座学集合研修を検討する。

学生の実習を機会に、在宅訪問に踏み切った薬局もある。今後も、より一層の協力をいただきたい。

古謝 真己 代議員質問⑤

キャッシュレス化が進む中、日本薬剤師会や沖縄県薬剤師会で団体としてクレジットカード会社にクレジットカードや電子マネーの手数料の引き下げを交渉できないか検討してほしい。10月の消費税の引き上げが目前に迫る中、国はキャッシュレス化を進めようとしている。薬剤費が多くを占める調剤報酬の支払いをクレジットカードなどで支払いが行われた場合、手数料などを考慮に入れると痛手になる可能性が出てくる。日本医師会が交渉していると聞いているが、沖縄県薬剤師会や日本薬剤師会は何か対応を考えているか。

江夏 京子 副会長答弁

質問のとおり、現在、経済産業省はオリンピックや万博に向けて外国人観光客により多くの金を使ってもらうために、2025年までにキャッシュレスの決済比率を（現在は20%以下）40%まで高めるという目標を立てており、日本薬剤師会会長会議でも同じ要請があったと聞いている。日本薬剤師会に進捗状況を問い合わせたところ、クレジット会社やイオンなどが加盟しているキャッシュレス推進協議会に日本医師会、日本歯科医師会と共に日本薬剤師会も加入し、その中で医療機関分野の部会も立ち上げたとの報告があるので、今後はその進捗状況を会員の皆様に随時伝えていきたい。

次に、議長が代議員へ一般質問を求めたところ、下記の質疑応答がなされた。

玉城武範沖縄支部代議員

研究倫理審査を受ける事が今年の学術大会から必須となっているが、現在の進捗状況を教えていただきたい。

外間惟夫副会長答弁

本会の研究倫理審査委員会は今年の4月に設置した。研究倫理審査は山口県で開催される日本薬剤師会学術大会からである。発表を目指して研究倫理審査を希望される場合は、本会事務局に計画前に申請していただきたい。事務局に現在のところ申請は来ていない。

普久原隆沖縄支部代議員

薬局開設者が前年度より29人減と資料で示しているように閉局している薬局も増えてきており、経営困難な薬局も多い。このような中で、賛助会員B会費は必要なのか。会員あつての薬剤師会ではないのか。

山里勇常務理事答弁

閉局している原因は後継者不足やM&Aなど様々な理由が考えられる。そのような中、貴重な財源を本会の会務、薬剤師職能に係る事業の経費として有効活用している。公益法人を目指す中、公益事業は1割もなく、7,000万円の赤字に収益事業部や寄付を補ってどうにか2,600万円の収益をあげて運営できている。また、この会館ができるまでは多額な会場費を払ってきた。今でも会費を下げていく方向で検討しており、私の任期中（理事歴14年、内・財務担当歴10年）にも2度下げた経緯がある。引き続き、病院薬剤師にも入会を呼びかけている。

亀谷浩昌会長答弁

賛助会員B会費を無くした場合、大幅に会としての活動を縮小しなければならない。医薬分業の価値がないなど、薬剤師バッシングが盛んに叫ばれる中、事業を縮小することが我々薬剤師のためにはならないと考える。そして、処方箋を院内に戻せとの意見もある。このような意見に効果的に個人薬局で対応できるのか。今後も組織を強化して対応していくことが必要である。

普久原隆沖縄支部代議員

会費の使用内容を聞いていない。今後のためにどうするかということを言及してほしい。予算有りきで会務を行うことがいいことなのか。少しは会費を下げるような検討ができないのか。

亀谷浩昌会長答弁

会務活動については理事会で決めているため、活動にかかる費用の適否については理事を通して議論を交わし決めていきたい。漫然と予算有りきで会務を行っているわけではない。前もってしっかり計画しないと会務は遂行できない。

浅沼健一名護支部代議員

県内の国公立大学への薬学部創設について、国立大学の琉球大学にだけ働きかけているが、今後、県内の公立大学にも働きかけを予定しているのか。

亀谷浩昌会長答弁

本会理事会で琉球大学を優先に創設を求めていることが承認されたため、公立大学への働きかけをしていないように思われていることから質問であると認識する。公立大学の関係者に事情聴取するなどの情報収集も行い、県と共有しているところである。水面下での情報収集であるから、これが表立ってしまうと琉球大学への創設意思が弱まってしまうため慎重に行動している。

＜採決（議案第1号、第2号、第3号、第4号）＞

議長が、議案第1号、第2号、第3号、第4号を一議案毎に読み上げ、賛成の挙手による承認を求めた。

議案第1号、平成30年決算承認の件について、全員賛成で承認された。

議案第2号、一般社団法人沖縄県薬剤師会予備代議員の選任について、全員賛成で承認された。

議案第3号、一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙については、野崎真敏選挙管理委員長から選挙規則第9条第1項に則って、選ぶべき員数を超えていないので、投票を行わずに、その候補者をもって当選者とする事ができるとの説明があったので、立候補者2名に対して挙手にて当選の承認を求めた。全員賛成の承認を得て、神谷朝雄氏と江夏京子氏が監事に当選した。

議案第4号、一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出承認の件については、新垣秀幸氏（南部地区代表）、上原卓朗氏（青年薬剤師部会代表）、笠原大吾氏（健康サポート薬局推進担当）、亀谷浩昌氏（会長候補者）、川満直紀氏（財務担当）、金城雄一氏（病院薬剤師部会代表）、幸地良信氏（八重山地区代表）、古謝真己氏（宮古地区代表）、佐藤雅美氏（中部地区代表・実務実習担当）、島袋さゆり氏（卸勤務薬剤師部会代表）、知名博樹氏（学校薬剤師部会代表、試験検査センター担当）、友寄安彦氏（北部地区代表）、中尾滋久氏（医療安全対策担当）、中村克徳氏（学術担当）、西川裕氏（医薬分業対策担当）、前濱朋子氏（組織強化・広報担当）、宮城幸枝氏（医療保険担当）、村田美智子氏（女性薬剤師部会代表）、盛本直也氏（那覇地区代表・地域保健担当）、吉田洋史氏（災害対策担当）、以上の者達が、全員賛成で理事就任を承認された。

議案第1号、第2号、第3号、第4号ともに全員賛成で承認された。

議題を滞りなく進行した議長と副議長が降壇し、進行を司会に移した。

今回、新役員が承認されたことで、新任の監事1名（江夏京子氏）と理事9名（金城雄一氏、古謝真己氏、島袋さゆり氏、知名博樹氏、友寄安彦氏、中尾滋久氏、中村克徳氏、宮城幸枝氏、盛本直也氏）を登壇させ紹介した。

次に、今回、退任する監事1名（友利弘一氏）と理事8名（外間惟夫氏、山里 勇氏、荒井千春氏、我喜屋美香氏、下地 仁氏、渡具知一枝氏、成川賢一氏、吉富弓江氏）を登壇させ、その中で、友利弘一氏、外間惟夫氏、山里 勇氏の3氏に退任役員を代表して挨拶をいただいた。

最後に、江夏京子副会長より、更なる会発展のために尽力することが述べられ、閉会した。

（報告：事務局 大城喜仁）

〔第80回定時総会スナップ写真〕



役員席側



代議員席側



司会
西川 裕 常務理事



開会の辞
外間 惟夫 副会長



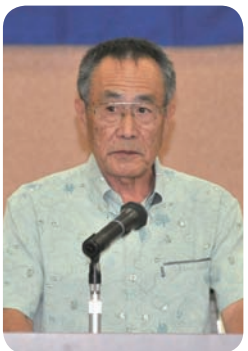
議長 名嘉 紀勝 代議員(左)と
副議長 新垣 慶朗 代議員(右)



日程説明
村田 美智子 常務理事



報告第1号
前濱 朋子 副会長



報告第2号
友利 弘一 監事



議案第1号
山里 勇 常務理事



議案第2・3号
野崎 真敏 選挙管理委員長



閉会の辞
江夏 京子 副会長

＜ 懇親会 ＞

日時：令和元年6月16日（日）16:45～18:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

定時総会を無事に終え、会場を研修室に移し懇親会が催された。司会の西川裕常務理事により、会が進められた。

前濱朋子副会長の開会の辞に続き、亀谷浩昌会長の挨拶、砂川靖沖縄県保健医療部長が来賓の挨拶をされ、神村武之相談役の乾杯の音頭で歓談に入った。

歓談が落ち着いた頃、来賓の紹介に始まり、新役員の紹介、日本薬剤師会有功賞伝達授与、沖縄県薬剤師会職員への永年勤続表彰が執り行われた。日本薬剤師会有功賞は長年に亘る薬剤師会への貢献を称えるもので、新垣晶市氏、西登貴世氏、大城トシ子氏、武田悦子氏が受賞され、総会懇親会に出席した新垣晶市氏と西登貴世氏が感謝の言葉と受賞の喜びを述べられた。また、永年勤続表彰は、20年勤続表彰として大城喜仁事務局課長と下地和美氏（琉球大学医学部附属病院FAXコーナー職員）が表彰され、大城課長が挨拶をされた。

大いに盛り上がった懇親会は、川満直紀副会長の挨拶で閉会となった。

（報告：事務局 長嶺勇作）



来賓挨拶
砂川 靖 沖縄県保健医療部長



乾杯の音頭
神村 武之 相談役



日本薬剤師会有功賞受賞
新垣 晶市氏



西 登貴世氏



来賓席



永年勤続表彰
大城 喜仁氏

第80回総会資料

＜報告第1号 平成30年度会務並びに事業経過報告＞

1. 平成30年度 会員・薬局等の業態現況報告

(1) 会 員 数

平成31年3月末現在

① 正 会 員	1,239 人	(A会員 599人、B会員 553人、C会員21人、 特別会員A 9人、特別会員B 27人、特別会員C 30人)
(内 訳)	【前年度比較】総会員数 35人増 (A会員 8人増、B会員 10人減、C会員21人増、特別会員A 1人増、 特別会員B8人増、特別会員C7人増)	
名 誉 会 員	2 人	新垣正次、長嶺義仁
薬 局 開 設 者	194 人	
一 般 販 売 業	23 人	
卸 勤 務 薬 剤 師	26 人	
勤 務 薬 剤 師	817 人	薬局(711)、病院(74)、製輸(2)
そ の 他	177 人	行政(21)、教研(2)、他職勤務者(23)、無職(101)、学生 (30)
② 賛 助 会 員	57 人	
合 計	1,296 人	① (1,239人) + ② (57人)

(2) 薬局開設者等（前年度との比較）

平成31年3月末現在

	平成29年度	平成30年度	増 減
薬 局 開 設 者	223 人	194 人	-29 人
一 般 販 売 業	13 人	23 人	10 人
卸 売 一 般 販 売 業	23 人	26 人	3 人
勤 務 薬 剤 師	787 人	817 人	30 人
保 険 薬 剤 師	1031 人	1050 人	19 人
そ の 他	156 人	177 人	21 人

(3) 保険薬局等（前年度との比較）

平成31年3月末現在

	平成29年度	平成30年度	増 減
保 険 薬 局	539 軒	540 軒	1 軒
処 方 箋 応 需 薬 局	533 軒	534 軒	1 軒

第80回定時総会資料

平成30年度事業経過報告

1. 沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けて

沖縄県内の国公立大学への薬学部創設を求め、平成29年12月9日の理事会にて「沖縄県内の国公立大学への薬学部の創設を求める署名活動」を行うことが決議された。沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県看護協会より連名での同署名活動の賛同を得て、当初は5万筆の署名目標を掲げて平成30年1月15日から3月30日までを署名活動期間として署名の呼びかけを開始した。その後、関係団体・企業より決算等の繁忙期のため署名活動期限を4月以後まで延ばしてほしい旨の要望に対応、期限を平成30年4月27日まで延長した。

一般県民を始めとして県内の大手・中小企業、経営者協会、幼小中高、PTA連合会、各自治体・自治会、各種団体等に対して署名の協力依頼を行った。すべての訪問先から、子供たちのためでもあり、沖縄県の医療発展のために協力することを約束して頂いた。

当初は目標の5万筆の達成に不安を感じていたが、亀谷会長、前濱副会長が地元紙へ薬学部県内設置の必要性を訴えた投稿に加え、本会の署名活動がマスコミ等に取り上げられると、高い学費と生活費で子供に薬学部進学を断念させたことのあるご父兄や県内に薬学部が無いことを知らなかった方等から応援と協力したい旨の電話が多く寄せられ、署名が4万筆を超えた。

平成30年4月10日に沖縄県庁記者会見室にて三師会（薬剤師会、医師会、歯科医師会）会長が「沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けて」共同記者会見をしたことで、一気に目標の5万筆を超えて、倍の10万筆を集めた。

平成30年6月13日には、琉球大学本館第一会議室にて四師会（薬剤師会、医師会、歯科医師会、看護協会）で、琉球大学への薬学部創設を求める署名用紙10万1,660筆をマスコミ各社が同席する中、大城肇琉球大学学長に要請書とともに提出した。

本会会員で、一人で5000筆余り集めた会員や一般県民で1000筆余り集めて頂いた方もいた。改めて、協力頂いた本会会員、沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県看護協会をはじめ、各企業・団体等、そして県民の皆様に厚く感謝する。

平成30年度の沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けての活動は、以下のとおりである。

平成30年4月10日

沖縄県庁記者会見室にて三師会（薬剤師会、医師会、歯科医師会）会長が「沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けて」記者発表

平成30年6月13日

琉球大学本館第一会議室にて四師会（薬剤師会、医師会、歯科医師会、看護協会）で、琉球大学への薬学部創設を求める署名用紙10万1,660筆を大城学長に要請書とともに提出

平成30年7月13日時点

署名10万2,876筆

2. 医薬分業対策

地域包括ケアシステムの構築が進む中で、薬剤師・薬局がその役割を果たすためには、各地域の実情に応じ、医師をはじめとする他の職種や医療機関等の関係機関と情報共有しながら連携して、患者に対して一元的・継続的な薬物療法を提供することが重要である。薬剤師が本来の役割を果たし、地域の患者を支援するための患者本位の医薬分業を実現するため、以下の事業を行った。

(1) 医薬分業対策委員会主催研修会

平成30年8月12日に、第1回医薬分業対策委員会主催研修会として、高知県薬剤師会常務理事の川添哲嗣氏を招き、「薬薬連携&多職種連携で行う薬物療法の適正化（ポリファーマシーと残薬問題を中心に）」と題して講演していただいた。9月14日には、第2回医薬分業対策委員会主催研修会として、琉球大学医学部附属病院薬剤部の潮平英郎氏を中心に「高齢者にけるポリファーマシー対策について」をテーマに症例を用いたグループワークの研修会を開催した。

(2) 医薬分業対策会議

平成30年8月12日に県内広域病院薬局長と各地区薬剤師会長、分業担当者が参加し、医薬分業対策会議を開催した。テーマを「ポリファーマシーについて」とし、同日研修会で講演いただいた川添哲嗣氏にも参加して頂いて、薬薬連携で行うポリファーマシーについてのディスカッションを行うことができた。

(3) FAXコーナー担当国会議

平成30年9月9日にFAXコーナー担当国会議を開催した。2年に1回の頻度で行っており、地区薬剤師会と各FAXコーナー担当者、沖縄県薬剤師会からは会長、副会長、医薬分業対策委員が集まり、運営、要望、患者さんへの対応等実りある意見交換が行われた。

(4) 健康サポート薬局

平成30年度は「健康サポート薬局県内100軒実現に向けて」をテーマとした研修会を、昨年度に引き続き実施した。

2月7日には「健康サポート薬局実現のための届出・申請について」（講師：大城由希子氏、神元繁守氏、西川裕氏、平良恭子氏）、2月28日には「健康サポート薬局実現のためのOTC導入について」（講師：盛本直也氏）、3月14日には「地域に貢献できる真の健康サポート薬局を目指して～株式会社レークケアの取り組みについて～」(講師：西村雄一氏)であった。

また、『健康サポートのための多職種連携研修会A（以下研修会A）』及び『健康サポートのための薬剤師の対応研修会B（以下研修会B）』を沖縄本島で2回（7月22日、1月13日）実施した。昨年度と同様1日で研修会A、研修会Bを連続して行った。内容は、研修会Aの講義については2回の実施で一部講師を変えて実施した。研修会Bについてはグループワークを実施した。参加者のグループは地域ごとに分けて編成し、地域の社会資源について効果的に討論できるよう配慮した。受講者人数は7月22日（研修会A：11名、研修会B：12名）、1月13日（研修会A：29名、研修会B：25名）であった。一昨年度から実施しているA・B研修の累積修了者人数は409名、沖縄県内における健康サポート薬局軒数は4軒となった。（平成31年3月末現在）。この4軒について各薬局を訪問し、その取組について会員の参考となるように会報に報告を行った。

さらに、本年度は健康サポート薬局をめざす会員の便のため「健康サポート薬局のモデル薬局整備事業」を獲得して、会営薬局うえはらをその研修場所とする事業に取り組んだ。具体的には、健康サポート薬局の届け出を目指し人的要因の整備、OTC販売体制の充実、無菌調剤業務の充実を図るための機材整備ならびに関連研修会を開催した。今後引き続き、モデル事業に取り組んでいく。

健康サポート薬局についての県民向け啓発活動として、薬と健康の週間中に開催される「くすり健康フェア」において10月18日に『知らなきゃ損する「薬局の活用法」～薬のプロに聞く、薬局を知って健康になろう～』（講師：西川裕）と題して、「かかりつけ薬局」や「健康サポート薬局」の活用方法について講演を実施した。

今後は、県民に対する「健康サポート薬局」の周知活動に取り組んでいく予定である。

(5) 患者のための薬局ビジョン推進事業（電子版お薬手帳普及事業）

電子版お薬手帳推進のため「既存電子お薬手帳システムを薬局に導入させる取組」と「電子版お薬手帳の利用者を拡大する取組」を実施した。

①電子お薬手帳事業者選定の地区薬剤師会への説明会

- ・那覇・南部・中部地区 平成30年10月24日（水）19：30～21：00
- ・中部・北部地区 平成30年10月25日（木）19：30～21：00

②選定事業者による地区薬剤師会への説明会

- ・中部・北部地区 平成30年12月17日（月）19：30～20：30
- ・那覇・南部・中部地区 平成30年12月18日（火）19：30～20：30
- ・八重山地区 平成31年 2月 1日（金）20：00～21：00
- ・宮古地区 平成31年 2月 2日（土）19：30～20：30

③県民への電子お薬手帳普及キャンペーン活動

- ・沖縄コンベンションセンター 平成30年 8月19日（日）13：00～16：00
- ・ドン・キホーテ石垣島店 平成31年 2月 2日（土）13：00～15：00
- ・ドン・キホーテ宮古島店 平成31年 2月 3日（日）10：00～12：00
- ・サンエー那覇メインプレイス 平成31年 2月11日（月・祝）13：00～15：00
- ・マリンプラザ東浜 平成31年 2月16日（土）14：00～16：00
- ・為又シティ 平成31年 2月17日（日）13：00～15：00
- ・イオン具志川店 平成31年 2月21日（木）13：00～15：00
- ・市町村自治会館 平成31年 3月 9日（土）14：00～16：00

既存電子版お薬手帳システムを薬局に導入させる取組では、電子お薬手帳の機能や実績などを業者に対してアンケート調査を行い、薬剤師会員向けの業者選定のための説明会を通し「費用」「機能」「安全性」「サポート体制」などを総合的に評価して、最終的にファルモ株式会社と沖縄県薬剤師会の共同で「おきなわ電子おくすり手帳」アプリを平成31年1月にリリースすることができた。このアプリを沖縄県薬剤師会の推奨電子お薬手帳として、ファルモ株式会社の協力のもと、宮古・八重山を含む県内4カ所で説明会を行った結果、51軒の薬局が加盟した。（フルパッケージ版9軒、処方せん送信機能のみ41軒） また、うちなあ医療ネットにおける「電磁的記録による薬剤服用歴管理の実施の有無」の項目では平成30年10月時点と平成31年2月時点では優位な増加がみられ、その増加数が「おきなわ電子おくすり手帳の加盟増加数以上」であることから、本事業を通して県内全体の電子お薬手帳の導入数が増加したといえる。（詳細の状況はうちなあ医療ネットで公

開中) 平成31年2月からは、県民向けに電子お薬手帳の啓もうとアプリダウンロードに向けて活動を行った結果、3月25日時点ではアプリダウンロード数363件となった。啓蒙活動中に行ったアンケートからは371名中295名の方が電子お薬手帳の存在を知らなかったと回答し、295名に対して電子お薬手帳の意義等を伝えることができた。

理事会や協議会で成果について確認したところ、「今まで電子お薬手帳の導入について検討すらしていなかった会員から、電子お薬手帳の導入を質問されるようになった」、「今まで全く薬剤師会として推進していかなかった電子お薬手帳に関して、事業としてスタートして普及に向けて進み出したことは大きい」との意見が出た。

(6) 不動産・備蓄ネットワークシステム

平成31年3月より現在の不動産・備蓄ネットワークシステムMEDISSのサービスが終了する。委員会では、サービス終了後の会員の不動産備蓄ネットワークシステムの構築に向けて検討を行った。現在利用している薬局へのアンケート調査を行い、代替サービス導入の検討を行った。システムは必要だが負担が生じるなら加入・利用しないというアンケート回答が半分以上、グループ薬局での利用が少なく、加盟している薬局が地区によって差が大きかったこと、他のシステム等は初期費用、月額コストがかかってしまうので会員負担が出てしまうため一旦、不動産・備蓄ネットワークシステムは廃止し、会員からの要望が多くあれば、再稼働を検討することになった。

(7) 薬剤師認知症対応力向上研修

平成30年11月11日と平成31年1月27日の合計2回認知症対応力向上研修を行った。

(講師：中尾滋久)

(8) 高度管理医療機器販売業の継続研修

①県薬会館11月11日、②宮古地区12月2日、③八重山地区3月3日の計3回実施した。

(講師：吉田洋史、中尾滋久)

(9) その他

- ・日本薬剤師会からの委託事業でDEM調査を8月1日～9月30日の期間行った。
- ・おきなわ津梁ネットワークの推進のため協議会に薬剤師会から人員派遣した。(吉田洋史委員)
- ・薬と健康の週間中の“くすりと健康フェア”において、参加した県民に「かかりつけ薬剤師・薬局を持ちましょう」の啓発を基調講演にて行った。(講師：西川 裕)

3. 生涯学習

新任・新人薬剤師研修会は、平成30年7月8日(日)に沖縄県薬剤師会館ホールで開催され、44名の参加があった。研修会では「医薬品情報業務について」を沖縄県立北部病院の吉本尚志氏が担当し、DI業務、情報検索の基本、検索サイト紹介など多岐にわたる有益な講義であった。「薬歴の書き方について」は昨年度の病院薬剤師から保険薬局薬剤師に講師を変更し、すこやか薬局グループの喜屋武芳美氏に保険調剤薬局での薬歴の書き方について講義いただいた。また昨年からは試みている「疑義照会について」は、学術研修委員会委員で保険薬局薬剤師でもある中尾滋久

氏に講師をお願いした。また、今年から「麻薬取締官について」を九州厚生局沖縄麻薬取締支所・麻薬取締官である河田啓重先生にご講義いただいた。そして学校薬剤師部会からは知名博樹副部会長、女性薬剤師部会から村田美智子部会長、青年部会から上原卓朗部会長に各部会活動について紹介があり、閉会となった。新人薬剤師や薬学生の参加も見受けられ、講師やテーマを工夫することにより連続聴講しても実りのある研修会となるよう今後も努力したい。

また、第32回沖縄県薬剤師会学術大会は10月28日(日)、「薬剤師が動くとき 地域医療が活きる」をテーマに沖縄県看護協会館に於いて開催された。参加者は269名(県薬181名、病薬85名、非会員3名)で照屋実行委員の進行のもと、外間実行委員長と亀谷大会会長の挨拶が続いた。会員発表の部では、沖縄県立中部病院の伊波寛史氏、いしみね薬局の山内優香氏、とくりん薬局の宮城勇己氏、琉球大学医学部附属病院の山田智史氏が座長を務め、病院薬剤師関連から8演題、保険薬局・その他部会関連から9演題の合計17演題が発表された。大会奨励賞は病院薬剤師関連部門では沖縄協同病院の入月健先生の「在宅療養を希望されるオピオイド持続皮下注射使用患者のために」が、保険薬局・その他関連部門ではうちどまり薬局の田中由紀子先生の「調剤薬局での関節リウマチ患者への薬剤師の関わり」が受賞した。ランチョンセミナーはファイザー株式会社共催で、那覇西クリニックの鎌田義彦医師に「乳癌の治癒に向けて～サブタイプ・ゲノミックス・免疫～」、特別講演では琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)の益崎裕章医師に「人生100年時代の医療はこう変わる！～薬剤師の皆様に期待される働き方と考え方のイノベーション～」をご講演いただき、大変好評であった。その他、機器展示では自動調剤ロボット機器や調剤支援技術ソフト等、8社の展示・紹介があり、普久原大会副実行委員長による閉会の辞で盛会のうちに幕を閉じた。

九州山口地区において学術大会を継続開催している県は沖縄、大分、佐賀、熊本の4県のみで、今年で32回目を迎えることは大変誇れることである。既に今年4月から「沖縄県薬剤師会研究倫理審査委員会」が設置され、令和2年には沖縄で九州山口薬学大会が開催されることもあり、本県での学術活動を一層高めることが喫緊の課題と考える。

4. 医療安全対策

(1) 自動調剤機器・監査システムについてのアンケート結果を発表

平成30年1月に、施設で使用している調剤システムや監査システムの長所・短所を収集し、情報を共有することが会員の「より安全で正確な調剤」を行える手助けになると考え、アンケートを実施し、132軒から回答を得た。その結果を、平成30年11月の第79回九州山口薬学大会シンポジウム「医薬品安全管理におけるpro and con」で中尾滋久委員が発表した。

(2) 平成30年度医療安全講習会を開催

平成31年3月17日(日)に本会館ホールで次の内容で開催し、123名が受講した。

○講義：「調剤・監査補助システムについて行ったアンケート調査結果」 中尾滋久委員

○機器展示及び出展社説明：(株)トーショー、(株)ユヤマ、(株)タカゾノ、(株)クカメディカル、(株)リレーションズ・オーツカ情報システムから、調剤薬局向けの「主に調剤時に使用する機器」と「主に監査時に使用する機器」を展示、説明をしてもらった。機器展示は初めての試みであった。

5. 医療保険

平成30年度調剤報酬改定等説明会を本島で3月25日に「浦添市てだこホール」で開催したが、八重山地区では4月6日に、宮古地区は4月12日に開催した。

国保審査員と社保審査員との調剤報酬請求についてのすり合わせを委員会で行い、今年度は、「調剤報酬請求業務」の講習会を、3月31日に「浦添市てだこホール」で開催した。今年度も、参加人数が1500名を超えたため、午前と午後の2部に分けての講習会となった。

平成30年度に実施された九州厚生局による指導については、集团的個別指導が40薬局、新規個別指導が14薬局、既存薬局個別指導が21薬局であった。今回、集团的個別指導を欠席したため、次年度個別指導の対象となる薬局が1件あった。個別指導は正当な理由がない限り欠席しないよう気をつけて頂きたい。

また、平成29年度の集团的個別指導の40薬局の中から、平成31年度に予定されている共同指導が選定されることになっている。

最後に、社保審査委員による会報への「調剤報酬請求業務Q&A」の掲載も継続して行った。

6. 地域保健

(1) 健康とおくすり相談事業

例年に引き継いで、実施した。特になごみ会主催県民健康フェア2018には委員会が主体となって関わり、参加者には、かかりつけ薬剤師の届け出要件の一つである地域貢献事業の参加に該当することを証明する参加証を発行した。本年度はそれに加えて、一般用医薬品セルフメディケーション振興財団の助成をいただき、「健康とおくすり相談会」事業を実施した。多良間村住民に対し7月ならびに2月の2回の「健康とおくすり相談会」を行い、セルフメディケーションの推進に関する啓発事業を実施して、これを報告書としてまとめて提出した。また、沖縄県がんじゅうさびら表彰に申請し、その活動内容が、「準グランプリ」として評価された。

(2) 自殺予防・対策事業

平成10年以来全国の自殺者が毎年3万人を越える中、平成18年に国は自殺対策基本法を成立、自殺予防総合対策センターを設置した。平成21年地域自殺対策緊急強化基金（100億円）設置に伴い、沖縄県も自殺対策連絡協議会を立ち上げ、本会も同協議会に参加し自殺予防事業に協力してきた。

県内における自殺者は平成10年以降300人を超えたが、全国の自殺者が3万人を切った平成24年、沖縄県も15年ぶりに300人を下回ることができた。その後、全国も沖縄県も徐々に減少してきたが、社会的損失の大きい自殺が依然深刻であることに変わりはない。沖縄県自殺対策連絡協議会における活動は今後も取り組んでいく事業として位置づけられ、平成18年度県内死亡率の30%以上減を目標としている。

平成30年度の自殺予防対策事業は、例年通り、会員店舗における自殺予防啓発ポスターの掲示と、ゲートキーパーとしてのスキルアップ研修会の開催であった。

内閣府が啓発する自殺予防対策月間である3月に研修会を開催し29名の会員が参加した。内容については、初めに沖縄県保健医療部地域保健課精神保健班の知花誠氏から、沖縄県の「自殺の現状」「自殺総合対策推進の枠組み（国・県）」「沖縄県および市町村の取り組み」「自殺対策の今後の課題」の報告と説明があった。次に、医療法人フェニックス博愛病院副理事長の仲本譲先生から、「ゲートキーパーとしての薬剤師に望むこと」と題して薬剤師の役割をより具体的に教え

ていただいた。その中で薬剤師にできる「気づき」「傾聴」「つなぎ」についての具体例を示され、言葉のかけ方などおおいに参考になった。また、過去のゲートキーパースキルアップ研修会でも学んだことではあったが、「希死念慮の緊急性は個人情報守秘義務に勝るものである」ということが再確認できたことも、ゲートキーパーとして「つなぐ、」役割の薬剤師としては心強い講演であった。

(3) 禁煙事業について

平成19年に発足した禁煙支援薬局・薬剤師の認定制度(3年毎更新)は、現在、認定薬剤師は69名、禁煙サポート薬局は14軒である。以前より、禁煙支援に携わる薬剤師のモチベーションを高く維持するための工夫が必要であることが本年度も確認された。また、平成30年度も、禁煙サポート薬局支援継続事業として、7月に「第11回子どもの禁煙研究会」、2月に「第12回子どもの禁煙研究会」を共同開催で実施した。通常年1回実施の禁煙アドバイザー育成研修会は開催日が次年度に変更となった。

また、県内の禁煙事業を多職種で集まって報告を行う“沖縄県禁煙協議会総会”に継続して参加し、県薬剤師会の取り組みを報告した。

一方、学校薬剤師を中心とした教育現場における防煙(はじめの1本をすわせない)活動については継続して行われた。これらの活動が小学校から高等学校の児童・生徒に対して継続して展開していることは、喫煙防止に大いに貢献するものである。

さらに、「新型タバコ(加熱式タバコ、電子タバコ等)」ならびに健康増進法改正に伴う受動喫煙対策については、新たな情報提供が必要であると考ええる。

(4) 薬剤師のためのフィジカルアセスメント

平成30年度で7年連続となり当会が県病院薬剤師会と共同で行っている継続事業である。受講生の人数構成は、病院薬剤師約20名に対し、開局の薬剤師5名とほぼ定着している。最近では、那覇、中部からの受講生がほとんどであり開催場所であるおきなわクリニカルシミュレーションセンターからの距離に依存した受講生の分布となっている。また、受講を終了した者が次年度以降のインストラクターとして講習の実施運営を引き継いでいく仕組みを今後も維持し、講習修了者が、自分が勤務する薬局での業務に講習内容を生かせるよう努めていく。

(5) 地域ケア会議

平成30年度より全面実施の運びとなっている地域包括ケアに基づいた地域ケア会議において、薬剤師は“専門職アドバイザー”として参加が要請される。本年度は、那覇市、浦添市、沖縄市、宮古島市、宜野湾市、糸満市、うるま市、嘉手納町、北谷町、八重瀬町、読谷村に薬剤師の派遣を行った。これら会議への参加依頼ならびに参加報告は可能な限り当会で集約している。本年度は、地域ケア会議に参加した薬剤師の便とするための助言記録シートを当会ホームページ上にアップした。

また、沖縄県内における当事業の専門職アドバイザーの養成のための講習会には、沖縄県リハビリテーション専門職協会が県よりの委託を受けた事業を行っており、当会は当初よりこの協力メンバーの団体の一つである。本年度はこれらの事業の研修会(多職種コンソーシアム実践研修会:12月24日 沖縄コンベンションセンター)に薬剤師の参加が実現できた。さらに、当会による講師を招聘した講習会(地域ケア個別会議の助言者研修会:12月13日 県薬ホール)を実施し

た。各市町村で地域ケア会議が実施された場合に、安心して参加できるように、薬剤師に対してはそのアドバイスに必要な事項等の講習会の開催を引き続き実施する予定である。

7. 在宅医療

在宅医療を担う薬剤師の養成・支援を目的として以下の3つの事業を行なった。

(1) 在宅医療支援薬局の啓発活動

当会ホームページに在宅医療を支援できる104ヶ所の薬局一覧を地区別に掲載した。在宅担当薬剤師名、受け入れ可能な担当地域、施設（患者宅、介護施設など）、疾病（高齢者、緩和ケア、重度心身障がい児、精神）、注射薬の無菌調製など一般の方々にもわかりやすく、細やかな掲載を心がけた。

また、病院の地域連携室への啓発運動も行なった。

【在宅医療支援薬局の掲載内容】

	H29年3月 現在	H31年4月 現在
1) 登録薬局数	74薬局	104薬局
2) 受入可能な施設		
①患者宅	69薬局 93%	104薬局 100%
②介護施設	70薬局 95%	88薬局 85%
③グループホーム	66薬局 89%	87薬局 84%
3) 受入可能な疾病		102薬局 98%
①高齢者	69薬局 93%	
②がん	64薬局 87%	88薬局 85%
③緩和ケア	49薬局 66%	86薬局 83%
④重症心身障がい児	42薬局 57%	82薬局 79%
⑤精神		78薬局 75%
⑥T P Nの無菌調製	10薬局 14%	11薬局 11%
⑦医療用麻薬の無菌調製	9薬局 12%	14薬局 14%
⑧抗がん剤の無菌調製	4薬局 5%	4薬局 4%
4) 医療材料の取扱	56薬局 76%	65薬局 63%
5) 無菌調製のために設置している設備		
①クリーンルーム	4薬局	4薬局
②クリーンベンチ	7薬局	8薬局
③安全キャビネット	1薬局	1薬局
④他薬局設備を共同利用	12薬局	12薬局

(2) 在宅医療支援のための講演会

①「在宅医療に役立つフィジカルアセスメントと症例からの薬学的管理の考え方」

1日目 「咳のある疾患」 7月15日（日）参加者21名 県薬剤師会館

2日目 嘔吐のある疾患」 7月16日（月）参加者21名 県薬剤師会館

②「在宅訪問見学事業について」

11月30日（金）参加者36名 県薬剤師会館

(3) 無菌調製の実践講座

クリーンベンチの設置及び共同利用の推進を目的として、会営薬局うえはらの無菌調剤室共同

利用およびTPN、医療用麻薬注射剤の無菌調製の実践講座を開催した。現在、県内では8ヶ所の薬局がクリーンベンチを設置しており、その中でも、会営薬局うえはら、北部地区薬剤師会会営薬局では共同利用を目的として設置されている。患者の要望に応えられるような体制が整いつつある。

【無菌調剤室共同利用講習会および無菌調製実践講座】

3月10日（日）参加者7名 会営薬局うえはら

8. 薬学生実務実習受入

実習生受け入れ9年目になるこの年は、10大学より1期17名、2期15名、3期1名の合計33名の実習受入を行った。大学の内訳は以下の通りである。福岡大学4名、第一薬科大学3名、長崎国際大学3名、崇城大学2名、徳島文理大学9名、神戸学院大学3名、福山大学5名、武蔵野大学2名、愛知学院大学1名、京都薬科大学1名。

薬局において、昨年に引き続き2019年度開始を想定しての新コア対応トライアル実習・評価が行われた。

認定実務実習指導薬剤師養成のための講座は、新規3回、更新4回開催した。新コアカリキュラム、ガイドライン周知のための研修会（日薬伝達講習会）も開催した。

また、認定実務実習指導薬剤師の養成のためのワークショップへは6名派遣した。

9. 災害支援対応

沖縄県薬剤師会業務継続計画（BCP）を策定。「平成30年7月豪雨災害」への派遣薬剤師を募集したが近隣県優先対応のため派遣はなし。また義援金も続く災害「台風21号」「北海道胆振東部地震」へも拡大して継続募集し593,096円を日本薬剤師会から道府県薬剤師会を通じ被災会員へお届け。第79回九州山口薬学大会災害対策協議会へ参加し、会員の安否確認、災害対策研修会、ヨウ素の取扱いなどについて情報交換を行った。沖縄県災害対策本部設置運営訓練への参加。BLSアドバンス講習会を2回開催、11月29日4名参加、12月6日4名参加。委員会主催研修会を2月10日開催「避難所における衛生管理について～消毒薬の使い方～」「避難所におけるOTC薬等の提供について」23名参加。

10. 関連事業

毎年度、継続して行った事業は次のとおりである。

- (1) 「薬と健康の週間」事業（10月17日～10月23日）
- (2) 各種関連協議会への参加協力
- (3) 関連機関団体との協議及び懇談
- (4) 関係行政当局との定期的連絡協議会
- (5) 日薬年金及び賠償責任保険・個人情報漏えい保険の加入促進
- (6) 県薬会報の発行
- (7) 求人求職斡旋事業
- (8) 麻薬覚せい剤及び薬物乱用防止対策行事への参加協力

11. 健康とおくすり相談会（月例）

回	開催日	担 当	開催場所	相談員数	参加者数
156	4月22日	中 部 地 区	津堅島離島振興総合センター	10	10
157	6月24日	那 覇 地 区	サンエー那覇メインプレイス	7	60
158	7月29日	宮 古 地 区	多良間村コミュニティ施設	14	70
159	8月26日	那 覇 地 区	サンエー那覇メインプレイス	9	35
160	9月2日	南 部 地 区	サンエー西原シティ	2	37
161	10月18日	南 部 地 区	パレット久茂地	8	47
162	10月27日	宮 古 地 区	宮古島市老人福祉センター	3	6
163	11月11日	那 覇 地 区	沖縄セルラースタジアム	7	160
164	11月11日	中 部 地 区	うるみん健康福祉センター	13	100
165	12月2日	那 覇 地 区	ホテルドーム（久米島）	3	60
166	2月17日	八重山地区	名蔵公民館	12	6
167	2月24日	宮 古 地 区	多良間村コミュニティ施設	15	64
168	3月3日	那 覇 地 区	サンエー経塚シティ	9	40

<報告第3号 会営薬局とよみの移転の件について>

本会は、昨年6月に開催された第78回定時総会において、豊見城中央病院が豊見城市与根地区に建設する新病院（以下、新病院）の敷地内に設置予定の保険薬局に関連して、本会へ提示された「調剤薬局運営事業における優先交渉権」に応募することを報告した。

その後の交渉の中で、同地区で予定されている豊見城市与根西部土地区画整理事業が不確定要素を含む中、その有力メンバーである豊見城中央病院から、次の募集要件が提示された。①敷地500坪以上を条件に募集する2薬局のどちらかに売買したい。より好条件を提示した側と売買契約する。買い取った側が、②200坪以上の建物を建てて他の薬局に賃貸してほしい。売買する敷地の場所は決まっていないが、当初案の新病院に向かって左側の公道側になるよう全力を尽くす。

上記の募集要件を本会の移転検討特別委員会で検討した結果、下記の①～④の懸念する事項があり、同委員会では新病院の敷地内への薬局移転を断念するとの結論を出した。薬局移転を断念する決断は、平成31年3月開催の第13回定例理事会で承認された。

<懸念事項>

- ① 本会の立場では、条件等が明確でない中、敷地購入の案は提示できない。
- ② 本会事業として、病院敷地内での不動産事業を行うことは倫理的にいかがなものか。
- ③ 敷地売買額は高額となる。加えて、建物建設が必要であるため、費用が過大すぎるのではないか。
- ④ 逆に、賃貸で入る場合でも会員の建物に入居するのに問題はないか。

第80回定時総会資料

＜議案第1号 平成30年度決算承認の件＞

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特 定 資 産 運 用 益	1,420	1,232	188
特 定 資 産 受 取 利 息	1,420	1,232	188
受 取 入 会 金	960,000	880,000	80,000
受 取 入 会 金	960,000	880,000	80,000
受 取 会 費	109,346,672	101,844,020	7,502,652
正 会 員 受 取 会 費	57,899,700	52,645,650	5,254,050
賛 助 会 員 受 取 会 費	51,100,972	48,913,370	2,187,602
特 別 会 員 会 費	346,000	285,000	61,000
事 業 収 益	1,773,553,434	1,712,557,713	60,995,721
出 版 物 事 業 収 益	5,844,477	3,611,889	2,232,588
広 告 料 事 業 収 益	590,000	430,000	160,000
そ の 他 事 業 収 益	12,701,111	11,733,450	967,661
調 剤 報 酬 収 入	1,517,306,932	1,460,605,017	56,701,915
一 部 負 担 金 収 入	180,250,470	182,797,597	△ 2,547,127
小 分 治 療 剤 収 入	11,329,760	13,259,092	△ 1,929,332
保 険 外	19,520,576	16,542,516	2,978,060
受 取 手 数 料	8,291,858	7,395,936	895,922
保 険 等 調 整 増 減	△ 939,368	△ 2,748,832	1,809,464
新 規 契 約 賦 課 金	30,000	40,000	△ 10,000
利 用 契 約 金	2,310,000	2,490,000	△ 180,000
医 薬 品 検 査 手 数 料	265,906	250,080	15,826
水 質 検 査 手 数 料	10,420,704	10,655,388	△ 234,684
空 気 検 査 手 数 料	5,631,008	5,495,580	135,428
受 取 補 助 金 等	10,217,405	7,677,758	2,539,647
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	7,968,000	5,516,000	2,452,000
受 取 民 間 助 成 金	950,000	0	950,000
受 取 補 助 金 等 振 替 額	1,299,405	2,161,758	△ 862,353
受 取 寄 付 金	465,736	329,592	136,144
寄 付 金 収 入	146,148	10,000	136,148
寄 付 金 等 振 替 額	319,588	319,592	△ 4
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	0	180,000	△ 180,000
雑 収 益	3,313,472	4,141,883	△ 828,411
受 取 利 息	2,803	2,819	△ 16
雑 収 入	176,680	198,318	△ 21,638
事 務 受 託 金 収 益	3,133,989	3,940,746	△ 806,757
経常収益計	1,897,858,139	1,827,612,198	70,245,941

科 目					当年度	前年度	増 減		
(2) 經常費用									
事		業		費	1,824,774,573	1,746,761,048	78,013,525		
期	首	棚	卸	高	63,124,046	71,509,511	△ 8,385,465		
仕		入		高	1,477,618,344	1,390,263,274	87,355,070		
期	末	棚	卸	高	△ 67,957,556	△ 65,095,335	△ 2,862,221		
役	員		報	酬	4,295,400	5,031,600	△ 736,200		
給	料		手	当	93,061,612	92,250,462	811,150		
雜				給	76,354,268	77,634,408	△ 1,280,140		
賞				与	17,133,069	14,678,920	2,454,149		
退	職	給	付	費	3,252,927	2,698,815	554,112		
法	定	福	利	費	24,101,336	24,181,578	△ 80,242		
福	利	厚	生	費	1,218,773	1,009,949	208,824		
会		議		費	2,895,357	3,066,905	△ 171,548		
旅	費	交	通	費	20,283,084	18,807,386	1,475,698		
通	信	運	搬	費	6,072,984	6,500,250	△ 427,266		
減	価	償	却	費	14,328,372	15,719,623	△ 1,391,251		
消	耗		品	費	11,188,437	9,211,232	1,977,205		
修		繕		費	192,724	891,822	△ 699,098		
研		修		費	51,400	11,000	40,400		
出	版	物	印	刷	費	8,728,538	8,484,275	244,263	
地	代		家	賃	21,799,355	21,824,125	△ 24,770		
光	熱	水	料	費	6,258,587	6,256,122	2,465		
賃		借		料	2,122,957	1,873,519	249,438		
広		報		費	4,965,943	7,887,344	△ 2,921,401		
保		險		料	1,327,233	890,928	436,305		
諸		謝		金	884,335	619,343	264,992		
租	税		公	課	3,200,163	3,211,144	△ 10,981		
支	払	負	担	金	1,192,080	966,300	225,780		
支	払	補	助	金	6,000,001	6,000,000	1		
支	払	寄	附	金	143,000	343,000	△ 200,000		
外		注		費	2,226,960	1,998,216	228,744		
支	払	手	数	料	8,876,386	7,343,167	1,533,219		
交		際		費	87,583	38,350	49,233		
管	理	維	持	費	5,578,347	5,855,767	△ 277,420		
新	聞	図	書	費	1,087,106	1,077,101	10,005		
貸	倒	引	当	金	繰	入	210,000	30,000	180,000
雜				費	0	8,000	△ 8,000		
支	払		利	息	1,511,593	1,703,678	△ 192,085		
商	品	廃	棄	損	1,357,729	1,971,289	△ 613,560		
雜		損		失	2,100	7,980	△ 5,880		
管		理		費	38,154,389	35,638,939	2,515,450		
役	員		報	酬	1,724,600	1,948,400	△ 223,800		
給	料		手	当	7,559,383	7,008,515	550,868		
退	職	給	付	費	388,438	306,311	82,127		
法	定	福	利	費	1,445,690	1,190,406	255,284		

科 目					当年度	前年度	増 減
福 利 厚 生 費					36,737	35,662	1,075
会 議 費					1,016,669	1,052,634	△ 35,965
旅 費 交 通 費					3,988,436	3,558,512	429,924
通 信 運 搬 費					711,083	742,287	△ 31,204
減 価 償 却 費					994,702	1,081,204	△ 86,502
消 耗 品 費					391,161	290,215	100,946
修 繕 費					288,564	267,444	21,120
光 熱 水 料 費					682,694	594,019	88,675
賃 借 料					280,822	292,351	△ 11,529
広 報 費					0	39,240	△ 39,240
保 険 料					179,606	130,076	49,530
租 税 公 課					468,437	432,406	36,031
支 払 負 担 金					15,640,654	14,467,074	1,173,580
支 払 寄 附 金					33,000	0	33,000
支 払 手 数 料					1,363,190	1,307,727	55,463
交 際 費					558,904	338,622	220,282
管 理 維 持 費					183,701	310,224	△ 126,523
支 払 利 息					217,918	245,610	△ 27,692
経常費用計					1,862,928,962	1,782,399,987	80,528,975
評価損益等調整前当期経常増減額					34,929,177	45,212,211	△ 10,283,034
評価損益等計					0	0	0
当期経常増減額					34,929,177	45,212,211	△ 10,283,034
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計					0	0	0
(2) 経常外費用							
固 定 資 産 除 却 損					2	2,844	△ 2,842
什 器 備 品 除 却 損					1	2,844	△ 2,843
建 物 付 属 設 備 除 却 損					1	0	1
経常外費用計					2	2,844	△ 2,842
当 期 経 常 外 増 減 額					△ 2	△ 2,844	2,842
税引前当期一般正味財産増減額					34,929,175	45,209,367	△ 10,280,192
法 人 税 等					7,012,800	16,344,300	△ 9,331,500
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額					27,916,375	28,865,067	△ 948,692
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高					713,312,854	684,447,787	28,865,067
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高					741,229,229	713,312,854	27,916,375
Ⅱ 指定正味財産増減の部							
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額					△ 1,618,993	△ 2,481,350	862,357
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額					△ 1,618,993	△ 2,481,350	862,357
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額					△ 1,618,993	△ 2,481,350	862,357
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高					26,954,636	29,435,986	△ 2,481,350
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高					25,335,643	26,954,636	△ 1,618,993
Ⅲ 正味財産期末残高					766,564,872	740,267,490	26,297,382

貸借対照表

平成31年3月31日現在

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	312, 583, 774	298, 345, 224	14, 238, 550
未 収 入 金	293, 441, 176	270, 990, 835	22, 450, 341
商 品	66, 599, 827	63, 124, 046	3, 475, 781
立 替 金	542, 726	753, 434	△ 210, 708
前 払 費 用	867, 131	1, 160, 764	△ 293, 633
仮 払 金	145, 743	502, 385	△ 356, 642
貸 倒 引 当 金	△ 3, 090, 000	△ 2, 880, 000	△ 210, 000
流動資産合計	671, 090, 377	631, 996, 688	39, 093, 689
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	69, 942, 299	67, 379, 464	2, 562, 835
九 山 積 立 預 金	11, 360, 700	11, 614, 560	△ 253, 860
法 務 対 策 積 立 預 金	5, 002, 584	5, 002, 542	42
会 館 修 繕 積 立 預 金	41, 748, 663	38, 748, 336	3, 000, 327
災 害 対 策 積 立 預 金	3, 001, 669	3, 001, 645	24
移 転 積 立 預 金	50, 003, 808	40, 003, 326	10, 000, 482
特定資産合計	181, 059, 723	165, 749, 873	15, 309, 850
(3) その他固定資産			
建 造 物	137, 646, 615	142, 785, 075	△ 5, 138, 460
構 築 物	1, 918, 766	2, 306, 879	△ 388, 113
車 両	10, 167, 854	12, 444, 134	△ 2, 276, 280
什 器 備 具	4, 667, 267	5, 207, 312	△ 540, 045
土 地	4	4	0
電 話 加 入 権	4, 444, 212	5, 531, 744	△ 1, 087, 532
ソ フ ト ウ ェ ア	157, 097, 850	157, 097, 850	0
敷 金	2, 765, 413	2, 765, 413	0
差 入 保 証 金	970, 999	1, 717, 605	△ 746, 606
その他固定資産合計	1, 250, 000	1, 250, 000	0
固定資産合計	5, 081, 850	5, 081, 850	0
資産合計	326, 010, 830	336, 187, 866	△ 10, 177, 036
II 負債の部			
1. 流動負債			
買 掛 金	507, 070, 553	501, 937, 739	5, 132, 814
未 払 金	1, 178, 160, 930	1, 133, 934, 427	44, 226, 503
前 受 金			
買 掛 金	212, 252, 427	176, 611, 626	35, 640, 801
未 払 金	22, 057, 080	24, 119, 537	△ 2, 062, 457
前 受 金	270, 000	310, 000	△ 40, 000

科 目	当年度	前年度	増 減
前 受 会 費	0	8,300	△ 8,300
預 り 金	3,301,473	2,811,740	489,733
賞 与 引 当 金	4,219,949	4,443,300	△ 223,351
未 払 法 人 税 等	7,012,800	16,344,300	△ 9,331,500
流動負債合計	249,113,729	224,648,803	24,464,926
2. 固定負債			
長 期 借 入 金	99,207,000	109,203,000	△ 9,996,000
退 職 給 付 引 当 金	63,275,329	59,815,134	3,460,195
固定負債合計	162,482,329	169,018,134	△ 6,535,805
負債合計	411,596,058	393,666,937	17,929,121
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地 方 公 共 団 体 補 助 金	18,227,734	19,527,139	△ 1,299,405
寄 付 金	7,107,909	7,427,497	△ 319,588
指定正味財産合計	25,335,643	26,954,636	△ 1,618,993
2. 一般正味財産	741,229,229	713,312,854	27,916,375
(うち特定資産への充当額)	111,117,424	98,370,409	12,747,015
正味財産合計	766,564,872	740,267,490	26,297,382
負債及び正味財産合計	1,178,160,930	1,133,934,427	44,226,503

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

小嶺 幸徳 先生（享年67歳） 令和元年8月16日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】 県薬事務局（前原・大城）：098-963-8930

第80回総会資料

＜議案第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会予備代議員の選任について＞

標記の件について、平成30年度第11回理事会（平成30年12月8日）にて、予備代議員を選出すること及び予備代議員定数を定めたところ、下記のとおり全選挙区から選出され、平成31年度第1回理事会（平成31年4月13日）で承認された。

代議員選挙規程第20条により、本定時総会において選任いただきたい。

選挙管理委員会 委員長 野崎 真敏

※敬称略

地区 薬剤師会	支部	予備代議員	予備 代議員数	代議員	当選数 (): 定数
北部地区	名 護	友寄 安彦	1	浅沼 健一 玉城 純 屋嘉比 康作	3
中部地区	うるま	新江 裕貴	1	江夏 恭範 川平 浩子 福地 健治	3
	沖 縄	四谷 祐子 石垣 満子	2	阿嘉 貫哲 鈴木 直志 玉城 武範 長濱 照美 普久原 隆 諸見里めぐみ	6
	嘉手納	橋本 正嗣	1	藤原 明人	1
	宜野湾	小嶺 幸徳	1	新垣 慶朗 新川 祥平 仲座 方利	3
那覇地区	首 里	小野 加那恵	1	新垣 紀子 大城 祥子 大塚 成一郎	3
	那覇東	神村 康江 兼島 静江	2	青佐 傑士 岡野 俊秀 小西 航 高木 愛 入月 健 屋良 愛	6
	那覇北	山内 昌太	1	平良 博文 枅井 亮太 宮本 直樹	3
	那覇中央	赤嶺 麻理子	1	我喜屋 恵美子 渡慶次 全康	2 (4)
	小 禄	富永 晃弘	1	國吉 直子 又吉 智賀子	2
	浦 添	長嶺 克哉 又吉 拓舟	2	大城 博次 杉山 英司 武富 弘記 西田 久 日高 久美子	5
南部地区	糸 満	新垣 梓	1	伊敷 松太郎 小湾 勝敏 名嘉 紀勝 松本 圭五	4
	南風原	知念 正人 垣花 真紀子	2	川上 善久 川上 雄一朗 金城 絵理子 楠見 康夫 城間 盛伸 知念 大輔	6
宮古地区	平 良	方 智子	1	古謝 真己	1
八重山地区	石 垣	山城 専	1	荒谷 敏巳	1
合計			19		49 (51)

参考 第四期（2019・2020年度）予備代議員設置のために理事会において決議された事項

一般社団法人沖縄県薬剤師会に於ける第三期の予備代議員を、定款第5条第7項ならびに代議員選挙規程第20条第3項に基づき選出する。

予備代議員定数は、各選挙区から1人とする。但し、正代議員定数5名以上の選挙区に限って、2名までとする。

予備代議員の任期は、定款第5条第6項の規定に準じ、2019年3月25日から2021年に実施される臨時総会終了の時までとする。

平成30年12月8日 平成30年度第10回理事会決議

一般社団法人沖縄県薬剤師会代議員選挙規程

（予備の代議員の選挙）

第20条 予備代議員を選出するかどうか及び予備代議員定数の定めは、代議員選挙を行う年度毎に、理事会で協議し決定するものとする。

- 2 予備代議員数は、原則として各選挙区から当該選挙区の代議員定数内の員数で選出するものとする。
- 3 予備代議員は、理事会が提案する者の中から社員総会で選任される。
- 4 予備代議員は、社員総会において出席代議員の過半数の賛成を以て選任される。
- 5 予備代議員の任期は代議員の任期に準ずるものとする。

一般社団法人沖縄県薬剤師会定款

第5条

- 7 代議員に事故あるときに備えて、予備代議員を置くことができる。
社員総会において予備代議員を選任する。
代議員に事故あるときは、予備代議員に議決権を代理行使させることができる。

<議案第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙について>

その他	その他	区 分
2 0 2	2 0 1	番号 受付
江夏 京子	神谷 朝雄	立候補者氏名
中部地区	那覇地区	所属地区 薬剤師会名
前濱 朋子	前原 信照	代 推 表 薦 者

監事立候補名簿

（立候補者一覧表様式）
一般社団法人沖縄県薬剤師会 監事
立候補者一覧

<議案第4号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出の件>

一般社団法人沖縄県薬剤師会理事候補選出要綱に基づいて、六地区薬剤師会及び定款施行規則第4条に定める部会から各1人を理事候補として推薦されてきた理事候補者、並びに第79回臨時総会で執り行われた会長候補者選挙にて当選した会長候補者が提出する理事候補者は、下記名簿に示されたとおりである。一般社団法人沖縄県薬剤師会理事として選任いただきたい。

理事候補名簿

[50音順・敬称略]

	No.	氏名	ふりがな	所属・担当	備考
現職	1	新垣 秀幸	あらかき ひでゆき	南部地区	
現職	2	上原 卓朗	うえはら たくろう	青年薬剤師部会	
現職	3	笠原 大吾	かさはら だいご	健康サポート薬局	
現職	4	亀谷 浩昌	かめや ひろまさ	会長候補者	
現職	5	川満 直紀	かわみつ なおき	財務	
新	6	金城 雄一	きんじょう ゆういち	病院薬剤師部会	
現職	7	幸地 良信	こうち よしのぶ	八重山地区	
新	8	p	こじゃ まさき	宮古地区	
現職	9	佐藤 雅美	さとう まさみ	実務実習・中部地区	
新	10	島袋 さゆり	しまぶくろ さゆり	卸勤務薬剤師部会	
新	11	知名 博樹	ちな ひろき	学校薬剤師部会 試験検査センター	
新	12	友寄 安彦	ともよせ やすひこ	北部地区	
新	13	中尾 滋久	なかお しげひさ	医療安全対策 薬事情報センター	
現職	15	西川 裕	にしかわ ゆたか	医薬分業対策	
現職	16	前濱 朋子	まえはま ともこ	組織強化・広報	
新	17	宮城 幸枝	みやぎ ゆきえ	医療保険	
現職	18	村田 美智子	むらた みちこ	女性薬剤師部会	
新	19	盛本 直也	もりもと なおや	地域保健・那覇地区	
現職	20	吉田 洋史	よしだ ひろふみ	災害対策	

医薬分業

第1回 健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会

日時：平成31年2月7日（木）19:30～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<式次第>

○あいさつ

司会進行 医薬分業対策委員会 笠原大吾
沖縄県薬剤師会 副会長 前濱朋子

○研修1 健康サポート薬局の要件について

講師：沖縄県保健医療部衛生薬務課 大城由希子

○研修2 健康サポート薬局を実現した3薬局の事例

あかみち薬局 神元繁守
そうごう薬局 新赤十字前店 西川裕
薬局えぱーわーな～ 平良恭子

○ディスカッション 健康サポート薬局 届出申請に関するQ & A

去る平成31年2月7日に第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会が行われました。今回は届け出、申請についての研修会で実際に申請を考えている薬局さんが多数参加していました。

最初に沖縄県の衛生薬務課の大城氏から届け出についての資料の話がありました。届出書添付書類に関して、かかりつけ薬局の基本的機能で7項目、健康サポート薬局機能として15項目とかなり多くの書類を作成、添付しないといけないことがわかり大変だなと改めて実感しました。

実際沖縄では、まだサポート薬局4件しかないとのことで、書類の作成の多さも壁になっているのかと感じました。

その後に、去年健康サポート薬局になった、あかみち薬局の神元先生からの届出添付書類作成についての講義が行われました。

最初に健康サポート薬局の条件ポイントは4つだけ。その条件がクリアすれば健康サポート薬局の届け出が可能です。と言われて、びっくりしました。その要件は、

◎土日のいずれかの曜日に4時間以上営業しているか？

◎健康サポート薬局研修の修了者がいるか？

◎地域の薬剤師会等が開催する健康相談会などに参加しているか？

◎過去1年間に在宅の実績があるか？

と割と簡単にクリアできそうな内容だったので安心しました。

また届け出を行うためにやらなければならないことに関して、・添付書類の作成・月1回程度の健康サポートへの取り組み といった内容を、実際作成した書類を例にわかりやすく説明頂き、かかりつけ薬局の7項目、サポート機能の15項目も意外と準備できそうだと感じました。また月1回程度の健康相談等の取り組み事例など大変参考になりました。

次に、1年前から健康サポート薬局として機能している薬局えぱーわーな～、そうごう薬局新赤十字前店の活動実績の話があり、ただ健康サポート薬局の申請を出してOKのことではなく、いかに健康サポート薬局機能を維持し、地域の住民の健康をサポートし、セルフメディケーションを推進できる薬局作りをしていくかが大事だと改めて感じました。

医薬分業対策委員会として、健康サポート薬局100軒実現に向けて、今後また在宅、OTC導入等の課題を一つ一つクリアにできるよう研修会を企画・開催をしていきたいと思えます。（報告：医薬分業対策委員会 松本 圭吾）

医薬分業

第2回 健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会

日時：平成31年2月28日（木）19:30～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

＜式次第＞

○あいさつ

○健康サポート薬局実現のためのOTC導入について

○質疑応答

○各社主要項目説明

＜メーカー＞

- ・株式会社アクシス
- ・株式会社ジョヴィ
- ・株式会社新生オリエックス社

司会進行 医薬分業対策委員会 松本圭五

沖縄県薬剤師会 副会長 江夏京子

医薬分業対策委員会 副委員長 盛本直也

各社担当者

＜卸＞

- ・アルフレッサ株式会社
- ・株式会社スズケン
- ・株式会社ダイコー

去る平成31年2月28日に第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会が開かれました。

調剤薬局の中ではOTCの購入方法、取り扱いがわからない、それが健康サポート薬局に向けての障壁になっている薬局さんも多いということで、去年からOTC導入についての研修会を開催しています。

健康サポート薬局のOTCの導入については、14薬効 48品目のOTC医薬品の取り扱いが必要になり場所の確保、仕入れ先の問題、不動在庫になった場合の返品等の受け入れなど多岐にわたる問題を解決すべく、主要メーカー、卸、6社のブースを作り研修会を開催しました。

最初に、医薬分業対策委員会副会長の盛本先生から導入講義が行われました。

軒並みドラッグストア業界が業績を伸ばしている背景には、健康相談、イベント等で地域に根差した薬局作りをしているので、日用品等の利便性も考えたら地域住民が調剤薬局から離れていくことになりかねない状況が出ています。それを打開するためには、調剤だけではなく、OTC薬を導入し、セルフメディケーションを推奨していく薬剤師のいる健康

サポート薬局体制を構築することが大事と述べられました。

また、場所の確保については陳列方法や便利グッズなどの紹介、陳列棚については大きさから価格まで写真をもってわかりやすく説明頂きました。取り扱い、販売方法についても法律を順守して、適正販売をすることが大事だと述べられました。

その後に、各ブースにて6社からOTC導入に向けての説明が行われました。

各ブースでは、最小発注単位、返品の可否、陳列方法、発注から仕入れまでの時間など詳しく説明があり、またPB商品、販促サポート等の各会社のアピールがありました。契約内容に関しても、初期費用、毎月の会費制など内容に関しても違いがありました。また、主要メーカーについては、医療用医薬品に関して広域卸の本社の協力を得て価格の交渉をし、薬価差益が出るシステムもあるアピールポイントがありました。

健康サポート薬局に向けて、いろいろ課題があると思いますが、今後もOTC導入に向けて、また、OTCの販売方法等に関する研修会も企画を予定しています。

（報告：医薬分業対策委員会 松本 圭吾）

医薬分業

第3回 健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会

日時：平成31年3月14日（木）19:30～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

＜式次第＞

○あいさつ

○講演：地域に貢献できる真の健康サポート薬局を目指して

～株式会社レークケアの取り組みについて～

講師：株式会社レークケア 代表取締役 西村 雄一 先生

○質疑応答

司会進行 医薬分業対策委員会 笠原 大吾

沖縄県薬剤師会 会長 亀谷 浩昌

全国の健康サポート薬局の軒数は1月の時点で1220軒、一番多いのは大阪128軒ついで東京122軒、沖縄県は4軒でまだまだ足りていません。沖縄県の健康サポート薬局目標は100軒で実現に向けての研修会を定期的に開催しており、平成31年3月14日に第3回の研修会が行われました。今回は、滋賀県の株式会社レークケアの西村 雄一先生を招き、地域に貢献できる真の健康サポート薬局を目指して を題材に公演が行われました。

まず初めに、西村先生がおっしゃった言葉が『患者様からのありがとう』を聞くことを目指しています、でした。そして、『日本一の店になる』を看板に掲げて、お客様から信頼される薬局作りをし、それが評価されて全国実力薬局100選に7年連続受賞、どうしたら



医薬分業対策委員会
書記 松本 圭五

できるのだろうとかなり興味が沸きました。そこで、お客様に信頼される3つのポイントを教えて頂きました。

(1) 繰り返しの顧客教育

繰り返しの顧客教育は、機械でのバイタル測定、ホワイトボードを使ったわかりやすい説明等をお客様が来局されるたびに実施し相談して信頼関係を結んでいくとのことで、決して販売目的ではなく、健康相談中心をメインにしているとのことです。

(2) 繰り返しのパーソナルサービス

繰り返しのパーソナルサービスとしては、来局されたときや誕生日に絵葉書を送る、社員一人一人がお客様に対して行き届いたサービスを心掛けているとのことです。

(3) お客様との感動共有

お客様との感動共有としては、実際何年も飲んでいる医薬品の工場見学ツアーを開催。飲まれている医薬品の安心安全、また地域住民と製薬会社との繋がりを持つことで、より信頼され継続したセルフメディケーションの構築を図れるとのことです。



あいさつ 亀谷浩昌 会長



司会 笠原大吾 常務理事

また、お客様との会話、相談から趣味等を取り入れた教室、アロマ、ヨガ、気功、他いろんな教室を開きコミュニティの構築、提供を薬局で行っているとのこと。薬局店頭での見守りのプラットホーム作り(医療機関、介護施設、リフォーム業者等多職種との連携をつくりお客様のニーズを集約し解決)が行われていますが、さらに、高齢者住宅、グループホーム、子育て、女性の活躍支援、学童保育、多世代交流ラウンジなどのいこい村くらしモールの構想をし、実現しています。また、薬局内で定期的に測定器を使った健康相談、市民講座も行っており、お客様・患者様とのより良い信頼関係を築き、理想的なサポート薬局機能を果たしている薬局と感じました。西村先生の地域連携、多職種連携、薬局でのコミュニティ作り等、お客様・患者様への強い思いがあれば実現できるのだと感じました。

今回の研修会を受けて、患者様・お客様の笑顔、感謝を感じ取り、健康への維持・増進を積極的に支援できる薬局を目指していききたいと思いました。

昨今、薬剤師・薬局をめぐる環境が大きく変化しています。薬剤師の業務も対物から対人へ、さらに薬機法の改正によって、薬剤師



は調剤時だけではなく、服薬期間を通じて患者のフォローし、薬学的知見に基づく指導を行うことが義務となる見込みです。また、薬局は『地域連携薬局』や『専門医療機関連携薬局』に分類されることとなり、健康サポート薬局機能がそれにあたると思います。将来的には調剤報酬にも連動してくるのではといわれています。

これから薬剤師が、地域住民の安全で健康な生活を守る担い手として、充分にその職能を発揮できる健康サポート薬局機能を有した薬局作りを進めていけるように、医薬分業対策委員会は今後も健サポ100軒実現に向けての研修会等を開催したいと思います。



——[健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会スナップ写真]——

＜第1回 健康サポート薬局実現のための届出・申請について＞



健康サポート薬局 届出・申請に関するQ&A ディスカッション
左より、神元繁守氏、平良恭子氏、西川 裕氏
司会進行を務めた笠原大吾 常務理事

＜第2回 健康サポート薬局実現のためのOTC導入について＞



講師
盛本直也 医薬分業対策委員会副委員長



(出展メーカー・卸会社)



(株) アクシス



(株) ジョヴィ



(株) 新生オリエックス社



アルフレッサ (株)



(株) スズケン



(株) ダイコー

学薬部会

平成31年度給食センター衛生検査講習会報告

日時：平成31年4月14日（日）11：00～12：00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



学校薬剤師
城間 千賀子

平成31年4月14日（日）に学校給食衛生管理に関する研修会があり、「学校給食衛生管理と学校薬剤師」のタイトルで学校薬剤師部会の笠原大吾副部会長が講義されました。

講義の冒頭、平成21年に学校保健法が学校保健安全法として改訂された際、学校環境衛生基準の学校給食と食品衛生に関する項目が除外されたことにより、学校薬剤師が学校給食に関わらなくてもよいと思われている学校薬剤師の現状があることを話されました。しかし、「学校給食衛生基準」や「学校給食法」により学校薬剤師は学校給食に関わる規定があることを法の経緯と共に丁寧に説明され、学校薬剤師が学校給食に関わる意義を学ぶことができました。

また、学校薬剤師が給食施設における衛生検査について、検査前の流れから検査時の点検手順、注意点、チェックポイントなども説明され、直ぐに活用できる内容でした。

私が担当する小学校は単独調理場（自校給食施設）があり、衛生検査は栄養士の先生から依頼があり3年前より実施しております。実施した当時、研修会はありませんでしたので栄養士の先生と相談し、点検回数や点検する内容は「定期及び日常の衛生検査の点検票」を用いることを決めました。また点検項目が多いため、聞き取りだけの項目と実際に現場を確認する項目を決めるなど、栄養士の先生と相互協力して行ってきました。今回の研修内容を栄養士の先生へも情報提供し、さらに定期検査を充実させていきたいと思います。

私は学校薬剤師になって9年目を迎えます。

久しぶりに学校薬剤師の研修会に参加し、初めて学校薬剤師の依頼があった時、「学校薬剤師とは？」「何をするの？」と思ったこ

とや学校薬剤師新人新任研修会を受けた時を思い出しました。

学校薬剤師の誕生は、1930（昭和5）年、ある小学校で児童に「アスピリン」を服用させるつもりが誤って塩化第二水銀を服用させたため児童が亡くなるという痛ましい事故が起きたことに由来し、1958（昭和33）年学校保健法が制定公布され学校に学校薬剤師を置くものとする定められました。学校薬剤師の職務として、学校環境衛生の維持管理に関する指導・助言者としての職務が義務付けられ、その後、数回の改訂を経て、近年の児童生徒等の健康・安全を取り巻く環境の変化にかんがみ、平成21年「学校保健安全法」が施行されました。学校保健安全法第6条第1項の規定に基づき「学校環境衛生基準」があり文部科学大臣が定めています。以前は大臣ではなく局長通達だったこともあり遵守が不十分なところがあったと聞きました。

学校薬剤師として子供達の健康を守り、安全・安心な学校生活を送れる一助となるよう活動していきたいと思います。

今回の研修内容は、学校薬剤師として知ってなければならぬものであり大変有意義な研修会でした。笠原先生ありがとうございました。



講師
笠原 大吾 学校薬剤師部会副部会長

学薬部会

平成31年度学校薬剤師新任研修会開催

日時：平成31年4月14日（日）13:00～15:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

＜式次第＞

1. 開会挨拶

2. 研修

(1) 「学校薬剤師の役割～学校薬剤師の職務～」

(2) 「学校環境衛生における定期検査・実技説明」

3. 閉会挨拶

司会 学校薬剤師部会 副部会長 平良 恭子

学校薬剤師部会 部会長 村田 成夫

学校薬剤師部会 副部会長 知名 博樹

試験検査センター 主任検査技師 小泉 宝之

学校薬剤師部会 副部会長 上原 卓朗

＜参加報告1＞

今回初めて学校薬剤師を引き受けることになり、研修会に参加しました。

水質検査や照度検査をしていることは知っていましたが、ダニ・ダニアレルゲン検査や空気検査、騒音検査など想像以上に仕事内容が多く驚きました。学校給食衛生管理にも学校薬剤師が関わっていることや自校給食施設のみならず共同調理場の点検にも関わっていくことを初めて知りました。実際に学校教諭と連携した「くすり教育」を行った話を聞き、研修を受けて学校薬剤師の役割の重要性をとても感じました。

私が担当する那覇市立城東小学校は5月21日にプール開きの予定で、まずは飲料水とプールの水質検査から行います。前任の我喜屋先生が検査機器の操作や手順等を事前に教えてくださり丁寧な引継ぎをしてくださって心強く有難く思いました。

那覇市立城東幼稚園では飲料水の水質検査は学校環境衛生の水質基準からは適合となったものの、各水栓からサビ状のものが検出されシャワーキャップをつけた状態で数週間使用していたそうです。また飲料水として毎日小学校の別水栓から持ってきて使用している状態とのことでした。このように水質基準に

学校薬剤師 高場 美保

適合したという結果を報告するのみならず、水道水を使用する園児のことを考えて提案していく必要があることがわかり、学校薬剤師の責務はとても大きいと感じました。自分にその責務が務まるのかと不安に思いますが、前任の我喜屋先生や地区担当の先生、職場の学校薬剤師の先輩にわからないことは積極的に質問して解決していきたいと思います。相談できる方々が近くにいる恵まれた環境に感謝し、正確な検査を行い園児や児童のことを一番に考えて取り組んでいきたいと考えています。

今後、学校薬剤師としてこれからお世話になる地域や学校の環境衛生に少しでも貢献できたらと思います。



研修1
講師 知名 博樹
学校薬剤師部会副部会長



研修2
講師 小泉 宝之
試験検査センター主任検査技師



＜参加報告2＞

沖縄へUターンしてきたことでこれからの人生を考える機会を得ることが出来ました。

日本薬剤師会は昭和43年に『薬剤師倫理規定』を制定しました。その後、薬剤師を取り巻く環境は大きく変化し幾度となく改定が行なわれ、更に平成30年には自主性・主体性を意識した薬剤師としての具体的な行動の価値判断とその基準を示す行動規範として「薬剤師行動規範・解説」が追加されました。その薬剤師綱領の中に、「薬剤師は広く薬事衛生をつかさどる専門職としてその職能を発揮し、国民の健康増進に寄与する社会的責務を担う」とあります。調剤・服薬指導を主にやってきた私に他にも出来る活動はないのかと模索していました。

そのような折、既に学校薬剤師としてご活躍されている先生にお話をうかがう機会がありました。学校薬剤師という職務があるのは知っていましたが、具体的な活動については認識不足であったことを痛感し、今更ながら薬剤師として大切な職務であり、地域社会への貢献は大変意義のある活動であることに魅力を感じました。

早速、平成31年度 学校薬剤師新任研修会に参加。学校保健法で学校医、学校歯科医と共に学校薬剤師も必ず置かなければならず、学校の非常勤職員として扱われるとのことでした。

学校薬剤師 前盛 稚子

主な職務は、学校保健計画・学校安全計画の立案に参与。学校環境衛生基準に基づいて、飲料水・水泳プール・照明・空気・換気・騒音などの検査。学校で使用する医薬品の指導・助言。「薬物乱用防止」「喫煙・飲酒防止教育」などの啓発活動に関わること(保健指導)。医師・歯科医師とともに子供たちの健康と安全に関わる職務等々多岐にわたります。

本当に自分にできるのだろうか・・・不安になりましたが、学校薬剤師部会の先生方が点検の方法や注意点などを丁寧に説明してくださり、不明な点はいつでも相談に乗ってくださるとのこと、また、経験談なども聞かせていただき慌てずにゆっくりと取り組んでいけばよいのかと少し安心しました。

その数日後、4月17日(水)那覇市役所にて行われた「平成31年度 学校水泳プール機械管理・衛生管理講習会」にも参加しました。プール管理をどのように行っているのか。ろ過装置、塩素消毒における注意点や各学校の担当教諭が毎日行っている業務内容への理解を深めることができ、まずは、水泳プール検査をしっかり行うことが今の課題です。

これから一人の学校職員として学校教諭と連携し一緒に取り組んでいくことを大切に、子どもたちの学校生活が安心安全で健康的に過ごせるように、微力ではありますが貢献できればと思います。

地区だより

平成30年度中部地区薬剤師会総会報告

日時：令和元年6月9日（日）15:00～17:30

会場：健康福祉プラザ「うるみん」2階 第2交流室

<式次第>

- | | | |
|---------------------------------|-----------|---------|
| 1. 開会の辞 | 司 会 | 福 地 健 治 |
| 2. 会長あいさつ | 会 長 | 伊 佐 常 隆 |
| 3. 来賓あいさつ | 沖縄県薬剤師会会長 | 亀 谷 浩 昌 |
| 4. 議長選出 | | |
| 5. 議題 | | |
| 第1号 平成30年度活動経過報告 | 理 事 | 普久原 隆 |
| 第2号 平成30年度会計報告 一般会計・特別会計・会計監査報告 | 理 事 | 新 城 光 枝 |
| 第3号 新理事選出 | | |
| 第4号 令和元年度事業計画（案） | 理 事 | 石 川 恵 一 |
| 第5号 令和元年度予算（案） 一般会計・特別会計 | 理 事 | 諸見里 めぐみ |
| 6. 閉会の辞 | 理 事 | 福 地 健 治 |

令和元年6月9日、午後3時より健康福祉プラザ「うるみん」第2交流室に於いて、平成30年度中部地区薬剤師会総会が開催されましたので報告いたします。

総会では開会挨拶に続き、伊佐常隆会長より、「日頃から当会の事業活動・運営にご理解とご協力ありがとうございます。今年度より新会長に引き継ぐことになりましたが、本会の今後の活動がより良きものになるよう、会員の皆様のご指導ご協力をお願いいたします。」と挨拶がありました。

その後、亀谷浩昌沖縄県薬剤師会会長より、「我々薬剤師を取り巻く状況はかなり厳しいものがあります。かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、国民の健康維持増進を支援する健康サポート薬局として地域の方から信頼されるように努めなければなりません。」と挨拶されました。

引き続き、議長が選出された後、平成30年度中部地区、また各支部においての活動経過報告・会計報告・会計監査報告が行われ、参加者に承認されました。

タスク薬局
米倉 美帆



次に、新理事選出が行われ、新会長には前副会長である普久原隆氏が選出され、新理事も満場一致で承認されました。

新会長の挨拶に続き、新理事による令和元年度事業計画・予算案等の報告議案が審議され、承認されました。

総会終了後、中部地区薬剤師会研修会として、「薬局を取り巻く環境変化と調剤報酬請求業務」について、沖縄県薬剤師会 仲真良重先生より、①薬局を取り巻く環境について、②指導について、③薬学管理料について、④調剤料について、⑤調剤料加算についてのお話がありました。

薬機法等制度改正に関するとりまとめとして、①患者の薬物療法を支援するために必要な薬剤師・薬局における取組、②患者が自身に適した薬局を主体的に選択するための方策

として、薬剤師・薬局のあり方、具体的な方向性について教えてくださいました。

薬剤服用歴の記載事項について、基本的なチェック項目、確認事項についての話や薬学的観点とは考えにくい処方変更での重複投薬・相互作用等防止加算の算定ミス、特定薬剤管理指導加算をマスター登録して同様の指

導内容を漫然と繰り返し記載されている例が認められるケース、特定薬剤管理指導料の算定対象外の適応例についての話は、日々の業務での問題点を再点検し、薬剤師として常に自己研鑽に努め、専門性を高めていくことが重要であると考えさせられました。

＜新役員＞

会 長	普久原 隆	(アリス薬局)
副 会 長	福 地 健 治	(メイト平良川薬局)
副 会 長	石 川 恵 市	(とくりん薬局比屋根店)
地区代表理事	佐 藤 雅 美	(薬正堂)
理 事 (保健・福祉担当)	玉 城 武 範	(ミドリ薬局美里店)
理 事 (学校薬剤師担当)	知 名 博 樹	(サンアイ薬品)
理 事 (学術担当) 兼任	知 名 博 樹	(サンアイ薬品)
理 事 (医薬分業担当) 兼任	石 川 恵 市	(とくりん薬局比屋根店)
理 事 (薬薬連携担当) 兼任	福 地 健 治	(メイト平良川薬局)
理 事 (庶務・会計担当)	諸見里 めぐみ	(オレンジ薬局)
地区 理事 (嘉手納支部)	伊 佐 常 隆	(宮盛薬局)
地区 理事 (宜野湾支部)	金 城 守	(がねこ薬局)
監 査 役	新 城 光 枝	
監 査 役 兼任	伊 佐 常 隆	(宮盛薬局)

平成30年度 八重山地区薬剤師会総会報告

日時：平成31年4月19日（金）20:00～

会場：居酒屋ハーリー

八重山地区薬剤師会
会長 山城 専



- | | |
|------------------------|---------------------|
| ○平成30年度収支決算報告 | 会計 宮 良 善 朗 |
| ○平成31年度予算案 | 会計 宮 良 善 朗 |
| ○F A Xコーナー平成30年度収支決算報告 | F A Xコーナー担当 宮 良 善 朗 |
| ○平成30年度事業報告 | 会長 山 城 専 |
| ○平成31年度事業計画 | 会長 山 城 専 |
- ◎八重山病院薬局との連携 ・ 定期的な分業連絡協議会開催 ・ ボーリング大会 ・ 忘年会
◎グッジョブいしがき参加 ◎健康とおくすり相談会の開催
◎F A Xコーナーにおける1回あたりの送信料70円に減額 ◎F A Xコーナー職員昇給の件
◎役員仕事分担の件 ◎定例会は今後、月1回から二か月に1回に減らす

試験検査センター

令和元年度 日本薬剤師会試験検査センター連絡協議会報告

日時：令和元年5月30日（木）・31日（金）

会場：沖縄県市町村自治会館

令和元年5月30日、31日に自治会館ホールにて「令和元年度日本薬剤師会試験検査センター連絡協議会」が開催された。

例年5月～6月に開催されるため、水質検査で忙しい時期となり、試験検査センター職員の参加が難しい状態であった。しかし、今回初の沖縄開催ということもあり、開催期間中、試験検査センターを休業して参加した。

会は次第に沿って進められ、パネルディスカッションでは沖縄県の現状も報告した。試験検査センターの規模に関わらず、抱える問題は本会試験検査センターと同じである事も分かった。その中で興味深かったのが、佐賀県薬剤師会試験検査センターの薬学生実務実習生への「薬局製剤の講習会」であった。元々、薬剤師に対しての研修会だったものを、実務実習生へ広げたもので、薬局製剤の製造業の座学、製造、確認試験までを行っているとの事で、指導薬剤師への薬局製剤周知になっているとの事であった。研修会への指導薬剤師の参加も少なく、試験検査センター職員の負担が大きいとも話されており、残念ながら本会試験検査センターでの実施は難しいだろうという印象だった。

副会長
前濱 朋子



<各県薬剤師会試験検査センターの報告から>

- ①収入源：検査センター利用料として会員薬局から徴収、学校環境衛生検査、会員薬局からの依頼（医薬品・薬局製剤の定量、同定など）
- ②問題点：検査業務の季節変動が大きく、業務の平準化が困難、民間分析会社の参入による価格下落、経営面から新規機器の購入や職員の増員が困難
- ③これからの展開
 - i) 医薬品検査関係
計画試験をはじめとする医薬品試験の充実、日薬事業への積極的な参加、既存の入り企業との関係強化、収益性のある試験検査の受注に努める。
 - ii) 水質含む学校環境衛生関係
水質検査の必要性の啓発、学校環境衛生検査実施の学校（行政）への働きかけ、その他衛生関係検査及び調査研究への協力
 - iii) 所有な機器や技術で可能な事業の継続



「登録試験検査機関について」と題して講演された厚生労働省医療生活衛生局監視指導・麻薬対策課の蒲池稔主査を囲んで（左写真・左から2人目、右写真・中央）

月例相談会

第169回健康とおくすり相談会報告

日時：令和元年6月9日（日）13：00～16：00

場所：サンエー那覇メインプレイス

担当：那覇地区薬剤師会

そうごう薬局 安里店
坂口 和志



サンエー那覇メインプレイス4階にて行われた、健康とおくすり相談会に参加しましたのでご報告いたします。那覇市では年に4回ほど開催されております。今回は地域の薬剤師の皆様が10数人と、薬学部実習生が数人参加され、それぞれ器具測定者や相談役などに分かれて取り組みました。

主な活動内容は、①器具を用いた測定、②健康アドバイスの2点でした。①については、体組成分析装置を用いた筋肉量、脂肪量、ミネラル量などの測定、血圧測定、血圧脈波検査装置による動脈硬化度や血管年齢測定でした。また、②については測定結果や、薬の服用状況、食事や運動、普段の生活習慣をもとに健康アドバイスを参加者に対して行うものでした。

今回の地域の健康相談会への参加は初めてだったのですが、特に印象深かったことは想定していたより健康相談会を利用する参加者が多かったことです。相談会の場所は事前に告知や広告をせず、また場所もショッピングモールのメインの区画ではなく、比較的目に留まりにくい駐車場の階にある空きスペースを活用したものでした。それにもかかわらず、次々と測定を受けたい参加者が集まって来られるのをみて、改めて健康相談会の必要性を再認識できました。

私が担当した場所は主に体組成分析の測定と、そのあとの流れの案内でした。器具の使用法については先輩の薬剤師の方に丁寧に教えていただいたおかげで、実際の測定の際にスムーズに行うことができました。体組成分析の器具自体は、一般の方ではご存じない方も多く感じられ、立ち止まって外から眺めている方や、「これは何の機械ですか？」と尋ねてこられる方もいらっしゃいました。そういった方々に対して懇切丁寧に説明すると、測定内容に興味を持っていただき、進んで測定されていました。その場で結果についても軽く説明すると、「こんなことまで分かるんだね。運動はしていたけど食事にも気を付けてみるよ。」とお言葉をいただき、相談会に参加した甲斐があったなと思いました。

今後も地域の皆様の健康をサポートできるよう積極的に健康とおくすり相談会に参加し、地域の皆様の健康増進に役立つような取り組みを手伝えたらと思います。次回以降は相談役の方にもまわれるように、薬以外の健康に関する知識についてもしっかりと自己研鑽していく所存です。

最後に、薬剤師会のスタッフの皆様や、ご一緒頂いた先生方や実務実習薬学生の皆様に心から感謝申し上げます。

健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- 吉田 洋史 ○盛本 直也 ○宮城 幸枝
- 伊礼 理秀 ○平良 博文 ○山道 峻也
- 森方さゆり ○西川 裕 ○坂口 和志
- 新井 康之 ○金城 昭子 ○磯 昭子
- 運天 芳生



その他会務報告

沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊

令和元年6月23日（日）慰霊の日〔ひめゆりの塔構内〕

例年、梅雨明けして晴れる慰霊の日が、今年は30年ぶりに雨となりました。沖縄戦殉職医療人之碑には、毎年、本会と沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会の供花が添えられています。

本会会員の長田紀昭先生におかれましては、御尊父の長田紀助氏（当会第2代会長）が合祀されていることから毎年ご参拝されております。他に当会から、神村武之相談役、吉田洋史理事、又吉章元事務局長が沖縄県薬剤師会としてご参拝、慰霊されました。（亀谷会長は、日本薬剤師会定時総会のため欠席）

今年も地元紙2社から取材を受けました。

機会がございましたら、沖縄戦殉職医療人への慰霊、追悼に是非ご参拝下さい。

（文：事務局 大城 喜仁）



<沖縄戦殉職医療人之碑>

沖縄戦殉職医療人之碑は、昭和23年10月28日に沖縄医療団により建立され、ひめゆりの塔と並んで建てられている。沖縄戦で軍に協力し、住民の衛生、保健、治療に活動し、各地で戦死した医師、歯科医師、薬剤師、看護婦等、約50余名を合祀している。戦時体制となった時、住民の生命を預かる医師の大半は日本本土へ疎開したが、自分たちの郷土は自分たちの手で守り抜こうと覚悟を決めた医師達は、郷土に踏み止まって住民の治療、衛生に努力したが、戦局は不利となり、日を追って増加する傷病者の治療、看護に疲れて倒れる者、さらに、敵陣に斬り込み、自決する者等、実に仁術を天命として尽くし、最後まで闘って戦没した。薬剤師は、県内・県外あわせて10人近くになると思われる。その内の1人、県薬第2代会長の長田紀助氏（故久場トヨ先生、長田紀昭先生の御尊父）は、厚生大臣任命で、佐官待遇の軍属として南部戦線に向かわれ、玉城村（現南城市）字糸数付近で戦没された。喜瀬乗垣氏（キセ薬局・故喜瀬乗惟先生の御令兄）は中国大陸の山野で没された。

薬事情報おきなわ No.255

2019年5-6月号 : Vol.34 No.3

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 2019年4月3日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
内 用 薬	ビクタルピ配合錠 (GSI/9883)	1錠	6,972.30	ギリアド・サイ エンシズ	ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタピン・テノホビル アラ フェナミドフマル酸塩:抗ウイルス化学療法剤(HIV-1感染 症)(新有効成分、新医療用配合剤)

●新医薬品 2019年5月22日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
内 用 薬	ビバンセカプセル20mg (S489 20mg)	20mg1カプセル	674.80	塩野義製薬	リスデキサンフェタミンメシル酸塩:中枢神経刺激剤(小児 期における注意欠如/多動性障害(AD/HD))(新有効成 分)
	ビバンセカプセル30mg (S489 30mg)	30mg1カプセル	747.70		
	ロソーゼット配合錠LD (37)	1錠	177.00	MSD	エゼチミブ/ロスバスタチンカルシウム:小腸コレステロー ルトランスポーター阻害剤/HMG-CoA還元酵素阻害剤配 合剤(高コレステロール血症、家族性高コレステロール血 症)(新医療用配合剤)
	ロソーゼット配合錠HD (850)	1錠	177.00		
	スマイラフ錠50mg (スマイラフ50)	50mg1錠	1,741.00	アステラス製 薬	ペフィシチニブ臭化水素酸塩:ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害 剤(既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的 損傷の防止を含む))(新有効成分)
	スマイラフ錠100mg (スマイラフ100)	100mg1錠	3,379.90		
	アーリーダ錠60mg (AR60)	60mg1錠	2,281.90	ヤンセン ファーマ	アパルタミド:前立腺癌治療剤(遠隔転移を有しない去勢 抵抗性前立腺癌)(新有効成分)
注 射 薬	アセレンド注100 μ g	100 μ g2mL1瓶	1,618	藤本製薬	亜セレン酸ナトリウム:低セレン血症治療剤(低セレン血 症)(新有効成分)
	レブコピ筋注2.4mg	2.4mg1.5mL1瓶	846,349	帝人ファーマ	エラベグアデマーゼ(遺伝子組換え):ポリエチレングリ コール修飾 遺伝子組換えアデニンデアミナーゼ酵素 製剤(アデニンデアミナーゼ欠損症)(新有効成分)
	スキリージ皮下注75mgシリンジ0.83mL	75mL0.83mL1 筒	239,374	アヅヴィ	リサンキズマブ(遺伝子組換え):ヒト化抗ヒトIL-23p19モノ クロナール抗体(既存治療で効果不十分な下記疾患 尋 常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症) (新有効成分)
	リサイオ点滴静注液100mg	100mg2.5mL1 瓶	189,816	大日本住友製 薬	チオテパ:造血幹細胞移植前治療薬(小児悪性固形腫瘍 における自家造血幹細胞移植の前治療)(新有効成分)
	ラビピュール筋注用	1瓶(溶解液付)	11,867	グラクソ・スミス クライン	乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン:(狂犬病の予防及 び発病阻止)(新有効成分)
	ピリヴィジェン10%点滴静注5g/50mL	5g50mL1瓶	39,718	CSLベーリン グ	pH4処理酸性人免疫グロブリン:血漿分画製剤(液状静注 用免疫グロブリン製剤)(・慢性炎症性脱髄性多発根神 経炎の筋力低下の改善・慢性炎症性脱髄性多発根神 経炎の運動機能低下の進行抑制(筋力低下の改善が認めら れた場合))(新有効成分)
	ピリヴィジェン10%点滴静注 10g/100mL	10g100mL1瓶	78,580		
	ピリヴィジェン10%点滴静注 20g/200mL	20g200mL1瓶	155,468		
	テルリジー100エリブタ14吸入用	14吸入1キット	4,107.40	グラクソ・スミス クライン	フルチカゾンフランカルボン酸エステル・ウメクリニウム 臭化物・ピランテロールトリフェニル酢酸塩ドライパウダー インヘラー:3成分配合COPD治療剤(慢性閉塞性肺疾患 (慢性気管支炎・肺気腫)の諸症状の緩解(吸入ステロイド 剤、長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入 β_2 刺激剤の併用が必要な場合)(新医療用配合剤)
	テルリジー100エリブタ30吸入用	30吸入1キット	8,692.80		

●新医薬品 2019年5月22日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
	キムリア点滴静注	1患者当たり	33,493,407	ノバルティス ファーマ	チサゲンレクルユーセル :(1.再発又は難治性のCD19陽性のB細胞性急性リンパ芽球性白血病。ただし、以下のいずれかの場合に限る。・初発の患者では標準的な化学療法を2回以上施行したが寛解が得られない場合。・再発の患者では化学療法を1回以上施行したが寛解が得られない場合。・同種造血幹細胞移植の適応とならない又は同種造血幹細胞移植後に再発した場合。2.再発又は難治性のCD19陽性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫。ただし、以下のいずれかの場合であって、自家造血幹細胞移植の適応とならない又は自家造血幹細胞移植後に再発した患者に限る。・初発の患者では化学療法を2回以上、再発の患者では再発後に化学療法を1回以上施行し、化学療法により完全奏効が得られなかった又は完全奏効が得られたが、再発した場合。・濾胞性リンパ腫が形質転換した患者では通算2回以上の化学療法を施行し、形質転換後には化学療法を1回以上施行したが、形質転換後の化学療法により完全奏効が得られなかった又は完全奏効が得られたが再発した場合)(新再生医療等製品)

●報告品目・新キット製品一覧 2019年5月29日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
内 用 薬	レキサプロ錠20mg (MO184)	20mg1錠	303.50	持田製薬	エスシタロプラムシユウ酸塩 :選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)(うつ病・うつ状態、社会不安障害)(再審査期間中の規格追加)
	イノラス配合経腸用液	10mL	15.60	イーエヌ大塚 製薬	経腸栄養剤(経口・経管両用) :(一般に手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取困難な場合の経管栄養補給に使用する)(類似処方医療用配合剤)
注 射 薬	ゾレア皮下注75mgシリンジ	75mg0.5mL1筒	23,195	ノバルティス ファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え) :気管支喘息治療剤、慢性蕁麻疹治療剤(ヒト化抗ヒトIgEモノクローナル抗体製剤)(1.気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る)2.特発性の慢性蕁麻疹(既存治療で不十分な患者に限る)(新キット製品)
	ゾレア皮下注150mgシリンジ	150mg1mL1筒	45,645		
	ゴナックス皮下注用240mg	240mg1瓶 (溶解液付)	34,850	アステラス製 薬	デガレリクス酢酸塩 :GnRHアンタゴニスト(徐放性)/前立腺癌治療剤(前立腺癌)(新用量、再審査期間中の規格追加)
	エタネルセプトBS皮下注10mgシリンジ 1.0mL「TY」	10mg1mL1筒	3,773	YLバイオロジ クス	エタネルセプト(遺伝子組換え)[エタネルセプト後続2] :完全ヒト型可溶性TNF α /LT α レセプター製剤(既存治療で効果不十分な下記疾患・関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)・多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎)(バイオ後発品) エタネルセプト(遺伝子組換え)[エタネルセプト後続2] :完全ヒト型可溶性TNF α /LT α レセプター製剤(既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む))(バイオ後発品)
	エタネルセプトBS皮下注25mgシリンジ 0.5mL「TY」	25mg0.5mL1筒	9,175		
	エタネルセプトBS皮下注50mgシリンジ 1.0mL「TY」	50mg1mL1筒	18,060		
	エタネルセプトBS皮下注50mgペン 1.0mL「TY」	50mg1mL1キット	18,194		
	シンボニー皮下注50mgオートインジェ クター	50mg0.5mL1 キット	121,539	ヤンセン ファーマ	ゴリムマブ(遺伝子組換え) :ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)中等症から重症の潰瘍性大腸炎の改善及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る))(新キット製品)
	トラスツズマブBS点滴静注用60mg 「ファイザー」	60mg1瓶	13,683	ファイザー	トラスツズマブ(遺伝子組換え)[トラスツズマブ後続3] :抗HER2ヒト化モノクローナル抗体 抗悪性腫瘍剤(HER2過剰発現が確認された乳癌・HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌)(バイオ後続品)
	トラスツズマブBS点滴静注用150mg 「ファイザー」	150mg1瓶	31,858		
	イロクテ静注用4000	4,000国際単位 1瓶(溶解液付)	306,641	サノフィ	エフラロクトグ アルファ(遺伝子組換え) :遺伝子組換え血液凝固第Ⅷ因子Fc領域融合タンパク質製剤(血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制)(再審査期間中の規格追加)
外 用 薬	ビソノテープ2mg	2mg1枚	59.40	トーアエイヨー	ビソプロロール :経皮吸収型 β_1 遮断剤(1.本態性高血圧症(軽症～中等症)2.頻脈性心房細動)(新効能、新用量、再審査期間中の規格追加)

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



Medical News

●不適切宣伝、さらに増加—エビデンスない説明最多～厚生労働省（薬事日報5月22日）

厚生労働省は17日、医療用医薬品に関するMRやMSLなどによる広告・宣伝活動について、2018年度に全国の医療機関からモニターとして抽出した施設から報告された違反事例を公表。MRが口頭説明や印刷物を用い、エビデンスのない説明や信頼性の欠けるデータを提供するなど、依然として製薬企業による情報提供の信頼性を損ねる違反項目が増えている実態が明らかになった。疑義報告が疑われた医薬品の種類では、抗癌剤、鎮痛剤、糖尿病治療剤、脂質異常症治療剤の順に多く、先発品、後発品のいずれも含まれていた。

●PMDAの副作用報告、医師からの件数わずかに1割（薬事日報6月2日）

医薬品医療機器総合機構（PMDA）の運営評議会が17日開かれ、医薬品の副作用報告制度について、特に医師からの報告数が1割と少ない現状に対し、診療報酬で評価して件数を増やすべきなどの意見が出た。運営評議会では、2018年度の医薬品副作用報告が企業から6万2110件、医療関係者から9931件寄せられたことを報告。患者・家族からウェブサイト等を通じて報告を受け付ける制度を3月から本格的に開始したことなどを説明した。

●薬剤師数は長期的に余剰—新設薬学部、供給増の要因に（薬事日報6月5日）

薬剤師の需給動向を調査・研究している厚生労働省研究班は、2043年度までのシミュレーションを行い、「薬剤師の総数としては、長期的に見ると、供給が需要を上回ることが見込まれる」との報告書をまとめた。「今後、薬剤師に求められる業務への対応や調剤業務の効率化などの取り組みによって必要性は変わり得る」と指摘。一方、薬科大学や薬学部については、「現在の水準以上に必要となる状況は考えにくい」との見方を示し、「今後も新設が続き、6年制入学定員が増加し続ければ、さらに薬剤師供給の増加要因となり得る」と警鐘を鳴らした。

●遠隔服薬指導に厳しい意見 中医協総会で議論（薬事日報6月14日）

中央社会保険医療協議会は12日の総会で、インターネットを活用したオンライン診療や服薬指導など、医療現場におけるICTの活用をめぐる議論した。委員からは、オンライン服薬指導に対して「営利企業としての薬局の業務効率化に利用することを目的としている」、「ハイリスク薬の服用患者を想定し、オンライン服薬指導上の留意点をもう一度整理する必要がある」との声が上がった。また、オンライン診療の算定要件に対して「安全性に支障がない範囲であれば、要件を緩和すべき」と要件緩和を求める意見も出た。

●毒性学会 小児薬の開発停滞打開へ～非臨床データ外挿に活路（薬事日報7月1日）

6月27日に開かれた日本毒性学会学術年会のシンポジウムでは、臨床試験で小児被験者データの集積に苦労する中、幼若動物の非臨床試験データから小児臨床試験に外挿させる開発の実現に向けて議論した。国内では成人適応の承認直前で、ようやく小児用の開発必要性の検討を開始しており、欧米の状況とは大きな乖離があるのが課題となっている。

●沖縄はジェネリック使用率全国一～協会けんぽ支部調べ（琉球新報7月2日）

全国健康保険協会沖縄支部の加入者が使用する薬のうち、ジェネリック医薬品の割合（2019年2月調剤分）が87・6%と全国トップを維持している。一方、前年同月比の伸び率は全国最下位と、他支部との差が縮まっている。1日に結果を公表した沖縄支部は、保険料率の軽減にもつながるとして、後発医薬品のさらなる利用促進を呼び掛けている。

●チェーン薬局の7割が「算定は厳しい」 日本保険薬局協会が調査（薬局新聞7月3日）

調剤基本料1以外の薬局で、地域支援体制加算を算定しているのは僅か4薬局であることが、日本保険薬局協会（NP hA）正会員企業を対象に実施した調査から明らかになった。今回の調査は本年3～4月までを調査期間とし、98社8168薬局から回答を得た。地域支援体制加算の算定状況については、7割を超える薬局で算定できていない実態が判明。調剤基本料1の薬局数は2325のうち、基本料1以外の薬局で同加算を算定するのは4薬局にとどまっている。NP hAは同加算の算定状況や、処方箋1枚当たりの利益率の低下などを根拠に改定内容の見直しを求める構えだ。

●在宅医療に関するリーフレットを作成 厚労省（薬事日報7月5日）

厚生労働省は、在宅医療に関する普及・啓発リーフレットを作成し、医療提供施設や介護施設、自治体関連施設などを中心に無償で配布している。在宅医療が必要になる前段階からケアマネジャーや医師と相談し、選択肢を予め広げておくことの重要性を強調する内容となっている。

●日薬、不正再発防止へ要請通知 薬歴改ざん発覚受け（薬事日報7月3日）

日本薬剤師会は6月28日の定例会見で、チェーン薬局の薬歴未記載・改ざんによる調剤報酬不正請求が発覚したことを受け、再発防止に向けた取り組みを要請する通知を都道府県薬剤師会へ発出したことを明らかにした。今回の要請は、厚生労働省保険局医療課からの「積極的な再発防止の取り組みを強く要請する」とした文書を受けたもの。



公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

**医療
安全情報**

薬剤の中止の遅れによる 手術・検査の延期

No.149 2019年4月

医療機関内で観血的医療行為前に中止する取り決めがある薬剤を把握していなかったことや中止指示を出さなかったことにより、予定した手術・検査が延期になった事例が7件報告されています(集計期間:2014年1月1日～2019年2月28日)。この情報は、第44回報告書「分析テーマ」で取り上げた内容をもとに作成しました。

手術・検査の前に中止する取り決めがある薬剤の中止が遅れたため、予定した手術・検査が延期になった事例が報告されています。

延期した 手術・検査※1	中止しなかった 薬剤※2	成分名	背景
気管支鏡検査	タケルダ配合錠	アスピリン／ ランソプラゾール	・外来主治医は問診票を見落とした ・研修医はタケルダ配合錠を胃薬だと思っていた
尿管結石症の検査			患者から服用している薬剤はないと聞いていたが、入院当日に内服薬があることが分かった
肺癌の検査	ロコルナール	トラビジル	院内の採用医薬品ではなく、抗血小板作用があることに気付かなかった
乳房切除術・ センチネルリンパ節生検	ロトリガ粒状 カプセル	オメガー3脂肪酸 エチル	
脳神経外科手術	ブラビックス錠	クロピドグレル	中止指示を出し忘れた
扁桃摘出術	ペルサンチン錠	ジビリダモール	
大動脈弁置換術	アスピリン	アスピリン	ワーファリンとアスピリンを内服していたが、ワーファリンのみ中止指示を出した

※1 観血的医療行為か、または観血的医療行為と推測される事例です。

※2 医療機関が観血的医療行為前に中止すると取り決めた薬剤です。規格や屋号を除いて記載しています。



薬剤の中止の遅れによる手術・検査の延期

事例 1

患者は、肺癌が疑われ、気管支鏡検査で生検を行う予定であった。外来主治医は、問診票の「抗血小板薬内服あり」に○印があることに気付かず、タケルダ配合錠を中止しなかった。入院時、研修医はタケルダ配合錠は胃薬だと思っており、持参薬報告書のタケルダ配合錠の備考欄に「アスピリン 7日間休薬が必要」と記載されていたが見逃し、中止しなかった。検査当日、検査室の看護師が患者に抗血小板薬の内服について確認した際、タケルダ配合錠を内服していることが分かり、検査を中止した。

事例 2

当院の周術期に休薬する薬剤の一覧表では、イコサペントエン酸エチルを含む薬剤は術前7日間の休薬を推奨している。一覧表には院内採用薬のみ掲載されており、ロトリガは記載されていなかった。医師は、ロトリガが手術前に中止を検討する薬剤であることに気付かなかった。乳房切除術のために入院した際、手術前日に薬剤部よりロトリガは1週間の休薬が推奨されていると指摘があった。出血のリスクを考慮し、手術を延期した。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・手術・検査の際に休薬する薬剤の一覧表に成分名を記載し、院内で周知する。
- ・手術・検査を計画した際、患者の内服薬を把握し、中止する薬剤がないか確認する。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価部会委員の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。

本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページをご覧ください。 <http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.med-safe.jp/>



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

●安全性情報●

〔質問〕アゼラスチンを服用し始めてから、食事に苦みを感じる。食事が食べられなくなっているが、この薬のせいですか？（女性）

〔回答〕アゼラスチンの副作用に約0.2%の頻度で苦味があるとの報告されています。このお薬の成分自体に強い苦味があるので、その影響と考えられます。お薬の服用を中止する事で徐々に症状は改善するでしょう。早めに担当医に連絡し、指示を仰いでください。ただし、このお薬が体から抜けるまでには4日以上期間が必要となります。

〔質問〕薬局で聞いたら、ジクロフェナク坐薬は錠剤と比べて胃をあらさないという。本当か。（男性）

〔回答〕坐薬は直腸から吸収され、内服薬と同様に体内を循環しますので、胃粘膜障害を起こす場合があります。実際に同成分の先発医薬品（坐薬）で胃などの消化管にびらん、出血等を認めたとの報告もあります。日本リウマチ財団の調査では、ジクロフェナク等の鎮痛薬の長期服用関節炎患者における胃潰瘍の有病率は、坐薬と内服薬投与では有意差はなく、胃潰瘍発生に対する鎮痛薬の剤型、投与経路の影響は少ないと報告しています。

参考：ノバルティスファーマ製品情報サイト

〔質問〕1歳の子供が誤ってシミの薬ハイチオールを2個、ヒートと一緒に飲んだかもしれない。（女性）

〔回答〕ハイチオール自体の副作用としては下痢などが報告されていますが、今の所、いつもと変わらない様子でしたら、薬自体の影響はないと思われます。ただ、ヒートを飲みこんだのであれば、消化管を傷つけたり出血することと考えられ大変危険です。早急に病院を受診してください。

〔質問〕ゾピクロンを精神科から処方してもらっている。健忘症になりますか？（女性）

〔回答〕ゾピクロン等のベンゾジアゼピン系の薬は、健忘症状を引き起こす事が報告されています。服用後、薬が効いている間に行動を起こそうとすると、健忘症状が現れやすいとされています。医師の指示通り寝る前に服用し、寝床につく事が大切です。

〔質問〕長年市販の救心錠剤を飲んでいる。今回、オースギ酸棗仁湯エキスを病院から処方された。一緒に飲んでもいいですか？（男性）

〔回答〕オースギ酸棗仁湯エキス（サンソウニン、ブクリョウ、チモ、カンゾウ、センキュウ）には様々な植物生薬が、救心錠剤（センソ、ゴオウ、シンジュ、ジ

ンコウ、リュウノウ、ドウブツタン）には、主に動物生薬成分が含まれています。重複する生薬はないため、過量投与などの心配はなく、併用は問題ないでしょう。ただ、漢方薬にも副作用はありますので、食欲不振、悪心、腹痛などいつもと違う症状が現れるようでしたら、担当の医師または薬剤師にご相談ください。

●ドーピング●

〔質問〕2か月後に大会がある。1週間前にエフェドリンが含まれている麻黄附子細辛湯を飲んでしまった。体外へ排出するまでにどのくらいの期間がかかりますか？（男性）

〔回答〕エフェドリンは競技内禁止薬物に該当します。人によってお薬の代謝の速度は異なりますので、完全に抜ける時間というのはご返答できません。ただ2か月あればおそらく体から完全に排出されているでしょう。今後、薬・サプリメントなど口にするものについては細心の注意を払うようにしてください。ドーピングはあくまでアスリート個人の自己責任となります。

〔質問〕フェロミア（一般名：クエン酸第一鉄ナトリウム）はドーピング検査にかかりますか？（女性）

〔回答〕フェロミア（内服）はドーピング禁止薬物ではない。鉄は赤血球の原料であり、フェロミアは単なる鉄剤であるため、鉄欠乏のない一般の人が服用しても造血能が高まることはない。（注射には、用量等注意が必要です）

参考：エーザイQ&A「鉄欠乏性貧血治療剤フェロミア処方に関するQ&A」

●その他の質問・相談●

〔質問〕ニコチンパッチは薬局で処方せんなしで買えますか？禁煙サポート薬局では禁煙の相談ができるんですか？（女性）

〔回答〕現在、一般薬としてニコチンパッチは2種類発売されています。他に一般薬にガムの製剤があります。処方せんなしで購入する事ができます。禁煙サポート薬局は禁煙を希望する方の相談を受けており、禁煙したいがやり方が分からない、禁煙補助薬の使い方などが分からない場合についてもサポートしています。

・爪の先に水虫ができています。通っている皮膚科が新薬ばかり出す。計算をやり直してと思うくらいの高い金額である。

・リウマチの治療中。医師に生物学的製剤を使いたいと言われた。高額で支払いが厳しいけど、それを使わないといけませんか？他の人はどうやって支払っているのですか？また治療のメリット等教えてください。

薬事情報センターに寄せられた質問から

はい、薬事情報センターです。



薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

〔質問〕 交付した麻薬が期限切れだという事が判明した。どうすればいいか。(薬局)

〔回答〕 有効期限切れや不良品の麻薬を交付した場合、また誤調剤した麻薬を施用してしまった場合は、すみやかに回収し、回収できた麻薬については麻薬廃棄届を、また回収できなかった麻薬については麻薬事故届を提出する。回収した麻薬の代わりに同量の麻薬を新たに交付する場合は、新たな麻薬処方箋により調剤し交付してください。

参考：平成21年3月 麻薬等関係質疑応答集（厚生労働省医薬食品局 監視指導・麻薬対策課）

〔質問〕 注射薬の回収について、また分別の方法等について。県外では家庭から出る医療廃棄物の出し方等、通知しているところもある。沖縄県ではそれについての規定等がありますか。(薬局)

〔回答〕「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」(環境省)に基づいて行う。自宅から出る注射針は一般廃棄物となるが、処理については、市町村等で回収を行っているところもあれば、薬局・病院等の医療機関で回収し感染性産業廃棄物として処理する等様々である。(県担当者)

〔質問〕 抗がん剤の制吐剤としてドンペリドンではなく、ノバミン(一般名：プロクロルペラジン)が使用されるのはなぜか。

〔回答〕 ノバミンは統合失調症、術前・術後の悪心・嘔吐に適應を持つ薬剤である。名古屋大学医学部付属病院の久米初枝ら¹⁾はオキシコドン錠誘発性の悪心・嘔吐に対し、中枢性のドパミンD2受容体拮抗薬プロクロルペラジンの予防的内服について調査し、有効ではなかったと報告している。さらに、予防的効果がみられないのであれば、症状が発現してから開始することも十分であると考えられたと考察している。ガイドラインではオピオイドによる嘔気・嘔吐に関する質の高い臨床研究はない、制吐剤の使用はエビデンスに乏しく“弱い推奨”としている中で第一選択薬として、(1)ドパミン受容体拮抗薬(ハロペリドール、プロクロルペラジンなど)(2)消化管蠕動亢進薬(メトクロプラミド、ドンペリドン)(3)抗ヒスタミン薬(ジフェンヒドラミン/ジプロフィリン、クロルフェニラミンマレイン酸塩、ヒドロキシジンなど)をあげている。制吐剤の漫然な長期投与は錐体外路症状のリスクにもなるため、最小限での使用が望まれる。

参考：「オキシコドン誘発悪心・嘔吐に対する予防的制吐薬の使用状況とその効果」：久米初枝他(2016)、がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン2017(日本医療緩和学会)

〔質問〕 蟯虫の駆虫薬として使用するメベンダゾール単回投与の情報がほしい。(薬局)

〔回答〕 MSDマニュアルでは、メベンダゾール100mg経口(年齢は問わない)を単回投与後、2週間以内に同量を再投与することで、90%以上の症例で蟯虫症を完全に駆除できる(虫卵は完全には駆除できない)としている。欧米ではアルベンダゾールあるいはメベンダゾールの2回投与による蟯虫症に対する治癒率はそれぞれ90-100%と報告している。蟯虫は幼虫包蔵卵を摂取後2~3週間で、あるいは5~6週間以内に成虫に発育すると考えられていることから、再感染の存在を考慮しての2回服用が勧められている。メベンダゾールの使用は保険適応外である。

参考：MSDマニュアル、日本寄生虫学会HP、「パモ酸ピランテルで駆虫に失敗しアルベンダゾールが奏功した日本人若年成人蟯虫症の1例」：感染症学雑誌85(5)、2011

〔質問〕 船舶員で機関士をしている患者にドラール錠の日数上限を超えた63日分の処方が出ています。問題ないか。患者は船舶で疾患にかかり向精神薬(アリピラゾール等)等薬を10種類ほど服用中である。(薬局)

〔回答〕 厚生労働省の定める厚生労働省の通知では、投与期間制限のついた医薬品についても、長期の旅行等特殊事情がある場合、従来どおり旅程その他の事情を考慮し、必要最低限の範囲において1回30日を限度としている。ただし、船員保険法において、長期の航海に従事する船舶に乗り込む被保険者に対し投薬の必要があると認められる場合の投薬量の基準は、療担規則の規定にかかわらず、航海日程そのほかの事情を考慮し、必要最小限の範囲において、1回180日分を限度として投与する事とされている。

参考：厚生省令第20号(平10.3.16)、保険薬局業務指針2018

〔質問〕 ロキソニン(ロキソプロフェンナトリウム)の使用可否を教えてください。競技会に出場する選手のトレーナーから、スマホで見た新しいリストにイブプロフェンがなくなっているので、イブプロフェンは使えないと言われた。(薬局)

〔回答〕 ロキソニンもイブプロフェンも禁止薬物ではない。日本スポーツ協会が毎年発行している「アンチドーピング使用可能リスト」を見ての事と思われるが、本リストは例示であり、他にも多くの使用可能な医薬品がある。仮に、前年に掲載されていた医薬品が今年非掲載であっても、禁止薬物となったわけではない。

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

◇エキスパートナース 35巻5号

*日常ケアのいまさら聞けない20のこと

◇エキスパートナース 35巻6号

*チューブ・ライン 固定術

◇エキスパートナース 35巻7号

*非がん患者に行う緩和ケア

◇月刊薬事 61巻6号

*薬剤師なら見逃し厳禁！ 向精神薬の副作用と薬剤
性精神症状

◇月刊薬事 61巻7号（臨増）

*病態と薬剤からわかる 水・電解質・酸塩基平衡

◇月刊薬事 61巻8号

*予防とケアがよくわかる がん治療の皮膚・粘膜障害

◇月刊薬事 61巻9号

*ガイドラインから具体的な処方へ 心不全の併存疾
患管理

◇産科と婦人科 86巻5号

*無痛分娩・産科麻酔UpDate

◇産科と婦人科 86巻6号

*広汎子宮全摘術のすべて

◇産科と婦人科 86巻7号

*広がる子宮内膜症の世界

◇総合診療 29巻5号

*一般外来で診断できたら「えっへん！」な疾患38

◇総合診療 29巻6号

*皮膚科診療エクササイズ 1枚の写真から

◇総合診療 29巻7号

*リウマチ・膠原病ミミック症例帖“膠原病っぽくみえ
てしまう疾患たち”にだまされない！

◇調剤と情報 25巻6号（臨増）

*エキスパートが教える！運転注意薬の基本的な考え方

◇調剤と情報 25巻7号（臨増）

*合併症妊娠の薬物治療

◇調剤と情報 25巻8号

*脂質異常症治療の最前線を追え！

◇調剤と情報 25巻9号

*薬局で生かす患者心理学

◇治療 101巻 5号

*医師の燃え尽き症候群

◇治療 101巻 6号

*災害と地域医療 明日への備え

◇治療 101巻 7号

*対話で深める プライマリ・ケア

◇日経ドラッグインフォメーション 258号

*フォローアップに役立つ糖尿病 UPDATE

◇日経ドラッグインフォメーション 259号

*処方意図から患者指導まで 点検！高血圧

◇日経ドラッグインフォメーション 260号

*BZ系薬の処方箋を受けたら

◇日経メディカル 617号

*あなたは多数派？少数派？

◇日経メディカル 618号

*どんどん身近になるバイオニック医療

◇日経メディカル 619号

*福生病院「透析中止で死亡」どうにも気になる6つの
疑問

◇日本医事新報 4956号

*意外に知られていないモルヒネによる痛み治療の問
題点と実際

◇日本医事新報 4957号

*輸血による副作用の種類と対応

◇日本医事新報 4960号

*糖尿病性足潰瘍の治療と管理

◇日本医事新報 4961号

*レビー小体型認知症-病態解明と治療の現状

◇日本医事新報 4964号

*認知症の非薬物療法と介護資源の利用法

◇日本医事新報 4966号

*妊娠高血圧症候群の管理と降圧薬の使い方

◇日本医事新報 4968号

*「しびれ」の原因とメカニズムを学ぶ

◇薬局 70巻6号

*オピオイド誘発性便秘症 ～QOLを向上させるための
対応力を身につける

◇薬局 70巻7号

*がん治療と薬物相互作用 ～ピットフォールに陥らないための基礎と実践

【今月の論文等】

■薬物療法■

- ▶ 粘膜障害の治療～口腔粘膜炎の予防と治療
月刊薬事61 (8) p. 68
- ▶ 20年続く慢性の下痢患者にコレパインを処方した理由
日経ドラッグインフォメーション (258) p. PE021
- ▶ 肺癌患者にミノサイクリンを継続処方する理由
日経ドラッグインフォメーション (259) p. PE025
- ▶ 呼吸困難にモルヒネを適応処方する理由
日経ドラッグインフォメーション (260) p. PE025
- ▶ こむら返りに処方されたエルカルチン
日経ドラッグインフォメーション (258) p. PE023
- ▶ トルリシティを打ち忘れたら
日経ドラッグインフォメーション (260) p. PE045
- ▶ アトピー性皮膚炎治療薬デュピルマブによる治療の実際
新薬と臨牀68 (5) p. 106

■新薬■

- ▶ 審査報告書から見る新薬の裏側 [28] イベニティ[®]
皮下注〔ロモソズマブ (遺伝子組換え)〕
月刊薬事61 (6) p. 157
- ▶ 審査報告書から見る新薬の裏側 [29] ローブレナ[®]
錠25mg、100mg (ロルラチニブ) Part 2
月刊薬事61 (8) p. 140
- ▶ 審査報告書から見る新薬の裏側 [30] ラビピュール[®]
筋注用 (乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン)
月刊薬事61 (9) p. 152

■安全性情報■

- ▶ 心房細動治療中に生じた吐き気
日経ドラッグインフォメーション (258) p. PE031
- ▶ 緑内障診療に影響する薬剤
調剤と情報25 (8) p. 74
- ▶ 抗がん薬による眼障害
調剤と情報25 (9) p. 76
- ▶ 注意すべき向精神薬の警告、禁忌——処方前に確認すべき課題
月刊薬事61 (6) p. 21
- ▶ 皮膚・粘膜障害を起こしやすい薬剤
月刊薬事61 (8) p. 15

- ▶ 放射線治療に伴う皮膚・食道の有害事象に対する予防とケア
月刊薬事61 (8) p. 74

- ▶ がん患者における口腔粘膜炎 対応の現状
新薬と臨牀68 (5) p. 112

■薬剤師業務■

- ▶ 処方の問題をどう医師に伝えるか——薬局薬剤師の立場から——疑義照会
月刊薬事61 (6) p.80
- ▶ 5-ASA製剤を飲み忘れる患者への対応
日経ドラッグインフォメーション (258) p. PE035
- ▶ プロトピックの発癌性をどう説明するか
日経ドラッグインフォメーション (258) p. PE037
- ▶ これなら医学論文が読める！ 使える！ 医薬品情報を引き出すイージーアプローチ
薬は“どれくらい”効くのか？— 添付文書、インタビューフォームから読み解く薬の効果
調剤と情報25 (8) p. 81
- ▶ これなら医学論文が読める！ 使える！ 医薬品情報を引き出すイージーアプローチ
一度に多数を検討するには？— ネットワークメタ解析で考える薬の効用
調剤と情報25 (9) p. 95

■産科・婦人科■

- ▶ 妊婦・授乳婦の服薬指導～つわりと知らずに制吐薬を服用した妊婦
日経ドラッグインフォメーション (260) p. PE036
- ▶ 妊婦・授乳婦の服薬指導～歯科治療後に抗菌薬と鎮痛薬が出された妊婦
日経ドラッグインフォメーション (259) p. PE020

■その他■

- ▶ 市販の二酸化塩素製剤の殺菌効果と人体への安全性は？
日本医事新報 (4959) p. 57
- ▶ スポーツファーマシストが教える セルフメディケーションのピットフォール
消炎鎮痛作用のある貼付剤の使い分け
調剤と情報25(8) p. 97
- ▶ スポーツファーマシストが教える セルフメディケーションのピットフォール
アンチ・ドーピングから考えるサプリメント
調剤と情報25(9) p. 114

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

フルーツジュースとの薬物相互作用

月刊薬事 3月号

グレープフルーツ (GFJ) は小腸のCYP3A/P糖タンパク質 (P-gp) を阻害し、基質薬物の血中濃度上昇を引き起こす。GFJによるCYP3A/P-gpの阻害はコップ1杯の量で引き起こされ、24時間～3日間持続するため、相互作用は服薬時間をずらすことでは回避できない。また、GFJ、アップルジュース、オレンジジュースは小腸のOATP2B1を阻害し、基質薬物の血中濃度減少を引き起こす。つまり、相互作用の機序によって、併用する薬物の血中濃度を増強、減少と相反する現象をもたらす。これらのフルーツジュースでは、1杯で十分にOATP2B1は阻害されるが、約4時間あけることで、相互作用の影響を回避できると考えられる。服薬指導時にフルーツジュース摂取の確認及び患者への情報提供が重要と考えられる。ただし、これを気にし過ぎるあまり、現治療を中止するといったことになれば本末転倒である。そのような介入は避けるべきである。

秋田大学医学部附属病院薬剤部
赤嶺 由美子・三浦 昌朋

抗ヒスタミン薬と自動車運転機能

日本医事新報 4945号

鎮静性抗ヒスタミン薬の副作用には、「眠気」という主観的な側面と、薬剤による一過性の脳機能障害のような客観的な側面がある。脳機能障害は、認知・判断・実行レベルなど多段階での機能障害が想定されているが、運転や認知機能試験などの最終的な作業成績 (パフォーマンス) として評価されることが多い。薬剤の影響でパフォーマンスが悪化することを、「インペアード・パフォーマンス」 (または、「気づきににくい能力低下」) と呼ぶ。眠気の自覚がなくても運転能力が低下している場合もあるので注意を要する。診療や医療相談における第一の留意点は、まずは添付文書に忠実な服薬指導を心がける事である。補足的な注意事項としては、非鎮静性ないし軽度鎮静性抗ヒスタミン薬でも一部の使用者では鎮静作用が発現することもありうるので、安全性を考慮し念のための注意喚起を促しておくことも重要である。

東北大学サイクロトロン・RIセンター
サイクロトロン核医学研究部
田代 学

イオン飲料多飲とビタミンB1欠乏

日本医事新報 4960年号

先進国では、小児のビタミンB1欠乏症は稀である。しかし、アトピー性皮膚炎における過度の食事制限・自閉症スペクトラム障害による極端な偏食等低栄養などによる小児のビタミンB1欠乏症は現在でも散見される。著者は、近年わが国でイオン飲料水などの多飲によるビタミンB1欠乏症が繰り返し報告されていることに注目し、日本小児連絡協議会栄養委員会として全国調査を施行した。その結果、33例の情報を収集し、解析を行った。症例の年齢は中央値15カ月 (範囲7～35カ月) で、28例が2歳未満であった。21例で養育環境に問題を認めた。イオン飲料などの多飲が始まった時期は中央値10カ月、その継続期間は中央値3.5カ月であった。1日の摂取量は、1000mL以上が28例中25例であった。多飲を始めた理由は、感染症罹患が11例で最多であり、そのうち4例で医師の勧めがあった。今回の調査では、ビタミンB1欠乏の症例の約半数に後障害を認めており、予後は良好とは限らない。今後新規発生を防ぐため、その危険性を広く周知する必要がある。

愛知医科大学医学部小児科教授
奥村 彰久

糖尿病治療薬で留意すべき副作用のマネジメント

薬局 7月号

低血糖：1型糖尿病患者は、インスリン使用経験と低血糖の危険性を十分把握しても救急搬送されることから、投薬指導と副作用に関する説明が求められる。2型糖尿病患者は1型糖尿病患者より副作用の低血糖リスクの発症率が高いので、副作用の理解、低血糖時の対応、シックデイの対応などを含めた手厚い投薬指導や説明が求められる。過去の低血糖症状の問診も重要となる。乳酸アシドーシスリスク：用量非依存であり、年齢非依存であることを理解して投薬説明する。脱水にならないような注意喚起とアドヒアランスの遵守が大きな要因となる。必要以上に服薬する意味はなく、毎日服用する重要性を説明する事が重要である。また、ビグアナイド薬の注意点は、造影剤検査の場合も存在する。ヨード造影剤使用の2日前から2日後までは投与を中止する事が推奨されている。メトホルミン服用患者への問診では検査の聞き取り調査が必要な鍵となる。心不全悪化リスク等併存疾患に対しての糖尿病薬物治療はEBMを理解して投薬指導を実施することが肝心である。

関西電力病院 薬剤部
濱口 良彦

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】薬剤・検査データの読み方

改訂 7 版 薬剤師のための臨床検査の知識

【監修・編集】笹隈 富治子 他 【発行】じほう 【発行日】2019 年 4 月
 【版型/頁】ポケット判/440 頁 【定価】2,376 円(税込) 【幹旋価格】2,100 円(税込)
 臨床検査と検査値から病態を理解するために必要な基本知識を網羅。改訂 7 版では、ガイドラインなどを含む最新の知見にアップデートするとともに、新たに病原微生物検査法を加え感染症に対する炎症反応検査、薬剤感受性検査を詳細に記載。またウイルス肝炎マーカー、感染症検査、固形腫瘍の診断・治療に遺伝子検査を用いた手法の紹介を付記した。

基本的知識と症例から学ぶ がん緩和ケアの薬の使い方

【編集】岡本 禎晃/荒井 幸子 【発行】じほう 【発行日】2019 年 6 月
 【版型/頁】B5 判/200 頁 【定価】3,456 円(税込)

がん患者のさまざまな苦痛症状に対する緩和薬物療法をテーマに、エキスパート薬剤師が基本的知識をわかりやすく解説。さらに豊富な症例を通じてアセスメントのポイントや処方提案の実際を教えます。

Q&A でわかる がん疼痛緩和ケア 第 2 版

【監修】的場 元弘/加賀谷 肇 【発行】じほう 【発行日】2019 年 6 月
 【版型/頁】A5 判/496 頁 【定価】3,672 円(税込)

「痛みの起こる機序は?」「WHO3 段階治療ラダーとは?」といった基礎知識から、「腎・肝障害時のオピオイドの使い方は?」「大量のオピオイドからのオピオイドスイッチングの方法は?」など臨床でよく遭遇する問題の解決方法、さらには緩和領域のポリファーマシーや WHO ガイドラインの改訂など最新のトピックスも完全網羅。

よくある不安や疑問に応える 妊娠・授乳と薬のガイドブック

【編集】愛知県薬剤師会 妊婦・授乳婦医薬品適正使用推進研究班 【発行】じほう
 【発行日】2019 年 5 月【版型/頁】A5 判/264 頁 【定価】3,024 円(税込)

妊婦・授乳婦の服薬の可否を検討するうえで必要な知識や患者対応の仕方を身につけられる実践ガイドとして作成。まず、冒頭で妊娠・授乳の基礎知識や、服薬が胎児・乳児に及ぼすリスクの評価、妊婦・授乳婦の服薬に関する情報の調べ方を丁寧に解説。さらに、ケーススタディ形式で頻用薬を取り上げ、服薬の可否判断の考え方や根拠をわかりやすく示した。

処方箋のなぜを病態から推論する

【著者】宇高 伸宜、岸田 直樹 【発行】じほう 【発行日】2019 年 5 月
 【版型/頁】A5 判/324 頁 【定価】3,672 円(税込)

「この患者さんにこの薬?」「こんな処方ではじめて…」と、処方箋にまつわる疑問は尽きません。そんなとき、薬を疾患や病態と結びつけて考えられると処方の理解度がグッと上がります。1 枚の処方箋からわかる疾患・病態や薬のことを、ケーススタディ形式で薬剤師と医師が解説。服薬指導や疑義照会の質が上がるのと同時に、謎の多い処方箋に対して何をどう考えればよいかも自然と身につく。処方の理由がうやむやなままの調剤から脱し、患者さんに自信をもって対応するための一冊。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

* * 海外文献から (JAPIC 医薬情報より) * *

●閉経後のホルモン療法とアルツハイマー病のリスク:フィンランドにおける全国的ケースコントロール研究 (BMJ British Medical Journal 364(8190)1665-(2019.3))

1999年-2013年にフィンランドにおいてアルツハイマー病と診断されたすべての閉経後女性84739例を特定し、年齢および医療地域を一致させたアルツハイマー病と診断されていない女性84739例を対照とした全国的症例対照研究を行った。フィンランドにおけるホルモン療法は、殆ど estradiol が含まれ、estrogen-gestagen 治療として norethisterone acetate や medroxyprogesterone acetate などと併用されていた。主要転帰は、アルツハイマー病のオッズ比および95%信頼区間から、条件付きロジスティック回帰分析により算出した。結果：女性83688例(98.8%)が60歳以上でアルツハイマー病の診断を受け、47239例(55.7%)は診断時80歳を超えていた。全身ホルモン療法により、アルツハイマー病のリスクは9-17%増加していた。estradiol 単独使用者と oestrogen-progestogen 使用者でリスクに有意差はなかった。oestrogen-progestogen 使用者におけるリスクの増加は、progestogens の種類と関連していなかった。ホルモン療法を60歳未満で開始した女性では、10年を超えるホルモン療法への曝露とリスク増加が関連していた。全身ホルモン療法開始時の年齢は、リスク増加に関連する明らかな決定因子ではなかった。

●ADHD 患者における Methylphenidate または Amphetamine による精神病 (New England Journal of Medicine 380(12)1128- (2019.3))

特発性の精神病と amphetamine の作用による症状が類似していることから、注意欠陥多動性障害(ADHD)の思春期児と若年成人において amphetamine の使用が methylphenidate よりも精神病リスク上昇に関連すると仮定し、検討を行った。方法：2つの民間保険請求データベースから得たデータを用いて、ADHDの診断を受けており、2004年1月1日-2015年9月30日に methylphenidate または amphetamine の服用を開始した13-25歳の患者を評価した。転帰は、精神病の発症日から60日間に抗精神病薬が処方された精神病の新規診断とした。ADHDに対し中枢神経刺激薬の処方を受けた思春期児と若年成人337919例を評価した。研究対象は221846例、追跡期間は143286人年であった。methylphenidate を服用していた110923例が、amphetamine を服用していた110923例とマッチされた。精神病のエピソードは、マッチさせた対象全体で343件(1000人年あたり2.4)あり、内訳は methylphenidate 群106件(0.10%)、amphetamine 群237件(0.21%)であった(amphetamine 使用のハザード比1.65, 95%信頼区間:1.31-2.09)。amphetamine の使用は、methylphenidate よりも高い精神病リスクと関連した。

●欧州系集団での種々の医薬品(Phenytoin, Allopurinol, Cotrimoxazole 等)の新規使用者におけるスティーヴンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死融解症の発生率:Case-Population 研究 (Eur. J. Clin. Pharmacol. 75(2)237- (2019.2))

●米国退役軍人におけるプロトンポンプ阻害剤(Rabeprazole など)に関連した全死因死亡率および死因別死亡率の推定:コホート研究 (BMJ (8201)11580/ (2019.6))

●Fluoroquinolone (Ciprofloxacin など)と腱断裂との関連性の臨床的意義:Corticosteroidの有無による影響の大きさ:コホート研究 (Br. J. Clin. Pharmacol. 85(5)949- (2019.5))

県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ

薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

➡ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

➡ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電 話 098-963-8935

➡ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電 話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

➡ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ

<ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

第40回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会 狩俣 イソ

いつも冷静な與儀和子さんが、「スベリヒユって植物なのにオメガ3を豊富に含んでいる！」と興奮気味に話します。小さい頃よく食べていて、お盆の時には和え物にしてお供えしていたそうです。

ベニバナ：滑莧：馬齒莧

学名 Portulaka oleraces L
科名 スベリヒユ科 Portulacaceae科
属名 スベリヒユ属 Portulaca
使用部位 葉、茎・花被・種子
有効成分 オメガ3脂肪酸、カリウム、鉄
生薬名 馬齒莧(バシケン)



＜スベリヒユの名称と歴史＞

起源はインドとペルシャにあるとされている。茹でて食べると独特のぬめりがあり、すべすべすることからスベリヒユと名がついた。山形県では「ひょう」と呼び、茹でて芥子醤油で食べたり、干して保存食にしたり山菜の一種として扱われている。また沖縄県では「ニンブトゥカー念仏鉦」と呼ばれ、薬物野菜の不足する夏季に重宝される。

生薬名は「馬齒莧」で、東洋医学の考え方の「五行」の五色、葉が緑・茎が赤・花が黄・根が白・種子が黒をすべて持つことから、「五行草」とも呼ばれている。古来より用いられ、乾燥させてから煎じて、利尿薬、消炎剤、抗菌剤、解毒剤などとして、具体的には、胃腸不良や下痢などの薬

として用いられてきた。また生葉の液は、虫さされに有効だとされる。

初夏から秋にかけて茎葉を採取して、熱湯で茹でて水にさらしてから、油炒め、あえもの、汁の具として食べる。トルコやギリシャ等、地中海地域では、生のままサラダにしたり、炒めて食べたりする。

＜スベリヒユの特徴＞

全世界の温帯、熱帯に広く分布する。乾燥耐性があり、日本全土の日当たりの良い畑、畦道、道端、空き地などに普通に群生する。

根は白色、茎は丸く紫赤色を帯びていて、地面を這うように四方に伸びて生長する。茎葉ともに肉質で、毛はない。葉は互生し長さ1.5～2.5cm、へら状で先は丸く基部はくさび形で短柄、少し紫赤色を帯びる。枝先の葉の中心に、雄しべ7～12本、黄色の5弁花(直径6～8mm)の小花をつける。6～9月の晴天の日の午前中だけ開花する。萼片は2個。果実は熟すと横に裂け、上部が脱落する蓋果で、長さ約5mm。中には細かい黒色の種子が多数入っている。上部は分枝して高さ15～30cmになる。

C4型光合成(CO2還元回路であるカルヘビン・ベンソン回路の他にCO2濃縮のためのC4経路を持つ光合成の一形態)を行なうと同時にCAM型光合成(夜にCO2の取り込みを行い、昼に還元する)を行う多肉植物である。そのため、液胞に蓄積されたリンゴ酸に由来する酸味があり、ぬめりのある独特の食感を持つ。

参考：e-yakusou.com、日本大百科全書、野に咲く花
世界大百科事典 第2版、百科事典マイペディア

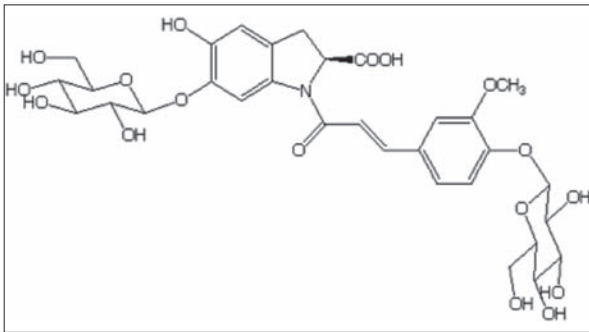
スベリヒユ100gあたり

ウィキペディア

エネルギー	タンパク質	炭水化物	脂質	コレステロール	ナトリウム	カリウム	マグネシウム
20 kcal	2 g	3.4 g	0.4 g	0 g	45mg	494mg	68mg
鉄	カルシウム	ビタミンA	—	ビタミンC	ビタミンB6	コバラミン	ビタミンD
2mg	65mg	1320μg	—μg	21mg	0.1mg	0mg	0mg

＜スベリヒユに含まれる成分＞

スベリヒユにはビタミンA、B、C、カリウム、マグネシウム、鉄その他多くのミネラルと、植物の中でも最も多い量の必須オメガ脂肪酸が含まれている。粘液(繊維)、フラボノイド抗酸化成分、フィトエストロゲン、シトラスやリンゴ酸などの有機酸、睡眠バランスをとるホルモンであるメラトニンも含んでいる。多糖、Oleraceine A-E (下の構造式)のアルカロイド



genistein, daizein等のイソフラボノイド類、myricetin, quercetin等のフラボノイド類含有の報告があり、中国の研究者を中心に抗菌性に注目した多くの報告がある。また新たにポルトラセブレロシドAが発見された。

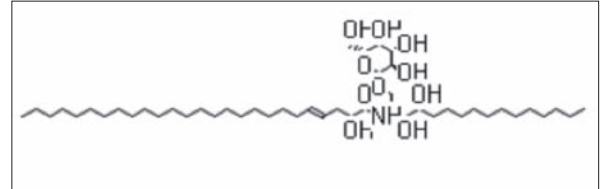
＜スベリヒユの効能効果＞

- ・抗炎症作用：粘液、オメガ3脂肪酸、ミネラルの力で炎症を抑える。様々な痛みや不調、特に泌尿器系や消化器系に関係する不調に効果がある。
- ・抗酸化作用：数々の植物の中でも飛びぬけて多くの抗酸化成分を含んでいる。ポルツラセブレシロドA、ビタミンC、E、フラボノイド、アルカロイド、ベータカロチン、グルタチオン、メラトニンなどがフリーラジカルと闘い、老化を予防し、抗がん作用を持つ。
- ・強い抗菌作用：天然の抗生物質とも呼ばれる。in vitroで赤痢菌を抑制し大腸菌・チフス菌などにもあきらかな抗菌作用がある。
- ・葉の汁はニキビや湿疹、虫刺されに有効
- ・心臓血管の健康：必須オメガ3脂肪酸は血流を改善し、血圧を整え、不整脈を予防する。
- ・血行改善：鉄とビタミンCが含まれており、血行を促進し、より多くの血液が必要な場所に送られる。
- ・消化を改善：リンゴ酸、クエン酸、アラニン、グルコースを含むため、エモリエント効果があり、

消化器官や泌尿器間をリラックスさせ、柔らかくする。そのため便秘を含むあらゆる病気を予防する。下痢から赤痢までの胃腸問題を解決するために使用される。

- ・利尿作用：体内に過剰にたまった水分を排出し、むくみや肥満の改善に有効である。
- ・抗潰瘍効果：スベリヒユに含まれる粘液は臓器の壁を守り、消化器官の炎症や潰瘍を予防する。
- ・解熱作用：熱を自然に鎮める効果がある。
- ・血糖降下作用：血糖値を自然に下げる力がある。既に人間を対象とする臨床研究では、Ⅱ型糖尿病患者の血糖値、コレステロール値、中性脂肪値を低下させ、体重を減少させたことが報告されている。
- ・骨粗鬆症の予防：カルシウム、マグネシウム、鉄、マンガンは、骨を強くし、骨粗鬆症の予防につながる。
- ・ダイエット効果：低カロリーで、繊維が多く、栄養価が高く、満腹感が得られる。

＜ポルツラセブレロシドA＞



ポルツラセブレシロドAはスベリヒユから分離された新規セブレロシド化合物である。in vitroでの試験結果が報告されている。

- ・ヒト肝腫瘍HCCLM3細胞のミトコンドリア死経路の活性化を介してアポトーシスを誘発する。
- ・4時間後にヒト肝臓がん細胞を75%死滅させた。
- ・ヒト白血病細胞の着床、転移および浸潤を阻害し、死滅させた。
- ・時間及び用量依存的に細胞生存率を阻害、クロマチン凝集及び断片化核を誘発して、アポトーシス細胞の割合が増大することを示した。

ポルツラセブレシロドAは肝腫瘍の治療と腫瘍化学療法改善における臨床適用の高い可能性を有している

参考：J-GLOBAL、熊本大学薬学部・矢原 正治、みんな健康

鈴木たか：健康管理士、NLPプラクティショナー



本田あきこ激励会開催

日時：令和元年6月25日（火）19:30～20:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<式次第>

1. 主催者あいさつ

司会 沖縄県薬剤師連盟 幹事長 前 濱 朋 子

沖縄県薬剤師連盟 会 長 亀 谷 浩 昌

沖縄県病院薬剤師会 副会長 姫 野 耕 一

日本薬業政治連盟 沖縄支部副支部長 伊集院 良 憲

2. 日本薬剤師連盟本部役員あいさつ

日本薬剤師連盟 会 長 山 本 信 夫

日本薬剤師連盟 常任総務 丹 下 富 博

3. 来賓あいさつ

衆議院議員 国会対策委員会委員長代理 松 本 純

衆議院議員 環境副大臣 渡嘉敷 奈緒美

衆議院議員（沖縄県第一区）國 場 幸之助

衆議院議員（沖縄県第二区）宮 崎 政 久

衆議院議員（沖縄県第四区）西 銘 恒三郎

内閣沖縄担当大臣補佐官 島 尻 安伊子

沖縄県参議院選挙区第一支部 支部長 安 里 繁 信

沖縄県議会議員 末 松 文 信

4. 決意表明

本 田 あきこ

5. がんばるぞ！コール

沖縄県薬剤師連盟 副幹事長 石 川 恵 市

6. 閉会のあいさつ

沖縄県薬剤師連盟 副幹事長 山 里 勇

去る6月25日（火）午後7時30分より本会館ホールにて、沖縄県薬剤師連盟・沖縄県病院薬剤師会・沖縄県薬業政治連盟沖縄支部の共催で、「本田あきこ激励会」を開催した。司会進行は、本会連盟幹事長に就任したばかりの前濱朋子幹事長が務めた。

主催者から、本連盟の亀谷浩昌会長、沖縄県病院薬剤師会の姫野耕一副会長、日本薬業政治連盟の伊集院良憲副支部長の順で挨拶をした。

次に、この日のために駆けつけた日本薬剤師連盟本部役員から山本信夫会長と丹下富博常任総務より挨拶を頂いた。

来賓挨拶として、沖縄県参議院選挙区第一支部の安里繁信支部長と沖縄県議会の末松文信議員から挨拶を頂いた。国会中ともあり、出席できなかった国会議員より、次の順番で電報によるメッセージが紹介された。薬剤師

議員の松本純衆議院議員国会対策委員会委員長代理と渡嘉敷奈緒美衆議院議員環境副大臣、地元議員から國場幸之助衆議院議員（沖縄県第一区）、宮崎政久衆議院議員（沖縄県第二区）、西銘恒三郎衆議院議員（沖縄県第四区）、島尻安伊子内閣沖縄担当大臣補佐官。

次に、本田あきこ氏のプロモーションビデオとこの日のために自ら撮影し、本連盟へ送られてきた決意表明のビデオが放映された。

終演に近づいたところで、「がんばるぞ！コール」を本連盟の石川恵市副幹事長が力強く高らかに叫び、より一層士気を高めた。

最後に、本連盟の山里勇副幹事長が挨拶をし、閉会となった。

参加者数は、各地区薬剤師会会員、県病院薬剤師会員、医薬品卸業社の総勢100余名で、平日ながら多くの関係者が参集した。

（報告：事務局 大城喜仁）

〔本田あきこ激励会スナップ写真〕



6氏が登壇 左より、末松 文信 沖縄県議会議員、丹下 富博 日本薬剤師連盟常任総務、山本 信夫 日本薬剤師連盟会長
亀谷 浩昌 沖縄県薬剤師連盟会長、姫野 耕一 沖縄県病院薬剤師会副会長、伊集院 良憲 日本薬業政治連盟沖縄支部副支部長



主催者あいさつ
亀谷 浩昌
沖縄県薬剤師連盟会長



主催者あいさつ
姫野 耕一
沖縄県病院薬剤師会
副会長



主催者あいさつ
伊集院 良憲
日本薬業政治連盟
沖縄支部副支部長



日本薬剤師連盟本部役員あいさつ
山本 信夫
日本薬剤師連盟会長



日本薬剤師連盟本部あいさつ
丹下 富博
日本薬剤師連盟常任総務



来賓あいさつ
安里 繁信
沖縄県参議院選挙区
第一支部長



来賓あいさつ
末松 文信
沖縄県議会議員



がんばるぞ！コール
石川 恵市
沖縄県薬剤師連盟
副幹事長



閉会のあいさつ
山里 勇
沖縄県薬剤師連盟
副幹事長



司 会
前濱 朋子
沖縄県薬剤師連盟幹事長



がんばるぞ！コールで、より一層士気を高めた



令和元年度
沖縄県薬剤師連盟評議員会報告

日時：令和元年6月16日（日）13:00～13:25
会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

＜式次第＞		司会	総務	与儀和子
会長あいさつ			会 長	亀 谷 浩 昌
議題				
報告	第1号	平成30年度会務経過報告について	幹 事 長	吉 田 久 子
	第2号	平成30年度会務並びに会計監査報告について	監 事	友 利 弘 一
	第3号	沖縄県薬剤師連盟の役員等について	会 長	亀 谷 浩 昌
議案	第1号	平成30年度決算承認の件について	会計担当	山 里 勇
	第2号	令和元年度活動計画案の件について	幹 事 長	吉 田 久 子
	第3号	令和元年度予算案の件について	会計担当	山 里 勇
	第4号	沖縄県薬剤師連盟監事選出の件について	幹 事 長	吉 田 久 子
閉会あいさつ			副幹事長	石 川 恵 市

沖縄県薬剤師会定時総会に先立ち、沖縄県薬剤師連盟評議員会が開催された。

司会進行は、与儀和子総務が務めた。司会より、「本連盟規約第11条に、本連盟に評議員をおくこと、評議員は沖縄県薬剤師会代議員の中からあてる、とあることから、今回の沖縄県薬剤師会代議員選挙で当選した新代議員には当連盟の評議員を兼ねていただくことで、事前に就任の依頼をし、代議員48名の内45名から承諾を得ている。同規約第12条に、任期は沖縄県薬剤師会代議員と同じく2年となっている。」との説明があった。

亀谷浩昌会長からの挨拶では、7月21日の参議院議員選挙投開票日まで、会員薬局を地区薬剤師会の力添えで訪問すること、卸や他関係団体にも訪問していくこと、来る6月25日には「本田あきこ激励会」も開催し、より一層士気を高めていき、会員の強力な力添えを賜りたいと述べられた。

報告第1号「平成30年度会務経過報告」は吉田久子幹事長、報告第2号「平成30年度会務並びに会計監査報告」を友利

弘一監事が報告し、第3号「沖縄県薬剤師連盟の役員等について」では亀谷浩昌会長が新役員の紹介報告をした。

議案に入り、議案第1号「平成30年度決算承認の件」を山里勇会計担当、議案第2号「令和元年度活動計画案」を吉田久子幹事長、議案第3号「令和元年度予算案の件」について山里勇会計担当、議案第4号「沖縄県薬剤師連盟監事選出の件」を吉田久子幹事長が説明した。

各議案について満場一致で了承され、石川恵市副幹事長のあいさつで評議員会は終了した。（報告：事務局 大城 喜仁）



与儀 和子 総務



吉田 久子 幹事長



石川 恵市 副幹事長

薬連だより

平成30年度 沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム

日時：平成31年3月28日（木）19:30～21:00
会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



青年薬剤師部会
部会長 上原 卓朗

去る平成31年3月28日に若手薬剤師フォーラムを開催しました。通常、若手薬剤師フォーラムは、薬剤師と政治の関わりを中心に行いますが、今回は青年薬剤師部会とのコラボ企画として、経営セミナーも同時開催となりました。これからの薬局経営を取り巻く環境変化を知ることで、今後の薬剤師の職能や薬局経営について考え、そして政治力の必要性を知る機会になるよう企画しました。

経営セミナーとして、株式会社琉薬 営業支援部営業支援課より新垣吉浩課長をお招きし、「医療を取り巻く環境と薬局」について講演して頂きました。はじめに地域医療構想について触れ、沖縄県の現状も紹介しながら病院経営の変化について講義して頂きました。その後の薬局経営の環境変化については、調剤報酬の改定による収益の影響やM&Aの現状、薬剤師としての職能の変化などを中心に紹介して頂きました。

続いて、日本薬剤師連盟より大原整総務をお招きし、「だから 本田あきこ」と題して、これからの薬剤師の職能と政治との関わりについて講演して頂きました。薬剤師の職能が評価されるには、見える化が必要だとし、各地域で薬局薬剤師としてエビデンスを構築する必要性を説かれました。また、薬剤師のみが取り扱うことができる要指導医薬品を積極

的に薬局に置くこともこれからの健康サポート機能を高めるうえで重要な事項として述べられていました。「薬剤師の職能を確立したうえで、実際の診療報酬などに反映させるためには、やはり政治の力が必要」、「医療系職能団体の中でも議員数が少ない薬剤師が、参議院にあと一人いることで大きく変わる要素がある」、「そのためには組織内候補者である本田あきこの当選を確実に実行させなければならない」と述べられました。

講演後の意見交換では、講演に対する質問、直近の話題である薬機法改正に対する日本薬剤師会としての見解や署名活動を含めた政治活動に関する現状などなど、予定していた時間も超過するほど、活発な意見が交わされました。諸先輩方の意見に押されたのか、若手からの意見が少なかったのが少々残念ではありますが、これからの薬剤師界を担っていく若い人材が、経営と政治を考えるきっかけになったと思います。

7月の参議院選挙に向けて機運が徐々に高まっています。個人的な政治的思想があるかもしれませんが、薬剤師の将来の発展を考え、現場での声を政治の場へと届けてくれる、そんな仲間を増やしていけるような選択をしていきたいと思います。



株式会社琉薬
新垣 吉浩 課長



日本薬剤師連盟
大原 整 総務



薬連だより

本田あきこ オレンジ日記 本田あきこ中央後援会総会が開催



日本薬剤師連盟
副会長 本田 あきこ

平成31年4月23日（火）、都内ホテルの会議室において、本田あきこ中央後援会の総会が、中央後援会の役員以外にも、国会議員や支援団体等の来賓をお招きして開催されました。

中央後援会の岩本副会長の進行により、まず、中央後援会の山本会長からの挨拶、次に国会議員から激励のご挨拶をいただきました。自民党 薬剤師問題議員懇談会会長である伊吹文明衆議院議員、薬剤師議員である松本純衆議院議員、藤井基之参議院議員、とかしき なおみ衆議院議員より心温まるお言葉をいただきました。

続いて、参加いただいた20の支援団体の代表者がお一人お一人紹介され、代表して日本薬業政治連盟の鹿目広行会長から激励のご挨拶をいただきました。鹿目会長はアルフレッサの会長でもあり、アルフレッサ(旧福神)は、私が大学卒業後最初に就職した会社であることから、そのことに触れていただくとともに、勤務薬剤師の経験を生かし、現場の声を国政に伝えることのできる方とのお褒めの言葉とともに、最後まで気を抜くことなく全員で頑張ろうと力強いご挨拶をいただきました。

私からは、残り3か月間精一杯頑張ること、現場の思いを強い信念を持って発信していきたいこと、更なるご支援をお願いしたいことなど、決意の言葉を述べさせていただきました。

最後に、本気だ！本田！！コールが参加者全員で行われ、閉会となりました。会場はオレンジ色のハチマキやベストを身に着けた350名の参加者であふれ、その熱気をいただき、ゴールに向けて力の限り走り続ける決意を改めて胸に刻むことが出来ました。最後まで頑張ります！



- 1 本田あきこのホームページを開設しました。
右のQRコードから閲覧してください ⇒



- 2 Facebookページ「本田あきこの部屋」を公開しました。
右のQRコードから閲覧してください ⇒



- 3 本田あきこメールマガジンを開始しました。
右のQRコードから登録をお願いいたします ⇒



薬連だより

本田あきこ オレンジ日記 2年間のお礼と私の使命



日本薬剤師連盟
副会長 本田 あきこ

平成29年3月の日本薬剤師連盟 定時評議員会において、次期参議院議員選挙における組織内統一候補として決定していただいてから、またたく間に2年3か月が経過しました。一年目は47都道府県を訪問し、役員の皆様へのご挨拶や各種の集会への参加などを行わせていただきました。2年目は支部訪問活動を展開させていただき、更に、本年4月から6月までを重点地区訪問としております。この訪問で活動をさらに刺激し、弾みをつけ、7月に進みたいと思っております。

公募で選ばれた新人候補の私が、47都道府県の支部まで顔の見える活動が続けることができているのは、都道府県薬剤師連盟を通じて会員の皆様との絆があるからこそだと思います。訪問活動の際には、役員の皆様にご同行いただいた上に、訪問先にお渡しするパンフレット、名刺型資料、屋内ポスター、政党ポスター、SNS活用チラシ、参議院選挙の仕組みチラシ等の資料の準備、更には多くの皆様による集会の開催等をご計画いただき、改めまして心より御礼を申し上げます。

これまでの訪問時に見せていただいた現場の状況、集会の折にいただいた声を、国政に

届けることが私の使命であり、責任であると心に刻んでおります。薬剤師が地域や医療施設で、一層その知識や技術を発揮し、国民や患者の皆様にとってより安全で安心な、そして更に充実した医療提供体制に貢献できる環境整備を目指して、誠実に努力していくことをお約束いたします。

2年間にわたる皆様方のお力添えを無駄にしてはならないと決意し、大きな決戦に挑む覚悟です。最終コーナーを回りました。情熱をもって、直往邁進でまいります。これからの医療と薬剤師のために頑張って参りたいと思います。皆様よろしく願い申し上げます。



- 1 本田あきこのホームページを開設しました。
右のQRコードから閲覧してください ⇒



- 2 Facebookページ「本田あきこの部屋」を公開しました。
右のQRコードから閲覧してください ⇒



- 3 本田あきこメールマガジンを開始しました。
右のQRコードから登録をお願いいたします ⇒



薬連だより

国会レポート

～人生100年時代の社会保障～

自民党の厚生労働部会は、令和の時代に相応しい社会保障のあり方について、「全世代型社会保障ビジョンPT」における、検討結果を取りまとめました。

この中で、社会保障の持続可能性について、一定の年齢以上を一律に「高齢者（支えられる側）」とする現在の構造を維持したままでは、財政の持続可能性に影響するのみでなく、多様な働き方改革にも対応できないとしています。また、給付削減が負担拡大という従来の発想を超えて、リバランスを進めることが求められるとしています。就労の阻害要因を取り除き、「働いても損をしない」仕組みを構築して、経済社会の担い手を増やし、「支える側」と「支えられる側」のバランスを回復することにより、人口減少社会等に対応した、令和の時代に相応しい社会保障改革を進めていく必要があるとしています。

その上で、(1) 勤労者皆社会保険 (2) 人

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき



生100年型年金制度 (3) 雇用制度改革 (4) 医療・介護の提供体制改革 (5) 健康づくりの抜本強化 (6) 子育て支援 (7) 厚生労働行政改革の、7つの改革を提言しました。

医療提供に関しては、現在の医療の機能分化・連携の促進、かかりつけ薬剤師・薬局の推進に加え、データヘルス基盤を速やかに整備し、医療の質向上、重複診療・多剤投与・残薬等の削減を進めること。国民負担の適正化とイノベーションの促進を両立する薬価制度改革を推進すること。セルフメディケーションを推進する等の観点から、OTC医薬品の普及・拡大への本格的な取組を行うこと。等を提案しています。

今後、党内手続きを進め「骨太の方針」に盛り込みたいとしています。

～データヘルスの推進～

急速な少子高齢化と人口減少が進む中、健康寿命を延伸し、国民が一層活躍する社会を構築するためには、健康・医療・介護のデータを活用し、健康管理や疾病予防に結びつけていくことが不可欠となっています。このため、自民党のデータヘルス推進特命委員会では、昨年末から国民・患者視点のデータヘルスWG等の4つのWGを設けて検討を行い、データヘルス改革の取り組みへの提言を取りまとめました。

この中で、がんの治療精度向上や個別化した医療提供のため、全ゲノム解析等を含む、がんゲノム研究・治療の具体的実行計画を今年中に公表するよう求めています。また、3年間で少なくとも10万人を対象としつつ、100万人を目標に、がん患者等の全ゲノム解析を行って治療法開発や予防等を目指すべきとしています。

オンライン診療・服薬指導・電子処方箋については、国民の真のニーズに応え、医療過疎地や通院困難な国民の医療アクセスを改善し、治療効果を最大化するため、課題解決等の具体的な取り組みを進めるべきとしています。

医療・介護サービスの高度化・効率化や適切な診断・治療を推進するため、全国の医療機関が保有する診療データ等について、他の医療機関や患者が必要時に情報共有する仕組みを早期に実現すること。及び、国民自身が健康寿命延伸に取り組むため、自身の健診データや診療結果等のPHR（パーソナル・ヘルス・レコード）の早期提供を可能とすること。これらについて、具体的な開発工程表を2020年夏までに策定することを求めています。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

令和元年度第4回臨時理事会議事概要

日時：令和元年6月16日（日）16:30～16:45

場所：沖縄県薬剤師会館 会議室

出席者：亀谷浩昌（会長候補者）、新垣秀幸、上原卓朗、笠原大吾、川満直紀、金城雄一、
幸地良信、古謝真己、佐藤雅美、島袋さゆり、知名博樹、西川 裕、前濱朋子、
宮城幸枝、村田美智子、盛本直也、吉田洋史、江夏京子（監事）、大城喜仁（事務局）
欠席者：友寄安彦、中尾滋久、中村克徳

事務局の大城が、理事ならびに新監事の出席人数を確認し、過半数の出席があることを確認し、令和元年度第4回臨時理事会開催の成立を告げた。新理事ならびに新監事へ就任祝いの挨拶をし、今回の理事会は事務局で進行することを述べた。

議題1. 会長、副会長および常務理事の選定について

事務局の大城より、本会定款第24条第2項「会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」とあることから、まず始めに会長の選定について説明した。本会定款第24条第3項「前項の会長は、社員総会の決議によって推薦のあった会長候補者の中から選定することができる。」とあるため、亀谷浩昌会長候補者を新会長として選任してよいか伺う。意見を求めたが、特に意見が無いため、亀谷浩昌会長候補者を新会長として選任することの承認を挙手で求めたところ、全員挙手にて承認された。

続いて、副会長、常務理事の選定に進む。亀谷会長が、「副会長に、中村克徳理事、前濱朋子理事、川満直紀理事。常務理事に、村田美智子理事、金城雄一理事、佐藤雅美理事、宮城幸枝理事、西川 裕理事」と提案した。

事務局の大城が、亀谷会長が定数内で副会長3名、常務理事5名が提案されたことについて、意見を求めたが特に無かったため、会長案を改めて確認し、承認の挙手を求めたところ、全員挙手にて承認された。

議題2. 第80回九州山口薬学大会（沖縄大会）実行委員会の設置について

事務局の大城が、去る平成30年8月11日開催の定例理事会にて同大会準備委員会を設置し、その任期を本日の総会までとしていたこと、これは同準備委員会において、実行委員会を本日選任された新役員にあてるためであることを説明した。大会運営等に関して至急、同大会実行委員会を立ち上げ、委託業者の選定をしなければならぬことから、新役員と同大会実行委員の委嘱の承認を求めた。委嘱は、7月13日に開催される定例理事会にて会長より交付の予定であることが述べられ、承認の挙手を求めたところ、全員挙手にて承認された。

上記以外に協議することはないか求めたが、特に無かったため、令和元年度第4回臨時理事会を終了することが告げられた。

転載記事

【ジェネリック医薬品使用促進に係る啓発について】

6月末に一般投稿で地元紙論壇に掲載されたジェネリック医薬品が誤解される内容について、本会はジェネリック医薬品の正しい認識を県民に啓発するため、地元紙2紙の論壇へ投稿致しました。会員、関係者におかれましては、ジェネリック医薬品の正しい認識を患者様はもろろん、県民へ引き続き啓発していただきますようお願い申し上げます。

なお、啓発のための参考資料として、本会ホームページ掲載の「ジェネリック医薬品への疑問に答えます」「薬局揭示物一覧」をご利用ください。

論壇

ジェネリック医薬品 薬効や安全性 国が保証

亀谷浩昌



本紙にジェネリック薬（以下GJ薬）について患者さんに不安を与える内容の投稿があった。GJ薬とは先行販売された薬（先発薬）の有効成分の特許が切れた後から販売された同じ有効成分で製造・供給する医薬品である。GJ薬は先発薬と同じ薬効があることを厚生労働省が保証した安価な薬であり、今年40兆円を超えて膨れ上がる国民医療費を抑制する一助として国がその使用を推奨している。

先発と後発の語の響きからはなんとなく、“先”のほつがよいイメージを持たれるのだろうか。誤った情報を信じ、服用中のGJ薬を先発薬に変えてほしいと医療機関や薬局に願ひ出る患者がいる。薬剤師として県民に、GJ薬に対し誤った思い込みをしてほしくないのとおり、「よく知る」ことが大事であることを訴えたい。

患者さんが不安を抱くのは以下の3点ではないだろうか。①薬に含まれる有効成分（以下、原薬）の原産国の違いによる品質の差②原薬以外にその薬に使用されている添加剤、賦形剤、その他の物質の違いによる差③先発薬とGJ薬では薬の効果に差があるのではな

いかーといふところ。これらの疑問については、厚生省による解説「ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品 Q&A」がネットで公開されており、参照にしたい。

①～③に対し要約して答えると、①有効性および安全性において先発薬と異なる影響を与えるような粗悪な原薬による製剤がGJ薬として承認されることはない②先発薬も添加剤に変更を加えることはある。先発薬もGJ薬も同様に検査されて添加剤の違いによって有効性・安全性の違いがないことが確認されている③医薬品の効果や副作用をもたらす指標である有効成分の血中濃度およびその時間推移を、先発薬とGJ薬とで同様であることを保証する試験（生物学的同等性試験）で確認済みである。

さらに疑問があれば薬剤師に尋ねてほしい。医療関係者からの細かい疑問に対しては、日本ジェネリック医薬品学会がネットに公開している『「社団法人日本ジェネリック医薬品学会への返書（2012年4月16日付）」に対する弊会の見解について』で解説されているので参照してほしい。

患者さんにはぜひ、かかりつけ薬局・薬剤師を利用していただき、医薬品だけに留まらず、OTC薬、サプリメント、健康食品等を安心して使用してもらいたい。（那覇市、沖縄県薬剤師会会長、69歳）

令和元年7月8日（月）沖縄タイムス

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

令和元年7月8日（月）琉球新報

琉球新報 2019年7月8日

「ジェネリック医薬品は粗悪な原料、ずさんな検査、弱い効力など質が低く、発がん性が高いと聞いた」「その影響で高品質の薬剤が、その後、効かなくなる問題があるらしいではないか」。これは、薬局での患者の言葉である。新聞記事を見たという。

記事を見せてもらい、理由が分かった。記事には、中国やインドで製造され、海外で販売されているジェネリック医薬品のことについて触れられていた。記事にあるような海外で製造販売されているジェネリック医薬品が、日本国内で



西川 裕

論壇

流通することはない。非正規ルートでは入手することは可能だが、個人輸入など特殊な方法となる。

日本国内で製造販売されているジェネリック医薬品は、「医薬品医療機器等法（薬機法）」

流通することはない。非正規ルートでは入手することは可能だが、個人輸入など特殊な方法となる。

日本国内で製造販売されているジェネリック医薬品は、「医薬品医療機器等法（薬機法）」

安全なジェネリック医薬品

かかりつけ薬局で相談を

によって、品質・有効性・安全性が確認されていることを、冒頭の患者に伝えて納得してもらった。「勝手な思い込みは危険。よく知ることが自分を守る瞬間だった。」

（ここで改めて、ジェネリック

その販売ルートとして、医療用医薬品は薬局など品目によって決められている。非正規ルートや個人輸入などでの医薬品購入は危険性があることを厚生労働省からも通知されている。

また、海外のインターネットサイトから治療薬を購入し真偽を鑑定し、含有成分について化学分析（偽造ED治療薬4社合同調査2016）を行った結果、40%が偽造品だったというデータもある。偽造品には、有効成分を全く含まない物、全く違った成分が含まれている物、不純物を含む物があつたという。

日本国内で正規に流通する医薬品には、それを適正に使用したにもかかわらず重大な健康被害を生じた場合に、被害者の救済を図る公的な仕組み（医薬品副作用被害救済制度）がある。しかし、個人輸入された医薬品による健康被害は、救済対象とならない。

薬局には薬の専門家である薬剤師がいる。薬局は国民に近い医療関連施設として地域住民の健康保持に力を入れている。薬を購入しなくても健康に関する相談ができるので、医薬品を入手する際は安心して「かかりつけ薬局」を活用してもらいたい。

（那覇市、沖縄県薬剤師会 常務理事、37歳）

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

令和元年6月4日（火）琉球新報

LINEで健康相談

いは薬局（浦添）

浦添市城間のいは薬局では60代以上の利用者を主な対象に、無料通信アプリのLINE（ライン）を活用して健康相談などを受け付けている。スマホの使用に不慣れた高齢者には不安もあったが、地元商店会の講座を通じて地域ぐるみで使い方を学ぶなど浸透を図り、現在は約50人が同薬局とラインでつながっている。同薬局取締役の伊波重徳氏は「大手のドラッグストアなどにはできないことだ。地域のお客さまの健康に関する不安を解消したい」と語る。



地域密着、高齢者サポート

情報技術を活用して在宅での相談体制を整えようと、同薬局は2年ほど前からラインで相談を受けている。利用者自身や家族の健康のほか、高齢者特有の病状に関するものなど、さまざまな相談が寄せられるという。来店が難しい高齢者に対しては、ラインで相談を受け付け、必要な薬を送るサービスも行う。通常は店頭で健康に関する悩みを聞いているが、頻繁に来店できない高齢者をサポートするため、リアルタイムでメッセージのやりとりができるラインの活用を考えた。

浦添市城間
ラインを活用して健康相談を受け付けている、いは薬局の伊波重徳取締役（3日）

「ミ」の講座を利用し、高齢者を中心にラインの使用方法を紹介した。伊波氏は「ラインを使うことに恐怖心を抱いていた利用者も、講座を受けたことでスムーズに活用できるようになった。体調が良くない時に、ラインですぐ連絡が来るようになった」と語る。

相談は無料で受け付ける。夜間に緊急の相談が寄せられた場合は、受診できる医療機関を紹介したり、処置に必要な薬について説明したりしている。今後は薬局のラインスタンプを作ることも視野に入れる。

伊波氏は「健康であれば得ることが多い時代だ。住民と身近に接している地域の薬局として、これからも健康をサポートしたい」と強調した。（平安太）

本会会員薬局の取組が紹介されました。

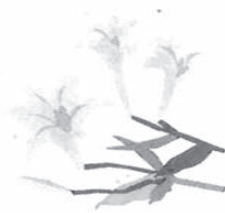
※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

平成31年4月27日 (土) 琉球新報

声

4月



琉球大に薬学部を

東江 輝雄 70歳

3月、姪が熊本にある私立大学薬学部を卒業し、薬剤師国家試験に合格。南風原町内の薬局に就職した。

彼女は中学校時代、ソフトボール部で力を流し、高校は進学校。大学時代には熊本地震に遭遇。一時帰省したもの、熊本に戻ってから薬学部の勉強のほか、ボランティア活動にも力を注ぎ、前回も学生だった。

大学薬学部は専門性が高く、必死に勉強しなければ追いつかないらしい。

アルバイトで学費を稼ぐというのもままならなかったようだ。両親に学費などについて聞いてみると、学生向けにアルバイトを勧めた。向はアルバイトを勧めた。向はアルバイトを勧めた。向はアルバイトを勧めた。

九州には国立・私立合わせて薬学部を持つ大学が8校あると聞いた。沖縄にはない。薬剤師を目指す沖縄県内の高校生にとって、県外の学費・生活費を考慮すると、進学のハードルは高い。あすの沖縄を追う高校生のため、琉球大学に薬学部が新設される日を心待ちにしている。(南城市)

戦争これっきりに

糸満 殉職医療人之碑で祈り

【糸満】沖縄戦で犠牲になった医者や薬剤師ら医療関係者がまつられている糸満市伊原の「沖縄戦殉職医療人之碑」で23日、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会など関係者ら10人が祈りをささげた。

沖縄戦で亡くなった第2代県薬剤師会会長の長田紀助さんの墓前で、薬剤師の長田紀昭さん(92)＝那覇市、写真＝も医療人之碑を訪



れた。「再開しただけいいと言っ助言も聞き入れず、勝つと思っていた重臣薬剤師だったと振り返り、「戦争はこれっきりにしたい。反戦運動はもっと盛んになるべきだ」と語った。

令和元年6月24日 (月) 沖縄タイムス



亡き父しのび
長田さん献花

殉職医療人を追悼

県薬剤師会、県医師会、県歯科医師会の会員ら9人は23日、糸満市伊原のひめゆりの塔に隣接する「沖縄戦殉職医療人之碑」に献花し戦没者を追悼した。県薬剤師会によると、沖縄戦では医師や薬剤師が軍属として従軍したが、正確な人数は分かっていない。

戦時中、東京都の専門学校に通っていた薬剤師の長田紀昭さん(92)＝那覇市、写真＝は従軍した県薬剤師会2代目会長で父の長田紀助さんを亡くした。

1947年ごろ、紀助さんの知人から情報を得て玉城村糸数にあった自然壕で遺骨を見つけた。遺骨の周りには漢方薬や医療用品があった。見覚えのある歯並びや頭の形で紀助さんだと確信したという。「遺骨が見つかったことは不幸中の幸いだ」と言葉を語らせた。「父が生きていたら良かった」と目に涙を浮かべた。

令和元年6月25 (火) 琉球新報

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

週刊 薬事新報 第3107号 令和元年7月18日 (木)

地域偏在—薬剤師の不足対策

地域偏在—薬剤師の不足の現状と対策

沖縄県病院薬剤師会会長

沖縄県薬剤師会副会長

琉球大学医学部附属病院 薬剤部長

中村 克徳

薬剤師の地域偏在の現状

薬剤師が過剰になるとの危惧はたびたび聞かれるが、地域によって薬剤師の需要と供給のバランスは著しく不均衡であり、多くの地域では薬剤師不足が深刻な問題になっている。

わが国の保健医療水準は極めて高く、世界に誇るべきものがある反面、経済成長の鈍化と人口動態の変化、医療費をはじめとする社会保障費の急増が見込まれる中で、医療財政は危機的な状態にあり、保健医療制度の持続可能性も懸念されている。国民は、居住地域に関わらず公平な医療を受けられることが望ましいが、医療の担い手となる医療関係者の数は地域によって大きな偏りがあり、このことが公平な医療を受けることの障壁となり得ることが指摘されている。特に、医師・看護師と共に医療を担う薬剤師は、地域による偏りを是正するための様々な対策が行われる必要がある極めて重要な課題である。

医師については、偏在対策が薬剤師よりも進んでいると思われる。医師の総数は増加しているにも関わらず常に医師不足が叫ばれる原因として、病院勤務医の業務増加や医師の高齢化、女性医師割合の増加などが挙げられており、この解決のためには医師の総数を増加させる事が期待されると同時に、薬剤師・看護師の活用拡大も検討されている。しかし、医師・薬剤師・看護師の総数が増加しても、その地域偏在は解消しない可能性がある。地域偏在は都道府県「間」では改善傾向にあるものの、都道府県「内」では悪化しているところが多いことが問題である。過去5年間の薬剤師国家試験合格者数の年次推移を見ると、2019年が10,194人、2018年が9,584人、2017年が9,479人、2016年が11,488人、2015年は9,044人であり、若干

の増加傾向ではあるものの、10,000人前後で推移している (<https://www.mhlw.go.jp/index.html>)。

一方、厚生労働省が平成28年に実施した「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」によると、主に従事している施設・業務の種別では、「薬局の従事者」が172,142人（総数の57.1%）で増加している。医療施設の従事者も58,044人（総数の19.3%）で増加している。また、薬局・医療施設に従事する人口10万対薬剤師数は181.3人で増加している。これを都道府県（従業地）別に見ると、徳島県が220.9人と最も多く、次いで東京都218.3人、兵庫県214.0人となっており、逆に沖縄県が134.7人と最も少なく、次いで、青森県143.5人、福井県145.1人となっている。このうえ、都道府県別に見た薬局・医療施設に従事する人口10万対薬剤師数では、見えてこない都道府県「内」での薬剤師不足の実態がある。人口10万対薬剤師数が最も少ない沖縄県内でもさらに薬剤師が偏在しており、沖縄県での医療圏ごとの人口10万対薬剤師数を見ると那覇市が含まれる南部圏域が191.3人で全国平均を上回るものの、北部115.3人、八重山111.8人、中部108.7人、宮古97.8人で全国平均よりもはるかに少なく危機的状況となっている (<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/kikaku/documents/dai7.pdf>)。

地方での薬剤師地域偏在対策

残念ながら薬剤師の地域偏在解消に向けた即効性のある対策は今のところ存在しない。沖縄県で現在行われている薬剤師地域偏在の対策を含めて列記すると以下の通りである。

①薬系大学の新設、薬学部入学試験の地域枠の設定

当会の中村克徳副会長の記事が掲載されました。

転載記事

週刊 薬事新報 第3107号 令和元年7月18日 (木)

登録販売者制度のスタートや薬科大学の増設により、薬剤師が過剰になる時代が来ると言われてきたが、地方の県では薬剤師不足が極めて深刻なのは周知の事実である。人口100万人を超える大都市にある大学病院でも薬剤師が足りないとの話を聞くことから、やはり薬剤師の絶対数を増やす必要があるかもしれない。薬剤師の地域での教育プログラム立案などを実践する人材が極度に不足していることから、沖縄県など薬系大学がない県には、薬学部新設の署名が多く寄せられている(<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/235792>)。

②奨学金の交付

過疎地域では都市部と比較して、残念ながら福利厚生面で劣る点があることは否定できない。この点は、地方公共団体からの十分な奨学金の交付でカバーできる可能性がある。地方では行政と薬剤師会、病院薬剤師会などが連携して薬剤師の就職を促す取り組みが行われている。沖縄県の例を挙げると、薬剤師不足を解消するため、県内の薬局または病院に一定期間就業したのちに、薬系大学生の際に受けた奨学金の返還額の一部を助成する制度が創設されている(図)(<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/seikatsueisei/yakumu/yakuzaiaikakuho/syougakukinhenkanjyousei.html>)。ただ、このような金銭面の支援だけでは限界がある。新卒・既卒の薬剤師が地方の保険薬

局・病院に是が非でも就職したくなるような、魅力ある地域を作っていくことが最も大切である。

③就職説明会の実施

新卒者・及び既卒者のUターン・Jターン・Iターンの転職をサポートするような就職説明会を実施するのも重要である。特に、里帰り実習に参加した学生は、生まれ育った地域で活躍する薬剤師として期待されており、定着率も高いので、是非このような機会を多く設けたいものである。このためには、薬系大学のご理解とご協力が不可欠である。僻地での薬剤師業務への偏見をなくすためにも、いくつかの薬局や病院を体験できるようなインターシップの機会を病院薬剤師会・薬剤師会で企画するのも有効と思われる。

④都道府県間での薬剤師人事交流

大きな視野で見ると一定

～沖縄県で就職を考えている薬剤師の皆様へ～

奨学金の返還を最大72万円助成します！

(※2年間沖縄県で就業した場合)

奨学金返還助成制度 2019年度対象者募集

募集期間：2019年6月1日(土)～2019年8月31日(土)※予定

募集定員：20名程度

対象者：次の(1)～(5)の全ての要件を満たす方を対象とします。

- (1)次のいずれかに該当する者であること
 - ア 新卒者
 - (ア)薬学部を2018年度中に卒業し、かつ薬剤師免許を取得していること
 - (イ)沖縄県内に住所を有していること
 - (ウ)卒業後から2019年6月30日までの間に、県内の薬局又は病院で就業していること
 - イ 既卒者
 - (ア)2017年度以前に薬学部を卒業し、かつ薬剤師免許を取得していること
 - (イ)募集要項発出時点で県外に住所を有し、2019年6月30日までに沖縄県へ転入し、県内の薬局又は病院で就業していること
- (2)独立行政法人日本学生支援機構等の奨学金又はこれに準ずる奨学金の貸与を受けていた者で、返還予定又は返還中であること
- (3)応募時点で、奨学金の返還残額があること
- (4)奨学金返還を滞納していない者
- (5)一定の県内就業を助成要件とするその他の公的な返還助成制度を利用していない者

※対象者の要件、募集期間は現時点での予定であり、変更になることがあります。

お問い合わせ・書類提出先

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 〒901-1105 沖縄県豊原郡南風原町字新川11218-10
TEL.098-963-8930 / FAX.098-963-8932 沖縄県薬剤師会

図1 沖縄県の奨学金返還助成制度の例

転載記事

週刊 薬事新報 第3107号 令和元年7月18日 (木)

の期間で薬剤師が都道府県間、特に大都市圏と地方の県を相互に異動するような人事は薬剤師の地域偏在対策や地域医療の学習機会として理想的と考えられる。ただ、子供の教育や住居の問題を考えると単身者のように身軽なことが要求される。また、地方の県よりも大都市圏の方に魅力を見出して大都市圏に定着してしまうという可能性も否定できない。地方の県でしか体験できないような魅力ある業務を開拓・実践していくことが常に求められる。

⑤都道府県内での薬剤師人事交流

沖縄県の県立病院勤務の薬剤師は、ある程度の周期で県内の県立病院間を異動することがある。給与体系や待遇の違いなど解決すべき問題もあるが、県立病院以外との人事交流を兼ねた人事異動は県内での薬剤師地域偏在を解消するのに役立つことが期待される。

⑥ホームページなどの充実による地域での活動状況や就職情報の提供

SNSによる薬局や病院の情報発信は、とりわけ今後の医療を担う若い世代の興味をひくためにはとても重要である。当薬剤部でも若い世代にホームページの編集を依頼して情報発信に努めている(<http://www.ryukyu-pharm.jp/>)。近年、“町の科学者”から“理想の健康サポート薬局”への進歩を遂げた保険薬局では、患者さんに寄り添った地域医療の実践をSNSなどで情報提供することで、新卒薬剤師の就職希望者を増やす一助になると考えられる。

⑦退職者の再雇用

一般的には、60歳で一度定年退職を迎えた後の再就職は難しいと言われる。この先入観が強いためか定年退職者の再雇用は少ないように思われる。しかし、薬剤師として、60歳はまだまだ活躍の場が多く残されているのが現実である。沖縄県では、「101歳の現役医師が110歳の男性を往診」したことが最近話題になった(<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/404867>)。薬剤師も生涯現役として、地域で活躍すべき時が来ている。琉大病院薬剤部でも現在2名が定年退職後の再雇用で活躍しており、ご意見番として重要な役割を果たし

ている。

⑧福利厚生の実施

薬剤師が僻地での勤務を避ける理由には、生活の不便さが大きな障壁になっていると考えられる。この不安をなくすためにも、行政による地方のより一層の活性化が望まれる。多くの地方では、地域に根差した伝統ある文化があり、助け合いの精神も古くから育まれていることから、実際に住んでみると生活の不便さを感じないことが多い。地域の文化行事に薬剤師も積極的に参加し、地方創生に貢献することが期待される。

⑨産休・育休を取りやすい雰囲気づくり

薬剤師は、女性の活躍が顕著な職業であり、人数的にも女性が多数を占める職場が多い。職場の規模が大きく十分な人数の薬剤師が在籍し、男女比率・年齢構成のバランスが良ければ、産休・育休を取りやすい環境に近いと思われる。過疎地域では、これと正反対の状況も起こり得るため、地域で連携した薬剤師の流動性確保が必要かもしれない。また、パートや派遣薬剤師の場合には、正社員・常勤薬剤師と比べると、心理的にも育休や産休が取得しやすい可能性があるため、ライフステージに応じて雇用条件を柔軟に選択できるようなシステム構築が有用かもしれない。

⑩産休・育休後の復職支援、トレーニング

産休・育休後の復職に向けた研修制度が充実していることも、薬剤師偏在解消のポイントになり得る。薬剤師業務は多岐にわたっていることから、産休・育休後の復職に際しては不安に思う場合もあるが、医師・看護師と比較するとかなり障壁は低いように思われる。沖縄県では、職場単位の取り組みの他にも、病院薬剤師会・薬剤師会の分科会や各種委員会が多くの支援企画を実施している。さらに、薬剤師の業務手順書を整備することも不安解消につながると思われる。

⑪専門・認定資格の継続支援

僻地に赴任すると専門・認定資格の継続が現状では難しい可能性がある。専門・認定資格の継続要件には、学会や研修会の参加によって得られる研修単位を一定数集めることが求められる場合が

転載記事

週刊 薬事新報 第3107号 令和元年7月18日（木）

多く、都市部と比較すると僻地では単位獲得の難しさが、専門・認定資格の継続を困難にしている。主催団体の専門・認定制度改革により、遠隔地でも受講可能なWeb研修会の充実が解決策になるように思われる。また、資格の取得・継続要件には一定数の症例報告も求められる場合がある。これについても最先端の医療技術や薬物療法だけに限定・優遇するのではなく、過疎地域での限られた医療資源を有効に活用した取り組みから生まれた貴重な症例も認定するような柔軟な対応が求められる。

⑫多職種連携による人材の確保

薬剤師の視点から多職種連携を見ると非常に有益なことが多いと思われる。特に薬剤師が不足している過疎地域では、従来医師・看護師が担っていた業務のうち薬剤師が貢献できるものも多い。それぞれの地域に根差した諸問題を理解するには、薬剤師が実際に体験して肌で感じてみるのが重要であり、医療従事者が不足している沖縄県ではすでに薬剤師が活躍する多職種連携が実践されている。都市部では体験できない、多職種連携を実践するフィールドとしての地域をアピールすることで、意欲のある薬剤師の確保につながるかもしれない。

⑬外国人人材の活用

外国人で日本の薬剤師資格を所有する方は極めて少なく、言語の制約もあり十分には活用できていないのが現状である。しかし、インバウンドによる外国人観光客の増加やわが国の少子高齢化に対する国の対応策として外国人労働者を受け入れると、その方々の医療を担う必要も生じると思われる。現状でも薬剤交付窓口での外国人対応に関しては、多彩な語学力を備えた薬剤師が少ないため、ご迷惑をおかけしているのではないかと苦慮している。外国人薬剤師については、様々な可能性があるため現時点で一概に是非を判断できないが、今後の少子高齢化対策の状況次第では、外国人薬剤師が多数登場して薬剤師の地域偏在を解消するかもしれない。

⑭人工知能（AI）やロボットなどの活用による自動化

既に一部が実用化されており、抗がん剤調製ロボットなどはまさにその分かりやすい例と言える。現状の薬剤師業務の中には、AIやロボットの進歩によって置き換えられる可能性が高いものも多い。しかし、薬剤師にしかできないきめの細かい患者さんへの配慮や、地域での新規業務を開拓していく必要がある。

⑮子弟に対する教育環境の改善

地方の県では、都市部と比較して子弟に対する教育環境が悪いことが危惧されてきた。しかし、今日、通信環境の進歩により、Webによる学習機会も増え、東京で行われている有名講師の講義を地方でリアルタイムに視聴することが可能になっている。豊かな自然に囲まれながらWebによる学習で都市部と何ら変わらない教育を受けることができるのは、教育環境としてまさに理想的であると考えられる。

将来への展望

沖縄県などの地域では、高齢化社会に向けた薬剤師が中心となった多職種連携活動が自然発生的に実践されている。日本や先進諸外国で高齢化社会対策が喫緊の課題になっているが、この解決策のヒントを沖縄県で薬剤師としてOJT（On-the-Job Training、オン・ザ・ジョブ・トレーニング）することで習得することができる。すでに、名古屋市立大学の鈴木匡先生らのグループは、沖縄県北部医師会とタッグを組み、薬学部・看護学部の学生のアドバンスト実務実習として地域医療の体験学習を提供している。このような交流を活性化することが、薬剤師地域偏在の解決につながると考えられる。

主に、地方の大学病院や都道府県の薬剤師会・病院薬剤師会に対処可能な薬剤師地域偏在対策を述べてきたが、日本が世界の少子高齢化対策を牽引するためにも、中央の行政レベルが偏在解消に向けた取り組みを推進することが期待される。

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

週刊 薬事新報 第3096号 令和元年5月9日(木)

薬事新報 No. 3096 (2019)

(470) 3

医療を考える

おくすりが多過ぎます！

いま本稿をご覧いただいている薬剤師の皆さんだれもが、患者さんからタイトルのような訴えを一度ならず経験しておられると思います。そしてこの後続くセリフはきっと「もう、おくすりだけでお腹一杯です」「これをちゃんと飲むと良くなりますか？」「こんなにたくさん飲まないといけませんか？」あたりでしょうか。表現は様々でも、全て言外にはなんとかもう少し薬が減らせないものかという切実な願いが読み取れます。

病院薬剤師として勤務する私は、このような問いかけがあった時に2つの思いが胸をよぎります。その患者さんが私を薬の専門家かつ治療の伴走者として信頼してくれたのだという嬉しさと、薬剤師として当該処方に向き合う責任感です。

改めて書くまでもなく、多剤併用の弊害は根深いものがあります。ここ数年の間に「ポリファーマシー」の用語が一気に認知され広がったのも、この問題が誰にとっても明白で、普遍的な課題であるからだろうと思います。

ここでは、何剤以上をポリファーマシーと定義するのかや、減薬に際してはどのようなツールが有効かというような学術的な問題はさておいて、私自身の臨床経験から得られる雑感を記します。

おもろまちメディカルセンター
梅 窪 諭 子

患者さんに「多過ぎます」と言われた処方を眺める時、私はまず自分の頭の中でその処方通りにくすりを“服用”してみます。なるほど、これはキツイと実感したら、あとは自分の持つ薬学知識を総動員して患者さんの現況と処方内容を突き合わせます。この時に担当の看護師や介護士と話をすると、カルテの記載や検査値だけでは読み取れなかった情報が必ず出てきます。患者さんの暮らす生活背景や、経済的な側面に目を向けることも重要だと考えます。

そして減薬の可能性を見出せたら、処方医のもとへ処方提案に向かいます。その際、患者さんご自身が「くすりを減らしてほしい」と希望されていると伝えることは、医師が減薬を検討するに当たっての大きな判断基準になるようです。

欧米では、処方最高4剤までと研修医の時から厳しく教育されると聞きます。これは保険制度の違いにもよるのですが、“くすり好き”だとよく言われる日本人でも、近年は少しずつ事情が異なってきました。

まずは「おくすりが多過ぎます！」と訴えかけてもらえるような、誠実な医療者でありたいと思います。

第31回沖縄県薬剤師会学術大会奨励賞受賞（発表者）関連記事

※発行元が記事利用を許諾しています。

平成31年4月

- 2火○平成31年度第1回幹事会 県薬会議室
- 4木○沖縄県保健医療部衛生薬務課による各種事業確認検査（沖縄県地域医療介護総合確保基金事業、沖縄県薬剤師確保対策に係る調査事業、沖縄県奨学金返還助成事業、健康サポート薬局のモデル薬局整備事業） 県薬会議室 山城次長、大城課長、事務局宮城
- 6土○「調剤報酬請求業務」及び「保険調剤確認事項リスト」についての講習会 in 宮古 宮古島市中央公民館 講師：仲真良重（医療保険委員会）
- 8月○沖縄県保健医療部衛生薬務課による事業確認検査（患者のための薬局ビジョン推進事業） 県薬会議室 事務局長嶺
- 9火○保険指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 主催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
- 10水○社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
 - 平成31年度沖縄県教育庁保健体育課関係機関等懇親会 沖縄県青年会館 亀谷会長、前濱副会長、村田成夫学校薬剤師部会長
 - 平成31年度なごみ会主催県民健康フェア第1回実行委員会 沖縄県医師会 笠原常務理事、松本圭五、事務局長嶺
- 11木○平成31年度第1回広報委員会 県薬会議室
- 12金○「調剤報酬請求業務」及び「保険調剤確認事項リスト」についての講習会 in 八重山 大浜信泉記念館 講師：仲真良重（医療保険委員会）
- 13土○平成31年度第1回理事会 県薬研修室
- 14日○令和元年度給食センター衛生検査に関する講習会 県薬ホール
 - 令和元年度学校薬剤師部会新任新人研修会 県薬ホール
- 18木○管理者会議 県薬会議室 亀谷会長、城間・仲真両薬局長、與世平管理薬剤師、吉田典子（薬事情報センター）、又吉事務局長、大城課長、小泉主任検査技師（試験検査センター）
- 19金○平成31年度第1回地区調整機構総会 オリエンタルホテル福岡 宮城幸枝（薬学生実務実習受入委員会）
 - 平成31年度地域医療介護総合確保基金に係る都道府県個別ヒアリング 厚生労働省 荒井理事
 - 沖縄 CKD Management Conference ラグナガーデンホテル 主催：バイエル薬品株式会社
- 19金○第8回沖縄糖尿病最新治療コンgres 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 主催：ノバルティスファーマ株式会社
- 20土○会営薬局とよみ会議 会営薬局とよみ 川満常務理事、大城課長、会営薬局うえはら當山
- 23火○沖縄県環境政策課来訪 県薬会議室 又吉事務局長、大城課長
 - 保険指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 主催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
- 24水○那覇地区学校保健会より来訪 県薬会長室 亀谷会長、又吉事務局長
- 25木○税理士より平成30年度の決算報告 県薬会長室 仲程みちの税理士、亀谷会長、又吉事務局長、大城課長、事務局上原・前原

令和元年5月

- 7火○令和元年度第2回幹事会 県薬会議室
- 8水○薬と健康の週間：くすりと健康フェアの打合せ会議について 県薬会議室 那覇市保健所
仲地剛、衛生薬務課大城由希子、大城課長
- 9木○沖縄県保健医療部衛生薬務課へ訪問 県庁 亀谷浩昌、又吉事務局長、大城課長
- 10金○下期監事監査 県薬会議室 亀谷会長、友利・神谷両監事、山里常務理事、又吉事務局長、
大城課長、事務局上原・前原
- 11土○会営薬局とよみ会議 会営薬局とよみ 会営薬局うえはら當山
○令和元年度第2回理事会 県薬研修室
- 13月○令和元年度第1回沖縄県がん診療連携協議会 琉球大学医学部 亀谷会長
○青年部主催事業打ち合わせ会議 県薬会議室 石川恵市、大城課長、事務局長嶺・花城
- 14火○令和元年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会 沖縄県自治研修所 亀谷会長
○スポーツファーマシスト連絡会議（薬事情報センター委員会） 県薬会議室
- 15水○日本薬剤師会都道府県会長協議会意見交換会 日本薬剤師会 亀谷会長
○日本薬剤師会都道府県会長協議会 日本薬剤師会 亀谷会長
○なごみ会主催県民健康フェア第2回実行委員会 沖縄県医師会 松本圭五、事務局長嶺
- 16木○2019年度学校環境衛生・安全管理講習会 沖縄県立総合教育センター 講師：上原理事
○西田睦琉球大学学長を表敬訪問 琉球大学 亀谷会長、江夏・前濱両副会長、砂川靖沖縄
県保健医療部長・新城光雄衛生薬務課課長・池間博則衛生薬務課室長・中村章弘衛生薬務課
主幹、又吉事務局長、大城課長
○第46回沖縄うふいち会 ザ・ナハテラス 主催：アステラス製薬株式会社
○指導薬剤師向けの受け入れ説明会 県薬研修室 佐藤理事、上間秀子、福地健治、事務局
稲嶺
○令和元年度第1回薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室
- 17金○令和元年度第1回九州山口地区薬剤師会 薬局実務実習受入調整機関運営委員会 福岡県
薬剤師会 佐藤理事
○八重山トータルケアセミナー ANAインターコンチネンタル石垣リゾート 主催：第一三共
株式会社
- 18土○那覇地区薬剤師会総会 県薬ホール
○宮古地区薬剤師会総会 シモジ薬局 亀谷会長
- 19日○南部地区薬剤師会総会 県薬研修室
○令和元年度第2回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
- 20月○青年部主催事業打ち合わせ会議 県薬研修室 石川恵市、大城課長、事務局長嶺・花城
○社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
○第98回那覇市功労者表彰 パレット市民劇場 被表彰者：渡嘉敷見
- 21火○臨床薬剤師育成研修会 株式会社琉薬 主催：株式会社薬正堂
- 22水○九州山口地区薬剤師会 薬局実務実習受入調整機関評議員会 福岡県薬剤師会 亀谷会長
○九山代表者会議 福岡県薬剤師会 亀谷会長・前濱副会長
○九州ブロック日薬代議員予備会議 福岡県薬剤師会 亀谷会長・前濱副会長
- 23木○株式会社ダイコー沖縄 社長新任の挨拶のため来訪 県薬会長室 亀谷会長、又吉事務局長
○新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏

目次

第80回定時総会	第80回定時総会会長挨拶…………… 亀谷浩昌 (1)
	新理事・新監事紹介…………… (2)
	第80回定時総会次第・出席者…………… (5)
	第80回定時総会概要報告…………… 大城喜仁 (6)
	第80回定時総会懇親会…………… 長嶺勇作 (20)
第80回定時総会資料	平成30年度事業経過報告および平成30年度決算、その他議題資料…………… (21)
医 薬 分 業	第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会…………… 松本圭吾 (40)
	第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会…………… 松本圭吾 (41)
	第3回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会…………… 松本圭吾 (42)
学 薬 部 会	平成31年度給食センター衛生検査講習会報告…………… 城間千賀子 (45)
	平成31年度学校薬剤師新任研修会開催…………… 高場美保・前盛稚子 (46)
地区だより	平成30年度中部地区薬剤師会総会報告…………… 米倉美帆 (48)
	平成30年度八重山地区薬剤師会総会報告…………… 山城 専 (49)
試験検査センター	令和元年度日本薬剤師会試験検査センター連絡協議会報告…………… 前濱朋子 (50)
月例相談会	第169回健康とおくすり相談会報告 …… 坂口和志 (51)
その他会務報告	沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊…………… 大城喜仁 (52)
D I	薬事情報おきなわNo. 255…………… 薬事情報センター (53)
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報…………… (65)
薬 草 学	身近な薬草を知ろう 第40回 ベニバナ：滑莧：馬齒莧 …… 狩俣イソ (66)
薬連だより	本田あきこ激励会開催…………… 大城喜仁 (68)
	令和元年度沖縄県薬剤師連盟評議員会報告…………… 大城喜仁 (70)
	平成30年度沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム…………… 上原卓朗 (71)
	本田あきこ オレンジ日記 本田あきこ中央後援会総会が開催 …… 本田あきこ (72)
	本田あきこ オレンジ日記 2年間のお礼と私の使命 …… 本田あきこ (73)
	国会レポート ～人生100年時代の社会保障～・～データヘルスの推進～…藤井もとゆき (74)
理 事 会	令和元年度第4回臨時理事会議事概要 …… (75)
転 載 記 事	ジェネリック医薬品 薬効や安全性 国が保証…………… 亀谷浩昌 (76)
	安全なジェネリック医薬品 かかりつけ薬局で相談を…………… 西川 裕 (77)
	いは薬局(浦添) LINE で健康相談 地域密着、高齢者サポート …… (78)
	亡き父しのび 長田さん献花 殉職医療人之碑で祈り …… (79)
	琉球大学に薬学部を…………… (79)
	地域偏在一薬剤師の不足の現状と対策…………… 中村克徳 (80)
	医療を考える おくすりが多過ぎます！…………… 梅窪論子 (84)
会 務 報 告	平成31年4月～令和元年6月分…………… (85)
	沖縄県薬剤師連盟会務報告(平成31年4月～令和元年6月分) …… (89)
一 包 一 話	ユンタク・アリンクリン…………… 橋の下 (90)
	誌上ギャラリー(裏表紙)について…………… (92)
	編集後記…………… (92)
訃 報	小嶺幸徳先生、ご冥福をお祈り申し上げます。…………… (36)
お 知 ら せ	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について…………… (36)
	県薬が会員に販売している印刷物等…………… (89)
	会報原稿募集のご案内…………… (91)

・表紙

「ドイツの薬局」 photo by 成川 玲子 (レオナ薬局)

とよ ひら ほう うん
題字：豊平峰雲

- 23木○ 令和元年度第1回おきなわ津梁ネットワーク運営実行委員会 沖縄県医師会 吉田理事
- 24金○ 沖縄県薬業連合会 平成30年度監事監査 県薬会議室 上間宏氏、久保田輝雄氏、大城課長
○ 保健指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 主催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
- 27月○ 青年部主催事業打ち合わせ会議 県薬研修室 佐藤理事、石川恵市、事務局長嶺・花城
- 27月○ 薬剤師研修協議会連絡会 日本消防会館 外間副会長、事務局稲嶺
○ 宮里好一医療法人タピック理事長を訪問 沖縄リハビリテーション病院 亀谷会長、川上善久、又吉事務局長、大城課長
○ 令和元年度第2期薬局実務実習オリエンテーション 県薬研修室 佐藤理事、平田崇、仲真良重（薬学生実務実習受入委員会）
○ 青年部主催事業説明会 県薬研修室 西川常務理事
- 28火○ 健康サポート薬局研修関連会議 県薬会議室
- 29水○ 沖縄県青少年育成県民会議 令和元年度第52回定時総会 豊見城中央公民館 亀谷会長
- 30木○ 新規個別指導 県庁 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏
○ 日本薬剤師会試験検査センター連絡協議会（31日迄） 那覇市自治会館 亀谷会長、前濱副会長、野崎真敏、小泉主任検査技師、試験センター武村
○ 外用剤を考える会 沖縄県医師会 主催：マルホ株式会社
- 31金○ 令和元年度第3回臨時幹事会 県薬会議室

令和元年6月

- 1土○ 2019年度第1回沖縄県認知症疾患医療連携協議会 沖縄県医師会 中尾滋久
- 2日○ 女性薬剤師部会総会・特別講演会 県薬研修室・ホール 亀谷会長
- 4火○ 令和元年度第4回幹事会 県薬会議室
- 5水○ 社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
○ 青年部合同企業説明会打合せ会議 県薬会議室 亀谷会長、石川恵市、上原部会長、伊敷松太郎、大城課長、事務局長嶺・花城
- 6木○ これからの糖尿病医療戦略を考える会 in 沖縄 沖縄県立宮古病院 主催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
○ 社会保険診療報酬支払基金審査委員改選に伴う審査委員懇談会 ANAクラウンプラザ沖縄ハーバービュー 亀谷会長、江夏・前濱両副会長
- 7金○ 沖縄県薬業連合会代表者会議 ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 亀谷会長、又吉事務局長、大城課長
○ 那覇整形外科リウマチセミナー ザ・ナハテラス 主催：ファイザー株式会社
- 8土○ 令和元年度沖縄県在宅医療・介護連携市町村支援事業「入退院支援連携指針作成研修会」南部地区医師会館 笠原常務理事、勝連貴子
○ 会営薬局とよみ会議 会営薬局とよみ 仲真薬局長、又吉事務局長、大城課長、会営薬局うえはら當山
○ 令和元年度第3回理事会 県薬研修室
- 9日○ 第169回健康とおくすり相談会 サンエー那覇メインプレイス 担当：那覇地区薬剤師会
○ 中部地区薬剤師会総会 うるま市健康福祉センターうるみん 亀谷会長
- 11火○ 沖縄子どもの未来県民会議 令和元年度第1回総会 沖縄県市町村自治会館 又吉事務局長
○ おきなわアジェンダ21県民会議 令和元年度通常総会 県庁 亀谷会長

- 11火○ 令和元年度沖縄県認知症施策推進会議 沖縄県産業支援センター 中尾滋久（医薬分業対策委員会）
- 保健指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 主催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
- 12水○ 那覇地区地域連携講演会～地域から始まるCOPD治療～ 那覇市立病院 主催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
- 13木○ 新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏
- 第2回おきなわ生活習慣病と循環器病フォーラム ザ・ナハテラス 主催：興和株式会社
- 那覇・南部糖尿病セミナー メルキュールホテル沖縄那覇 主催：MSD株式会社
- なごみ会主催県民健康フェア第3回実行委員会 沖縄県医師会 松本圭五、事務局長嶺
- 14金○ 令和元年度沖縄県地域包括ケアシステム推進会議（第2回在宅医療介護連携部会） 沖縄県産業支援センター 笠原常務理事
- 16日○ 沖縄県薬剤師連盟評議員会 県薬ホール
- 沖縄県薬剤師会 第80回定時総会 県薬ホール
- 沖縄県薬剤師会 第4回 臨時理事会 県薬ホール
- 沖縄県薬剤師会第80回定時総会懇親会 県薬研修室
- 17月○ 糖尿病領域学術講演会 那覇市医師会
- 19水○ 沖縄県薬業連合会理事会・総会・懇親会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城
- 心腎連関を考慮した糖尿病治療を考える会 那覇市医師会館 主催：小野薬品工業株式会社
- 北部地区脂質異常症治療講演会 ホテルゆがふいんおきなわ 主催：バイエル薬品株式会社
- 20木○ 個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・川上善久氏
- 2019年度第1回地域医療支援病院運営委員会 豊見城中央病院 亀谷会長
- 第2回吸入支援Okinawa Advanceコース（前編） 沖縄県医師会 主催：アストラゼネカ株式会社
- 臨床薬剤師育成研修会 株式会社琉薬 主催：株式会社薬正堂
- 21金○ 日本薬剤師会都道府県会長協議会 日本薬剤師会 亀谷会長
- 22土○ 日本薬剤師会第93回定時総会（23日迄） ホテルイースト21東京 亀谷会長、前濱副会長
- 令和元年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン 県内各所 大城課長、事務局稲嶺・金城
- 23日○ 沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊 ひめゆりの塔構内 長田紀昭、神村相談役、吉田理事、又吉事務局長、大城課長
- 26水○ 「第8回はえばる夏まつりキッズパーク」第1回運営委員会 南風原町商工会 事務局宮城
- 学校薬剤師部会主催給食センター衛生検査研修会 県薬研修室
- 27木○ 新規個別指導 八重山合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏
- 薬学生への学校薬剤師講習会 県薬研修室 講師：知名博樹氏
- 令和元年度第2回広報委員会 県薬会議室
- 28金○ スポーツファーマシスト研修会 県薬ホール 主催：薬事情報センター委員会
- 保健指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 主催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
- 多職種で考えるがんサポーターズケア研究会 県薬研修室 主催：小野薬品工業株式会社
- 30日○ 令和元年度第3回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室

沖縄県薬剤師連盟会務報告

平成31年4月

- 1月○島尻あい子中部地区女性部大会 沖縄市民会館 江夏副幹事長、あかみち薬局女性職員2名
 5金○島尻あい子推薦団体会長・専務局長会議 島尻あい子事務所 亀谷会長、事務局花城
 10水○島尻あい子推薦団体実務者会議 島尻あい子事務所 事務局花城
 11木○島尻あい子支援依頼のための薬局訪問 中部地区各薬局 亀谷会長、小野春夫先生、大城課長、事務局花城
 16火○島尻あい子選対本部総決起大会 沖縄市民会館 亀谷会長、江夏副幹事長、新城総務、伊佐常隆、普久原隆、福地健治、又吉事務局長、事務局長嶺・花城
 23火○平成31年度第1回全国会長・幹事長拡大会議 グランドプリンスホテル高輪 亀谷会長、石川副幹事長
 ○本田あきこ中央後援会総会 グランドプリンスホテル高輪 亀谷会長、石川副幹事長

令和元年5月

- 16水○安里繁信氏事務所開き 安里繁信事務所 又吉事務局長、事務局花城
 17金○安里繁信氏に推薦状交付 いとみね会館 亀谷会長、又吉事務局長、事務局花城
 29水○沖縄県薬剤師連盟総務会 県薬研修室

令和元年6月

- 4火○末松文信議員（本田あきこ担当議員）あいさつ 沖縄県議会 亀谷会長、又吉事務局長、事務局花城
 15土○山下貴司法務大臣講演会 JAおきなわ総合結婚式場ジュビランス 亀谷会長、又吉事務局長
 16日○沖縄県薬剤師連盟評議員会 県薬ホール
 18火○あさと繁信推薦団体事務局長会議 いとみね会館 事務局花城
 25火○本田あきこ激励会 県薬ホール

お知らせ

＜県薬が会員に販売している印刷物等＞

- | | | | |
|--------------|--------------|---|--------|
| ○管理薬剤師業務日報 | 1年分 1冊 600円 | ○薬歴カード | 各1枚 5円 |
| ○処方せん | 100枚 1冊 160円 | （国保（本人・家族）青色）
社保（本人） 白色
社保（家族） 桃色 | |
| ○お薬手帳カバー | 1枚 22円 | | |
| ○お薬手帳 | | | |
| 薄青色 14ページ | 1冊 12円 | | |
| 薄黄色 34ページ | 1冊 22円 | | |
| ○“マッシュ君”お薬手帳 | 1冊 22円 | | |

※薄青色、薄黄色の2色ありますが、同内容・同頁です。

※表示価格は税抜きです。

ユンタク・アリンクリン^{※1}

テレビをつけると画面いっぱいに盛り付けられた料理が、これでもか、これでもかと食欲を誘うのである。食べるという事は命を養うことだから生きる原点である。人間の歴史の中には飢えをしのぐために食べていた時代もあったが、今日では美味しく食べる、健康のために食べるという要素が求められるようになり少し方向が違くと美食になってしまう。画面では世界中から美味珍味の食材が集められプロの料理人が腕を振るっている。いつかカニを腹いっぱい食べて見たいなあ！と思ったりしてしまう。こんな具合だからテレビ番組で一番多いのは料理番組だろう。でも、現実に戻れば今ここにある妻の作ったお膳が最高であろう。

次のチャンネルに合わせてみると、お笑いバラエティである。多くの有名、無名のお笑い芸人達があらん限りのパフォーマンスを繰り広げる。新語や造語が飛び交い、テンポが早く少し耳も遠いせいもあって、そのペースについてゆけない。スタジオのギャラリー達は爆笑である。きっとサクラだな！と思っていて。隣を見ると妻と娘も大笑いしているから、小生はまた、おいてけぼりのようである。笑いは人間生活の上で大変重要な要素である。お互いコミュニケーションをスムーズにし和をつくる。また、副交感神経を刺激して自律神経をバランス良く安定させ、免疫力を高めるから医療の分野でも取り入れられて来ている。

もうひとつ明るい話題を見つけてみよう。今、まさにスポーツの全盛時代と言っても過言ではない。世界中で日本のアスリートの活躍はひととき目を引く。大リーグでの大谷翔平のサイクルヒットや数多くのサッカー選手の海外への進出、その他にも卓球・バドミントンと多くの種目に力を発揮しているから、自然と国民にも勇気と自信を与えてくれるのだ。

これから大きなスポーツイベントが目白押しである。9月にラグビーのワールドカップ

がある。2年ほど前に日本が南アフリカチームに勝利した時は奇跡だと世界中が驚いたのは、それ程までに日本は弱かったと言う事だったのか？その一勝で日本中がラグビーに関心を持つようになったのである。また、東京オリンピック・パラリンピックが開会までに、もう1年を切り、入場券の発売が開始されるやいなや入場希望者が殺到し嬉しい悲鳴が上がっている。世界中から技と身体を鍛えた若者達が国の期待を一身に背負い競技するのだ。美と平和の祭典である。しかし競技であるから勝者と敗者が生まれる。勝者にメダルを与え讃えるのだが、敗者に対してもこれまで頑張ってきた汗と涙の努力・ドラマに敬意を表して拍手を送るのだ。

今から全盛になるであろう数多いスポーツの中でも、サッカーの人気ぶりがひととき目を引く、今や子供達のあこがれの的でもある。世界200カ国で行われプロの選手から学生、村の小さなクラブチームなどの選手と呼ばれる若者達は2億6千万人に上ると言うから驚く。小生が中高生の頃、いわゆるスポーツに関心を持ち親しむ世代ではあるが生来、運動嫌い、スポーツやらない、スポーツあまり見ないのフューマナー^{※2}だったから長じて、今のスポーツ全盛時代を見て、やっと目が覚めた感じである。遅きに失した。サッカーはボールひとつあればスージグワ^{※3}でも狭いところでもボールを蹴ってドリブル・リフティングの技を磨くことが出来る。アフリカや南米など豊かでない国の子供達はこうしてチャンスを待っている。チャンスに巡り合えば数億円を稼ぐプレイヤーにもなれる。まさにサッカードリームである。日本では1992年、約27年前にJリーグを立ち上げた。サッカーは日本に馴染むだろうか、定着するだろうかと不安もあってサッカーくじも売り出した。日本サッカー協会のシンボルマークは3本足の八咫鳥^{やたがらす}である。神代の時代、熊野の山奥で道に迷い難儀をしていた神武天皇をどこからともなく八咫鳥が飛んできて道案内をし

て助けたという。八咫鳥はもしかして日本サッカーを低迷混迷の中から成功へ道案内したかもしれない。3本目の足はいわゆるミラクルフットなのだろうか。

沖縄でもサッカー人気が高まってきた。今年になってFC琉球が念願のJ2への昇格を果たしたのである。2月24日(日)にJ2リーグ開幕試合に福岡アビスパを迎えてタピック沖縄ひやごんスタジアムで開幕されたのである。実はこの開幕試合の開会式のフラッグベアラーの一人に小学2年生の孫が選ばれたのである。フラッグベアラーとは大きなスポーツの大会で開会式のセレモニーの中でシンボルの旗を6人で持って行進する大変名誉な役割である。一番のビッグはオリンピックだろう。当日は本人と弟は打ち合わせがあると父親に連れられて早めに出かけた。小生達家族は少し遅れて出発したのだが、当日はあいにくの雨と渋滞と7,000人の観客が集まったので駐車場が見つからず、そんなトラブルもあって会場に入った時はすでにセレモニーは終わり試合が始まっていた。晴れ姿は見る事が出来なかった。ちょっと残念だが父親の撮った動

画と夕方のニュースに写っているのを見たので「よし」とするか。この事は本人にとっても貴重な体験として記憶に残ることだろう。潜在意識の中にも植え付けられていることだろう。その日はFC琉球が3対1で快勝だった。5月25日はアレビックス新潟を迎えての試合が行われることになった。その数日前からコマーシャルが流れた。その中に以前のインタビューの時のワンカットシーン「FC琉球ガンバレ！」が笑顔で写っている。わずか3秒くらいであるが繰り返し流れると結構人の目に触れる。知人から「見たよ！」と声がかかった。サッカー好きのTさんからは「お孫さん、2人笑顔でFC琉球ガンバレ！可愛いですね」と言う。人に言われて嬉しくなって、下がる目尻のエビス顔とはこんなものだろうか…である。

橋の下

※1 ユンタク・アリンクリン：おしゃべり・あれやこれや

※2 フューマーマー：怠け者

※3 スージグワー：店と店の間、家々の間に
ある狭くて曲がりくねった小道

会 報 原 稿 募 集 の ご 案 内

広 報 委 員 会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します(薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です)。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております(手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します)。



☆原稿送付先(会報に関する問い合わせ)

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp



誌上ギャラリー（裏表紙）について

左上：「レンブラントに挑戦」photo by 吉川 肇（ハーブ薬局 つかざん店）撮影地：自宅の庭

出勤前の短い時間で毎日Facebookに自宅の庭の花の写真をアップしています。今、現在のFacebook友達の数4,500人超です。FacebookとInstagramもご覧ください。Facebook <https://www.facebook.com/hazime.yoshikawa.1> Instagram hazim9668

右上：「ヴェナリア レアーレ（ヴェナリア宮殿）のディアナの大回廊」

photo by 廣川直子（ハイジア薬局）撮影地：北イタリア トリノ

ミラノから特急列車で1時間ほどで行けるトリノは、かつてサヴォイア公国の首都として栄え、小国の集まりであった都市国家を統一してイタリア王国となった時の最初の首都でもあります。ユネスコ世界遺産であるサヴォイア王家の王宮群のひとつであるヴェナリア宮は、トリノ駅からバスで45分ほどのところにあります。どこかの有名な宮殿とは違い、観光客も少なく、ゆったりと見学できました。私たちがこの回廊に出た時は、ちょうど誰一人いなくて、シャッターチャンス!!などと言うものではありませんでした。ほんの束の間、友人と二人の貸切状態でした。ラッキー!!

左下：「獲物を狙うサギ」photo by 伊集智英（くはら薬局）撮影地：福岡県中州

対岸のビルの赤い外壁が水面に映っていたので、シャッタースピードと露出を工夫して撮りました。鷺が獲物を狙う緊張感をより強調させました。

右下：「ぶらっと奥武島」photo by 新垣紀子（つる薬局）撮影地：南城市玉城奥武島

編 集 後 記

受動喫煙対策として、改正健康増進法が7月1日より一部施行される。その中には学校、病院、薬局も含まれる。7月に学校薬剤師の研修で東京に行こうと思い、宿泊施設を探したところ、目的の施設には喫煙室1室の残しかない。消臭剤もかけられているだろうし…と予約。しかし、最近耳にする「サードハンド・スモーク」が頭をよぎった。壁や人からのタバコの臭いに困った事ありませんか？それです!! タバコの煙成分が壁やカーテンや衣服などにしみ込み、煙が消えた後でも有害物質を放出し続け、それによって健康被害を受けること。健康のために、少し高い別施設の禁煙室に変更。しっかり、たばこの害も学んできて来ようと思う。(TOMO)

実務実習薬学生向けの合同就職説明会が、県薬剤師会青年部会主催で執り行われる。初の試みということもあり、今回は薬局のみが参加。企業は集まるのか？より多くの実習生が参加してくれるのか？さらにはどのような流れになるのか等、不安要素は満載である。ただ、メリットの一つとして「会員は参加費無料!」ということである。薬剤師会としての事業なので、会員に恩恵を返すのが最大の目的だ。県内での薬剤師確保は非常に乏しいのが現状であり、是非とも今回の説明会を成功させ、来年以降も継続できるよう頑張りたい。また、薬局以外に病院関連も参加していただくことで、今後の拡大事業として確立できれば嬉しい限りである。(ごり)

先日某スーパーに行きちょうどお昼時だったので店内のレストランに行ったが入り口には受付の人はおらず、大きめのタブレットが置いてあった。そこに人数と席はカウンターかテーブルかを入力すると現在待っている人数が表示される。待っている人数が多いときは店内で買い物しながら時間をつぶし番号札にあるQRコードにアクセスすると待ち人数が確認出来るのでイライラしないで待つことが出来る。さらにAI搭載の対話型の受付管理も出てきている。改良すればこれまでのよりリーズナブルに薬局で利用できそうである。この受付管理システムとは違うが一包化薬剤の監査システムの別バージョンがパン屋さんで使われているという。出来たてのパンには価格シールなど付けることが出来ないのトレーにパンを入れてシステムを通すと一瞬のうちにパンの価格、名前、合計金額がはじき出されるのだ。人手不足もあいまってものすごい勢いでAI技術の活用が進んでいるのは確かなようである。アナログ人間はもうお手上げである！ (ピアナ)

梅雨も明けて夏がきた！思い返せば、夏休みの宿題で作文にはうんうん唸るほど苦しめられた。三つ子の魂ナントヤラで今も変わらず文才はスズメの涙ほど。原稿用紙がなくても140文字で国を越えた会談を行えるほど発信できる時代なら、最低3枚の呪縛からは離れられるときがくるのかしらん。 (いさ吉)

暑い！いつの間にこんなに暑くなってしまったのか！ちょっと前までは外に出てもまだ涼しさを感じていたはずですが、いつの間にか、ねっとりとした風が吹くようになりました。当薬局では当然空調にしっかり働いてもらっていますが、先日突然エアコンのストライキに合いました。室外機にヤモリが入り込んだのか、基盤が焼けているとのこと。修理は数日かかるようで、汗だくの日々…。薬局の構造設備規則をどうにか曲げて、風通しの良い窓を作れないか思案してしまいました…。 (松)

初めての出会いはプラハのヴェレトルジュニ宮殿。不意に出会った「乙女」。その醸し出す生命力、神秘さ、繊細さ、色使い、曲線美。生で観るその衝撃と、美しさに見惚れ、しばらく立ち尽くしたことを今でも鮮明に覚えています。それから数年経ち、日本で彼の芸術家と再会しました。東京上野のグスタフ・クリムト展。日本でクリムトの作品が観れることを令和、いや今年1のモチベーションに生きてきました。一言。欣幸の至り。人に感動を与える仕事とはなんと素晴らしいのでしょうか。100年以上の時を超え、喜びをありがとうクリムト。自分もどうやって人に感動を与えられるのか考えながら働いていきます。上野の後は豊田市で引き続き開催です、皆さんも是非。 (dash)

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp
■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 **■薬事情報センター** TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 **■試験検査センター** TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報 第298号 令和元年8月28日発行

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／前濱朋子・池間記世・石川恵市・伊敷松太郎・伊差川サヤカ
 安次富大 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子 八重山地区通信員／金城智史
 事務局／大城喜仁

印刷：有限会社 Skill

誌上ギャラリー（会員作品）
お気軽にご投稿下さい。

